

インターネット・はがき等で寄せられた意見

利根川・江戸川ブロック

## 利根川水系河川整備計画 関係住民からの意見聴取(インターネット・はがき等)

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
1	50代	男性	埼玉県	行田市	利根川河川整備計画への凡夫からの意見を述べさせてもらいます。 平成10年頃でしたか、台風の影響で、北川辺町側の堤体で50箇所以上の漏水があり、翌年、堤体内の水を常時抜くために、ガードン鋼製組立鋼とU字溝の組み合わせと、接続ブロックの川表への施工で、その後漏水を一挙に減らしたことがありました。(ドレーン工) その後、スーパー堤防化のために、大量に土砂を蓋積した為、川底が隆起してきているようです。土砂の重量の低減化のためにも、スーパー堤防のドレーン工の必要性が生じているのではないのでしょうか？また、どんなに立派なスーパー堤防ができて、川底を深くしないかぎりHWLは毎年自然に上がっていつってしまうのではないのでしょうか？ (原紙のPDFファイル:H190111nname-toneedo.pdf)図あり
2	40代	男性	埼玉県	南埼玉郡宮代町	安全・正確をモットーに江戸川河川敷にてラジコン航空機を楽しんでいるものです。 江戸川は土手の整備の状態も良く、非常に飛行場所として適していると思っております。 趣味を同じく者が集まり清掃並びに不法投棄の通報等の活動を行っております。 これからも河川整備計画に協力させて頂きます。
3	50代	男性	栃木県	藤岡市	利根川水系河川整備計画について 下久保ダムを再編により利水容量の一部を他のダムに振替えるとの計画は納得できない。 藤岡市(旧鬼石町)は昭和43年ダム完成以来移転による急激な過疎化と地域住民の生活再建のためダム周辺の観光開発や釣りやボートなどの湖面の積極的活用を推進してきた。 しかし、この振替は夏の観光に大きなダメージと地域住民の長年の生活再建努力を無にする恐れがあり賛成できない。 特に藤岡市(旧鬼石町)の市民に計画内容、考えられる影響とその改善策について情報公開し、鬼石地域での説明会をぜひ開催して十分に説明を行い、了解を得てほしいと考えます。 そもそも地域住民は過疎化が著しい中にある中、貸ボートや漁業組合を作り生活再建に向けて努力し、最近では水源地域ビジョン策定を切掛けに若い人が中心に「やませみの会」という組織で清掃活動や湖面利用を推進中です。 また、周辺市町村は環境整備事業で整備した施設の維持管理を行うとともに、その費用を捻出すべく財団法人神流湖整備協会を設立して堆積砂利を採取販売して周辺整備費や管理費に当てるなどの努力も行っています。 官民協働で行ってきた長年のこうした努力に十分配慮をお願いしたい。
4	70歳以上	男性	千葉県	我孫子市	情報公開は常に最大の重要事項と思い行っていたきたい、田中調節池の溢流堤移転には補償問題の解決と地元農民の理解が必要です。稲戸井調節池の掘削には理由を説明してください、自然を破壊するような行為には反対です、溢流堤は早く築造してください
5	10代	男性	埼玉県	北葛飾郡栗橋町	・栗橋町の堤防に、今度のスーパー堤防工事の時にでも、サイクリングロードを作って欲しい。 ・同じく、新名所ゾーンにつつじなどを植栽するというが町の木であるキンモクセイを植えた方が香りが良くていいと思う。
6	50代	男性	埼玉県	草加市	RC模型飛行機の河川敷利用 多くの整備された場所は、市民の目も届き、不法投棄なども少なくよい環境が保たれています。しかし多くの整備されていない場所も多く、遊水地など整備されていないために自然が多く残されているところも多いです。 実際、昆虫や動物、鳥などが多く見られ、そういった環境が残されることも重要であると思います。 私たち模型愛好家、とりわけラジコン飛行機の愛好家は昔からそういった場所を好んで飛行させてきました。必要なのは空域で離着陸の滑走路自体はさほど広い場所は要らないのです。万が一の場合に安全ということを考えて人家の上は飛ばしませんし、人の往来する場所でも飛ばしませんので必然的にそういった場所を選ぶことになります。 整備されていない場所というのは一般市民の目が届きにくく、ごみの不法投棄や犯罪に利用される可能性もあります。 我々ラジコン飛行機の愛好家は限られた周波数の電波を共同で使用するという立場であり混信を防ぐために常に周囲の見張りを欠かしません。周囲に見慣れない車がいれば、それがラジコンを飛ばしに来たのか、ゴミの不法投棄なのか、犬の散歩なのか、鳥撃ちなのか、ゴルフなのか確認する必要があります。 河川敷や遊水地に野球場サッカー場ゴルフ場など「整備」された場所だけにしないでほしいと思います。自然を残し野生生物の生息環境も残していただきたい。また、そういった環境はラジコンフライヤーも共存できる環境でもあり、市民パトロールとしてラジコン愛好家が守ることも出来ると思います。 関東でも昔はラジコンを飛ばすことが出来た空き地もどんだん民家が立ち、なかなかラジコンを飛ばせる場所も探するのが大変な状況になりつつあります。これはとりもなおさず自然を人間が侵食していることです。 ラジコンという趣味は科学に最先端のエレクトロニクスや航空工学を使った趣味です。21世紀の現在でもこれほどラジコンが普及しているのは、日本という国の技術力を表すものでしょう。また航空宇宙分野の裾野として重要な世界でもあります。 河川敷をラジコンを飛ばせる場所として残してください。
7	50代	男性	群馬県	前橋市南町	近年関東地方では、直撃の大型台風や集中豪雨での大規模被害が、幸のこと発生していない。このため、関東地方は安全(又は安全が確保されている)との認識(誤解)を持った人が多い(増加している)と思われる。 管て関東地方に大災害をもたらした気象条件を再度しっかり周知してもらい、関東地方の治水安全度がまだまだ確実で無いこと・たまたまの気圧配置で豪雨被害を免れたている事実をしっかりと認識させる事が大切と思う。(H17年の台風経路は西日本上陸型で関東通過時は勢力が減衰するが、このことが周知されていない。関東に大被害をもたらした台風は大部分が東海・名古屋以東から上陸しています) 豪雨以外にも、地震災害・活火山災害等関東は歴史的に大災害を受けてきた地域であること事を忘れ、「北関東の安全神話」がマスコミや、場合によっては一部行政関係者にも伝えられているが、本当に憂慮する状況です。 群馬県は昭和30年代までは全国的にも災害県として苦難な歴史をたどってきたこと、新潟県での豪雨災害や中越地震が本県にとって他人事でないことをしっかりと認識してもらう様、一般市民や、子供達へ「解りやすい、地域別の災害史・災害メカニズム」の情報発信をお願いします。

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
8	40代	女性	神奈川県	鎌倉市	<p>河川事業の上位計画である社会資本重点計画に基づいて、利根川水系における河川整備計画の策定に係る意見(川づくりに期待すること、取り組んでほしいこと)を述べます。</p> <p>第一に、環境についてです。 同計画では事業分野別の取り組みとして治水事業が明確に位置づけられており、美しい国土づくりの具体的な事業として「失われた自然の水辺のうち、回復可能な自然の水辺の中で再生した水辺の割合」として「平成19年までに約2割再生」、また、「失われた湿地や干潟のうち、回復可能な湿地や干潟の中で再生したものの割合」として「平成19年度までに約3割再生」としています。 利根川水系の流域面積全体においても、少なくともこの二つの数値の達成が期限までに可能な具体的計画を立てるべきです。またもしも数値を達成できないとすれば、それは何故か、原因と対策を明らかにし、住民の意見を反映しながら、この遅れを取り戻すための河川整備計画づくりをすべきだと思います。</p> <p>第二に、利水についてです。 水需給の抜本的な見直しを行った上で整備計画を作るべきです。利根川荒川フルプランには、平成14年以来、計画の見直しの議論すら止まっています。目標期限が過ぎたフルプランに依拠する利水事業を背景に整備計画が作られることは適正ではありません。社会資本重点計画でうたわれる「より低コストで質の高い事業」に反しています。「より低コストで質の高い事業」を河川整備計画によって実現するためには、水需給の抜本的な見直しを、自治体のみならず住民誰もが検証可能な方法で行うことが必要だと考えます。</p> <p>第三に、治水についてです。 社会資本重点計画では、「想定している計画を超えるような降雨等による被害を最小化するための危機管理施策を推進する」ことになっていますが、その方向性が明確になるよう整備計画を定めるべきです。昨今の異常気象を考慮することなく、旧来の工事実施計画をほぼ踏襲する治水計画を新規の河川整備計画として継続することはやめるべきです。堤防の点検結果などを元に、治水安全度を公開し、流域に住む住民の参加を促しながら実効性のある治水計画を策定していくべきだと思います。利根川水系河川整備基本方針に遡っての議論が必要ではないでしょうか。</p> <p>以上、環境、治水、利水の3つを総合的に勘案し、「より低コストで質の高い事業」を可能にする河川整備計画を策定すべきであると考えます。</p>
9	60代	女性	栃木県	鹿沼市	<p>私たちの毎月の定例会でこの意見聴取の企画があることを知りました。ハガキ、封書での質問も可、ということなので、こうした形で質問させていただきます。</p> <p>私は南摩ダム予定地の近所の荒井川流域(栃木県鹿沼市)に住む者です。 ダムとは川をせきとめて作る物です。でも南摩川は水量が少ないので、黒川、大芦川の水をとりこむのはダムという名に値しないのではないかと思います。 南摩ダムは東京の水不足を補う目的で計画されました。でも東京は水はもう必要ないと大分前に発表しています。それなのにダムを作るとはどういうことでしょうか。 私が住んでいる荒井川流域を横切って、黒川、大芦川の水を南摩ダムにとり込む導水管が地中深く通ることになっています。工事担当者は、説明会で水涵れの心配はないと説明しています。しかし、神奈川県宮ヶ瀬ダムの地域では、百パーセント水涵れの心配はないといわれたのに、工事が始まってすぐに、沢などの水涵れが出たということです。 私たちの集落は約三百戸です。この地域は市の水道でなく、それぞれの家で井戸を掘って、その水で暮らしています。ここは乳幼児も老人もいます。水洗トイレも普及しつつあります。これで水涵れがおこったら、衛生、健康、生活のいろいろな面がおびやかされます。又、農業の問題もあります。水が涵れたら農業は出来ません。そして自然環境も悪化していくでしょう。 これが現実になったら、どこが、どう責任をとるのでしょうか。 私たちが心配だとくつかえすので、説明会で工事担当者は万が一水涵れが起きたら、簡易水道を作ると説明しました。一見、すべて解決、只で再び水が手に入るようなムードです。しかし、水道本管から各戸への工事費、毎月の水道料金などかなりの金額になることでしょう。それは国ではなく、私たちが負担するものらしいです。今まで自家水道で生活している私たちには大きな負担です。年金だけで暮らしている一人暮らしの老人の生活などどうするのでしょうか。 私たちがお願いして作るダムではないのに、なぜ私たちの生活がおびやかされるのか、その責任のありかをはっきりしてほしいです。何とかこの工事をやめてほしいです。</p>
10	50代	男性	茨城県	猿島郡五霞町	<p>河川敷地の利用に関して、意見を述べさせていただきます。</p> <p>私は、ラジコン愛好家として貴重なオープンスペースである河川敷地を自由使用の範囲で使用させていただいています。しかし、自由使用の範囲では、種々の不都合もあります。そこで河川敷地占用の許可をお願いしたいと相談していますが、制約が多く愛好家団体では占用許可を認められません。現に利根川では、地方自治体が占用主体でなければ許可しないことを明言しています。</p> <p>事務次官通達によれば、愛好家団体でも許可の対象となっていますが、現実とは違っています。</p> <p>ラジコンに関しては、近隣住民の理解が不可欠であることは承知しています。そこで、近隣住民の理解が得られている団体で安全運用の実績がある愛好家団体には、占用許可の道を開いていただきたいと考えています。これにより、マナー、ルールのしっかりした団体が認められることにより、その他のラジコン利用者の意識も変わって来ると考えます。現状では、マナーやルールを良くしても占用許可が認められないため、好きなようにやればよいと言った風潮も見受けられます。</p> <p>是非とも、地域住民に理解され安全運用の実績のある愛好家団体に占用許可を与えて下さい。 宜しくお願い致します。</p> <p>河川敷地を利用している者です。 整備計画策定に当たり、有識者会議が行われていますが、その議事録の中で河川利用について、「ゾーン分けは、近隣住民の意見を聞く」とありました。そこで意見を述べさせていただきます。 私は、ラジコン愛好家として、河川敷地を利用させていただいておりますが、現状河川敷地を利用しているような場所については、自然ゾーンとせず、利用ゾーンにしていただきたいと考えています。利用している場所を自然ゾーンとするのは、現実に合わせてトラブルのもとになってしまうのでご審議をお願い致します。</p> <p>河川敷地を利用させていただいている。ラジコン愛好家団体の代表をしている者です。 私達は、不定期ではありますが、使用している河川敷地近辺の清掃を行っています。 しかし、私達が行えることは、河川敷地の極僅かな部分でしかありません。 そこで、私達のような、愛好団体が、もっと協力できるような仕組みを考えていただければと思います。 例えば、河川敷美化に協力していただける河川敷地使用団体に登録をお願いして、河川清掃活動の情報を提供して協力してもらい、また、河川使用団体の美化活動などの状況を知らせてもらい、その情報を河川美化の啓発に利用するなど考えられます。 もう少し、河川利用者と河川管理者が協力した形で美化活動が行えればと考えています。 ご検討をお願いします。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
					<p>河川敷地に置いて不法投棄の問題は、深刻だと考えています。 最近、鉄くすなどの値段も上がり大きな物は、少なくなってきたように思いますが、やはり、不法投棄は後を絶ちません。 そこで私達のような河川敷地利用者が、不法投棄を抑制することは出来ないかと考えています。 それは、私達が河川敷地を利用している間、「不法投棄パトロール」などと言った看板のような物を掲示して不法投棄をしようとする者へ牽制したり、不法投棄を通報したりする仕組みを作っていただければ、少しでも不法投棄は減るのではないかと考えています。 ご検討宜しくお願いします。</p>
					<p>私は、ラジコン愛好団体の代表をしている者です。 河川敷地は、私達にとってラジコンをおこなえる貴重なオープンスペースです。ラジコンは、物作りの精神を養い、創意工夫と科学的興味の高揚には最適なものと思っています。 この様な考えを持った、ラジコン愛好家は、利根川水系では、多数います。 大多数のラジコン愛好家は、近隣の住民の方への配慮はもとより利用場所の清掃などもこなっています。 この愛好家団体等を活用し、使用場所近辺の管理(清掃や種々の情報提供など)をさせることは、考えられないでしょうか？ その代わりに河川敷地の使用を河川管理者が認めるような仕組みを考えるとはいいただけませんか？占有許可までは行かないまでも使用許可をしていただければ、きちんとした運用が可能となります。また、自分たちが管理するということから、河川に対する考えも高まると考えられます。 使うものたちが、その場所のことを考えるとと言うことは、意義あることだと思えます。 是非、この様な仕組みをご検討下さい。</p>
					<p>河川敷地の火災は、近隣住民にとって驚異です。 この火災を最小限に止めることは、自然環境の保護にも繋がることと思います。 下流域に於いては、火災延焼を防ぐため河川敷地の除草を行っています。上流域では、全く手が付けられていないのが現状です。 上流域では、自然環境が豊かなため、一度火災が起きれば甚大な自然破壊に繋がります。 そこで、河川敷を使用している愛好家団体に除草をお願いして、万が一火災が発生した場合の延焼防止ゾーンの確保をするようなことは考えられないでしょうか？ これに協力してくれる愛好家団体には、その場所の管理を任せ、使用許可や占有許可を与えることで自然保護、および、近隣住民の不安解消並びに国家予算の削減が図られるものと考えます。 ご審議宜しくお願いします。</p>
					<p>河川敷地は、関東地方に於いて貴重なオープンスペースです。 このスペースを利用している方は、他に場所が見いだせない趣味を持った人達だと思います。 自然保護も大事だと思いますが、バランスのとれた河川敷地の利用をお願いします。 私は、ラジコン飛行機を愛好するものですが、子供の頃から模型飛行機や無線を趣味としていますが、これらの趣味に対して、行わない者が、種々の批判をしていることも経験してきています。 しかし、日本をここまでしてきたものは、物を作り、新しいことにチャレンジする人間が居たからこそだと考えています。 関東地方に於いて、空を飛んだり、飛ばせたりする場所は、河川敷地しかありません。 そのような空間をもっと提供してくれるような方策を考えていただきたいと思っています。 「美しい国日本」とは、相手のことを思いやる気持ちが大事である、と考えています。 色々な考えを持った人がいる中で河川を大事に考えている国民に配慮を願っています。 「自分たちが居るときは、やっかいなことはごめんだ」などと考えず、「少しでも変えて良くしていこう」と言った気概を見せて下さい。 お願いします。 愛好家団体でも、色々な方たちが居ます。 本当に、河川を愛している方には、より良い処遇を与えることで、他の者たちの考えが変わってくると思います。 河川利用に関して、ご審議宜しくお願い致します。</p>
					<p>以前河川敷事務所に提出した占有許可の説明をお送り致します。 私達は、近隣の方の迷惑にならないよう細心の注意をし、河川敷地を使用しています。 占有許可、使用許可等に道を開いていただけようお願い致します。 尚、許可を与えないような、新たな、内規には反対致します。 安全運用が成されている愛好家団体には、占有許可を出されるようお願い致します。</p> <p>【ラジコン滑空場占有許可の意義】 河川敷に於いてラジコン滑空場の占有許可は、平成6年10月17日付けの建設事務次官通達による「河川敷の占有許可準則」により許可の対象となっています。 また、平成11年8月5日建設事務次官通達「河川敷の占有許可について(参考2)」には、「貴重なオープンスペースである河川敷地については、河川環境に配慮しつつ、個々の河川の実態に即して、適正かつ多様な利用を一層推進することにより、国民の河川への親しみを醸成させたい。」とあります。これらのことは、多様化する社会生活において有意義な余暇を過ごせるよう、貴重な国民の共有財産である河川敷地をある一定範囲の中で解放すると明言していることに他なりません。</p> <p>【河川敷地とラジコン機の関係】 昭和30～40年代、広大な未使用地が都心近郊にも点在しており、これらの場所を利用し、模型エンジンを搭載した種々の飛行機が楽しまれていました。 この頃は、模型飛行機をワイヤーでコントロールするリコンや操縦装置を持たないフリーフライト機が全盛でしたが、ラジコン機に於いてもその操縦装置の進歩から次第に多くの愛好家がそれを行うようになりました。 しかし、時代と共に未使用地の利用が進み、模型飛行機で楽しめる場所が少なくなり、その趣味を諦めしてしまう愛好家も多く、模型人口が極端に減少したのもこの時期です。 熱心な愛好家は、オープンスペースである郊外の河川敷地などにその場所を求め移動し、現在のような状況となっています。 河川敷地に於いて、ラジコン機を楽しむことは、自由使用の範疇として国も認めているところですが、ラジコン機を楽しむ場合、離着陸をするための滑走路が必要となります。そのため、河川敷地を整備し使用しているクラブが多く存在します。しかし、この行為は、排他的、継続的な使用であり、河川法第24条の占有許可を得なければその使用は、違法なものとなってしまいます。 現在、河川敷地にあるラジコン滑空場の殆どが、この許可を得ておらず、違法に河川敷地を使用していることとなります。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
					<p>【ラジコン滑空場の占有許可】 ラジコン滑空場の占有許可は、河川敷地占有許可準則 第六、第七に記載されているように必要やむを得ない場合、必要最小限の規模で非営利の愛好団体等も許可を受けることが出来るとなっております。しかし、現状では、愛好団体に占有許可が許されることは希で殆どのラジコンクラブでは、その難度から許可申請すら行っていません。</p> <p>【河川敷地違法使用の弊害】 違法に河川敷地を使用し、ラジコン滑空場を使用するクラブの大多数は、愛好者が集う健全なクラブです。しかし、一部で事務次官通達に反する行為を行っている者も居ます。具体的には、営利を目的とした模型店が主管するクラブでは、その模型店で購入する「お客様」だけが会員となれるクラブや近隣住民や一般河川敷利用者に迷惑をかける行為を繰り返している者たちの集団等です。これらのクラブは、自分たちの都合の良いルールを決め、運用しているためパブリック性に乏しく、危険な行為や騒音問題も目立ちます。また、安全に留意し、マナーを守って楽しんでいるクラブでもその入会に制限があるクラブもあります。(会員の推薦や飛行技術の程度) このため、新たにラジコンを行いたい者にとってクラブに入ることが難しい状況も見受けられます。 この人達は、単独や数人のグループで飛行させることもあり、混信等の事故を起こす原因となることもあります。また、この様な新たに始めた方は、安全意識も低く、操縦技術も未熟なため重大な事故につながる危険性を含んでいます。 健全なクラブであっても違法行為に変わりなく、青少年育成の活動を行おうとしても、違法な場所で青少年の育成など出来るはずもありません。 この様に、占有許可を取らない者は、河川敷地を自分たちの都合よく使いますし、占有許可を取れない者は、地方自治体などに協力できないのが現状です。</p> <p>【趣味と人間関係】 私達が子供の頃、興味を引かれた模型飛行機やその他の趣味で知り合った多くの大人たちとのコミュニケーションは、とても貴重な体験でした。大人は、子供に判るように話し、子供はそれを理解しようと本を読み、また大人に質問を投げかける。この様なことを繰り返し、人間関係を学んできました。しかし、昨今、子供の興味は、1人でも出来るコンピューターゲームなどで他人との繋がりが希薄になっています。これを危惧した、文部科学省は、「子供の居場所作り」などの地域の力を活用した施策を打ち出しています。私達も子供の頃受けたような、大人との人間関係を今の子供にも知らせたいと考えていますが、なかなかその機会に巡り会えません。しかし、私達がおこなっている模型飛行機を通して、地域に恩返しができるのではないかと現在考えています。</p> <p>【ラジコン滑空場占有許可の意義】 私達にとってラジコン滑空場占有許可の意味は、大きく三つあります。その一つは、許可の条件となるラジコン滑空場規則や会則の拘束性が増すことにより運用の明確化がなされ、さらなる安全運用が可能となることです。もう一つは、国から認められた場所で活動するクラブとなるわけですから、地方自治体等と協力した活動が可能となることです。三つ目は、占有許可により活動の場が担保されるため、安心して充実した余暇を数多くの仲間と過ごせることです。河川管理者にとっても自由使用による曖昧な運用より、規則、会則がしっかりした安全運用をおこなうクラブに占有許可を与え、河川敷地を安全かつ適正に活用させることが可能となると考えています。</p> <p>【おわりに】 私達の河川敷地占有許可申請は、河川法第24条の条件および河川敷地占有許可準則に照らし合わせても妥当であり、これを許可することは、間違いではないと確信しています。私達の様な愛好家を排除し、河川敷地を閉鎖的なものにならないよう、切にお願いいたします。</p>
11		男性	栃木県	鹿沼市上南摩町	<p>利根川水系河川整備計画(直轄区間)の策定に係る意見聴取の取り組みについて、意見を述べます。 思川支川の太芦川、荒川及び南摩川等は冬期間を中心に水涸れが毎年おきる。始めは水貯まりができ、その下流に伏流水となり又、流れをつくる。何回か繰り返すこともある。雨が少ないと河川の掃除もできず、河川に樹木や葎などが生え、次第にその場所は盛り上がり、広がってゆく。それは川の曲がり具合で出来るのでほとんど同じ場所である。 降水量、その時の河川の流量を調べることによって効率的な河川パトロールが可能と思われる。それによって適切な対応が可能となり洪水時の氾濫を抑え、少なくすることも可能と思われる。 ダム事業の目的には「流水の正常な機能の維持」の項目がある。流水の正常な機能としてと認める“基準”とは何なのか。 南摩ダムに関しては流量の基準点は清洲橋。清洲橋上流で南摩川は思川と合流する。南摩川に一滴の水が流れていなくても清洲橋基準点で基準値を満たせば「流水の正常な機能を維持」してとなるのか。 以上</p>
12	60歳以上	男性	埼玉県	久喜市本町	<p>私は長年利根川河川敷でラジコン飛行機を、大勢の仲間とともに楽しんでいます。今回の意見募集にあたり、応募します。 関東では、河川敷を利用する以外にはラジコンを楽しめる場所は皆無だと思えます。一方で、河川敷利用者の中で、ラジコンの利用者数はかなり多いものと思われ。最近では、子供の頃の夢だった模型飛行機を、定年まじかの大人が老後の趣味にしたいという人も出てきています。そこで、 (1)現在ラジコンに利用されている場所は、河川管理に必要な諸条件を明示していただいた上で、この条件に違反していないこと、付近の住民との融和がとれているグループには、より簡便な手続きで許可が下りるようなシステム造りを希望します。 (2)ラジコン飛行場として利用可能な条件を満たした場所があれば、簡単な整地をしていただいた上で開放していただくことを希望いたします。以上。</p>
13	40代	男性	埼玉県	さいたま市	<p>川とゴルフが好きでよく利根川、荒川、江戸川で遊ばせていただいています。このたび河川整備計画を策定されると聞き閲覧させていただきました。 平成16年の円山川、由良川、などの破堤や今年度も天竜川での破堤をニュースで聞き、地方の河川は整備水準がまだまだで予算も限られているために仕方ないのかな？などのんきに考えておりましたが、なんと関東の利根川や荒川、江戸川においても河川の浸透に対する安全性がずいぶん不足している状況を見ると早急な整備の必要性を感じます。ぜひ日本の中枢が集中するこの重要な地域を集中的に事業を進めていただきたいと考えます。 当然事業実施に当たってはそこにある自然環境を継続可能な工法などを十分活用して貴重な河川環境空間を維持してください。 またその事業の進捗状況をWEB上で広く公開して多くの方々へ安心情報を提供してください。 限られた予算でしようが優先順位をつけて速やかに進めてください。 よろしく願いいたします。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
14	60歳以上	男性	茨城県	取手市	<p>川づくりに期待すること</p> <p>首都圏を壊滅的被害から守る高規格堤防の促進(取手地区)  水害に強い、まちづくり...危機管理の充実強化  (洪水、濁水への備え)  堤防やダム貯水池周辺の樹木帯の整備(河川管理施設として整備する。)</p> <p>取組んで欲しい事</p> <p>河道の掘削(取手小堀あたり～利根運河～剣先あたり道)  明治以来、洪水を河道内に閉じ込める方策であるが、江戸時代の控堤群や水防組織「領」も再検討してはどうか。(併用策)  「川の駅づくり」を推進して欲しい。(利根川中流域、下流域)  舟運復活への取り組み検討  以上</p>
15	70歳以上	男性	栃木県	小山市	<p>私の住んでいる地域は、広大なヨシ原の渡良瀬遊水地、思川、巴波川に囲まれた自然豊かな環境に恵まれており、周辺地区はおいしいお米の取れる産地として、田園風景のすばらしいところです。しかしながら、台風の季節になると、毎年のように河川が増水し、利根川や渡良瀬川の水位が上がると思川や巴波川に逆流し、洪水に不安を募らせて生活しているのが現状であります。昭和22年のカスリーン台風の時、私は12歳で今でも堤防の決壊する状況を鮮明に憶えておりますが、地域の家屋は瞬間に洪水に押し流されてしまいました。144棟の家屋が流失し、11名の方がなくなり、その惨憺たる状況は忘れようとしても忘れられません。近年は、異常気象の大雨による災害が各地で起きていますが、当地域でも平成10年の台風の際は思川乙女観測所では警戒水位を超え、一部の地域では避難勧告も出され、また、平成14年の台風では危険水位を超えてしまい、巴波川では漏水も発生し、破堤してもおかしくない危険な状況でありました。私たちは、平成17年に同じ境遇にある野木町、藤岡町の住民と「渡良瀬遊水地第2調節池周辺地区治水・u構築促進連絡協議会」を立ち上げ、治水対策を推進しておりますが、河川整備計画の策定におきましては、次の件を盛り込んでいただきますようお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 渡良瀬遊水地第2調節池においては、掘削による治水容量の確保及び掘削土による堤防の強化</li> <li>2. 思川、巴波川においては河床掘削による流下能力の増大及び堤防強化</li> <li>3. 渡良瀬遊水地の広大なヨシ原や、思川、巴波川など、周辺河川の河岸林などの自然の景観や環境保全、遊水地の湿地の再生に十分配慮した計画。</li> </ol> <p>私たちの地域が一日でも早く、安心して生活ができる地域になりますよう、よろしく願いいたします。</p>
16	70歳以上	男性	栃木県	小山市	<p>私の住んでいる地域は、思川右岸にあり自然豊かな環境に恵まれており、周辺地区はおいしいお米の取れる産地として、田園風景のすばらしいところです。しかしながら、台風の季節になると、毎年のように河川が増水し、利根川や渡良瀬川の水位が上がると思川や巴波川に逆流し、洪水に不安を募らせて生活しているのが現状であります。昭和22年のカスリーン台風以来、幸いにも大きな水害はありませんが、当時、私は17歳で、地元の消防団に入っており、堤防の警戒に当たっておりましたが、渡良瀬遊水地第2調節池の堤防が決壊し、洪水が押し寄せてきた時は、なすすべもありませんでした。近年は、異常気象の集中豪雨により各地で災害が発生し、昨年は長野県などで大きな被害が出ておりますが、このような状況をテレビなどの報道で見ている、いつ自分のところに降りかかるかと、地域の安全に不安を覚えております。平成10年の台風の際は、私の家のすぐそばにある思川乙女観測所では警戒水位を超え、避難勧告も出され、また、平成14年の台風では危険水位を超えて堤防の一番上まで水がきて、破堤してもおかしくない危険な状況でありました。私たちは昭和50年に「思川右岸生井地区堤防強化対策協議会」を設立し、堤防の強化を図、県に要望してきましたが、私の地域のすぐ下までが国の管理で、私のところは県の管理地域であり、整備状況が一環しておりません。平成17年に同じ境遇にある野木町、藤岡町の住民と「渡良瀬遊水地第2調節池周辺地区治水事業促進連絡協議会」を立ち上げ、治水対策を推進しておりますが、河川整備計画の策定におきましては、次の件を盛り込んでいただきますようお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 渡良瀬遊水地第2調節池においては、掘削による治水容量の確保及び掘削土による堤防の強化</li> <li>2. 思川、巴波川においては河床掘削による流下能力の増大及び堤防強化</li> <li>3. 渡良瀬遊水地の広大なヨシ原や、思川、巴波川など、周辺河川の河岸林などの自然の景観や環境保全、遊水地の湿地の再生に十分配慮した計画。</li> <li>4. 利根川や渡良瀬川の背水影響区間の危険性を鑑み、思川、巴波川、永野川を国の直轄管理としての区間の延伸。</li> <li>5. 防災公園または避難場所の設置。</li> </ol> <p>私たちの地域が一日でも早く、安心して生活ができる地域になりますよう、よろしく願いいたします。</p>
17	60代	男性	栃木県	下都賀郡野木町	<p>私の住んでいる地域は、思川右岸に隣接した、野木町では唯一低地にあり、田園風景のすばらしい自然豊かな環境にあります。しかしながら、台風の季節になると、毎年のように思川が増水し、利根川や渡良瀬川の水位が上がると思川に逆流し、洪水に不安を募らせて生活しているのが現状です。近年は異常気象の集中豪雨により各地で災害が発生し、昨年は長野県などで大きな被害がでており、地域の安全を考えると不安でなりません。平成10年の台風の際は、私の家のすぐそばにある思川乙女観測所では警戒水位を超え、一部の地域では避難勧告も出され、また、平成14年の台風では危険水位を超えて堤防の一番上まで水がきて破堤してもおかしくない、危険な状況でありました。昨年12月の大雨では、漏水らしきものも発生し、現在国において調査中です。私たちは、平成17年に同じ境遇にある小山市、藤岡町の住民と「渡良瀬遊水地第2調節池周辺地区治水事業促進連絡協議会」を発足し、治水対策を推進しております。また、平成18年には地区内で負担金を出し合い、治水組織を作ろうと、「野木町川西地区治水事業促進連絡会」を立ち上げまわす。河川整備計画の策定におきましては、次の件を盛り込んでいただきますようお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 渡良瀬遊水地第2調節池においては、掘削による治水容量の確保及び掘削土による堤防の強化</li> <li>2. 思川、巴波川においては河床掘削による流下能力の増大及び堤防強化</li> <li>3. 渡良瀬遊水地の広大なヨシ原や、思川、巴波川など、周辺河川の河岸林などの自然の景観や環境保全、遊水地の湿地の再生に十分配慮した計画。</li> <li>4. 利根川や渡良瀬川の背水影響区間の危険性を鑑み、思川、巴波川、永野川を国の直轄管理としての区間の延伸。</li> </ol> <p>私たちの地域が一日でも早く、安心して生活ができる地域になりますよう、よろしく願いいたします。</p>
18	60歳以上	男性	群馬県	藤岡市	利根川、江戸川河川整備計画絶対反対です。
19	60歳以上	男性	群馬県	藤岡市	地域を無視した計画でありダム建設の現点に戻っていただきたい。国には国の考へ方があるでしょうが地域を無視したやり方には断固反対です。再考を願ひます
20	60歳以上	女性	群馬県	藤岡市	地元の現状をよく見て計画を考え直して欲しい。

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
21			埼玉県	熊谷市	<p>当土地改良区は本庄市の利根川より最大許可取水量9.185m<sup>3</sup>/sを取水し、本庄市の水田をかんがい、流下し、小山川と合流し、さらに流下し、深谷市・熊谷市の北部の計約1,400haの水田をかんがいの備前渠用水路を管理しております。</p> <p>備前渠用水路の取水口は、昭和5年に築造されたものが、流況の変化により取水量が激減したため、昭和41年に当時最大許可取水量9.260m<sup>3</sup>/sを取水すべく再築造されたものです。近年は、慢性的な取水量不足に悩まされ、平成18年のかんがい期における最低取水量は1.018m<sup>3</sup>/sを記録しました。そのため、例年のかんがい時期には水不足のため、番水等で各戸農家の負担が増え、用水を取得するための上下流の農家間の争いも起こり、当土地改良区としても心配の種は尽きません。</p> <p>原因のひとつとして、利根川水系河川整備基本方針の中の河床変動の状況にも記されているとおり、取水口のある本庄市・伊勢崎市内の河床が低下したことが考えられます。現取水口は、昭和30年の八斗島のかんがい期の最低水位YP46.692を基本事項として設計がなされており、平成18年のかんがい期の最低水位YP42.172と比較すると、4.5mも低下したことになります。この状況で正常な取水ができるはずがありません。とは言え、現取水口の改修を行うことは多額の経費を要し、厳しい農業情勢の中、農家に負担を強いることはできないので、見送らざるを得ません。</p> <p>河床低下そのもの原因には自然的なもの、人工的なものが想定されますが、農業利水者に配慮された河川管理を要望し、多角的な視線により、安定取水につながる利根川の河川整備計画の樹立を願ってやみません。</p>
22	50代	男性	千葉県	佐倉市	<p>報道発表から利根川の洪水調整を放水路を造り東京湾に排除する計画を知りました。今となっては宅地等開発が進んだ地域を通過する計画であったため、それを見直し印旛沼を利用し東京湾に排除するとか？はたしてそんなこと可能でしょうか。利根川・印旛沼・東京湾の水位差・地形上の問題、現在の排水施設の規模等考えれば無理に思えます。また、大雨が降るたびに地方版では「浸水被害」の記事が踊ることしばしば、こんな印旛沼を利用するには、干拓した田んぼを昔に戻すなど荒療治が伴いませんか？国土を守る使命感は伝わりますが現実を直視し計画して下さい。ただし、地域が希望する事業計画であれば反対するものではなく、関係者の相互理解のもと進められることを希望いたします。成田空港や、開業を平成22年と先に謳った成田高速鉄道など、地域の合意を後に求めることは避けて頂きたいと思います。</p>
23			埼玉県	さいたま市	<p>河川整備計画に盛り込んでほしいこと</p> <p>1 河川敷に卵の産卵場と野鳥の島を造ってほしい</p> <p>利根川、江戸川には、広大な河川敷があります。現在の利用方法は、ゴルフ場、野球場などのスポーツ施設、駐車場などが主なもののようですが、河川の護岸化が進み、魚の産卵場や隠れ家、鳥の生息場所が奪われています。そこで、これらの自然を少しでも回復するため、河川敷にワンドを造り、ヨシ、マコモなど植栽をして魚の産卵場や隠れ家を造るとともに、島を造って、野鳥を外敵から守れるよう配慮して欲しい。(島を囲むように水路を造る。)</p> <p>その際、護岸は、自然にやさしい素材、例えば間伐材などを使用してつくり、漁礁を入れるなど配慮する。</p> <p>現在の河川敷の多くは、自然に配慮した施設が少なく、ゴルフ場などは、どのような除草の仕方をしているのか、内容を公開してほしいものである。</p> <p>2 河川にフェンスなど張らないで済む河川工事をしてほしい</p> <p>河川管理者が、危険を防止し責任を回避するため、フェンス等を張り巡らしてしまうケースが多いが、危険を未然に防止するような河川工事を行って、住民が河川に親しめるような配慮を望む。当然、費用が高むことが予測できるが、事故は安全性を軽視するところから発生するので、安全性を確保するために必要な経費は盛り込むことが当然である。</p> <p>住民が水辺に親しめることができれば、大いに活力増進に役立つこととなる。</p>
24	60代	男性	神奈川県	横浜市	<p>利根川水系河川整備計画 意見書 首都圏の水利権見直しを前提とした「河道内自然環境再生事業」の提案</p> <p>はじめに 私は2005年3月31日に東京都水道局を定年退職した。東京都局に奉職して感じたことは、東京都が本来の自己水源を実質的に放棄して利根川水系に膨大な水利権を獲得し、その結果として利根川水系の地域社会と自然を破壊していることである。更に東京都はハッ場ダムに新たな水利権を求め、「ハッ場ダム建設が必要」としている。</p> <p>このような状況は東京都だけでなく、千葉県・埼玉県にもいえる。それはまさに首都圏による利根川水系からの水収奪である。</p> <p>首都圏の水需給は既に充分満たされている。利根川水系に張り付いている首都圏の水利権を環境の視点で厳しく見なおす必要がある。</p> <p>1:主旨 利根川水系は流域に首都圏を抱えていることから、自然の姿がごとごとく改変されている。その結果として、河道内自然環境が著しく破壊されている。これら河道内自然環境の破壊状況の調査、原因究明、対策の策定、その実施、という一連の作業を「河道内自然環境再生事業」として利根川水系河川整備計画に組み込むことを提案する。</p> <p>2:河道内自然環境の破壊の事例 利根川水系にはダム、遊水池、堰など、治水や利水を目的とした河道内流量調節施設が沢山ある。これらの施設はいずれも、その程度に多少の差異はあるものの、河道内環境の破壊をもたらしている。その例を幾つか挙げる。</p> <p>吾妻川水系の長野原町以降の下流域、烏川 - 神流川水系の下久保ダム下流の三波石峡、渡良瀬川水系の草木ダム下流域などは上流のダムによる取水により水枯れ、もしくは、小流量により、自然環境を貧しくするとともに景観を著しく損ねている。</p> <p>渡良瀬遊水池は、渡良瀬遊水池総合開発により調節池化され、第2調節池・第3調節池は平常時は乾燥化と生態系の均質化が進行している。第1調節池には、谷中湖が建設されているが3面コンクリート張りという状況と霧ヶ浦においては霧ヶ浦総合開発により、水瓶化 = 貯水池化事業が終了した。このことにより湖内の水の動きがなくなり、湖の水質悪化が極度に進行している。</p> <p>利根川河口堰においては堰上下流が遮断されていることにより、汽水域生物と淡水域生物の往来がないうえ、水質悪化により、生態系が破壊され、水産資源が著しく減少している。</p>



受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
					<p>3:原因 吾妻川、草木ダム下流域の場合は発電用水取水による極度の水量減少が原因である。遊水池群は越流堤による常時締め切りが原因である。三波石峡、霞ヶ浦、利根河口堰は利水目的による貯水が原因である。</p> <p>4:対策 発電用水の取水に関しては、取水量を削減と放流量の増加、遊水池群に関しては平常時の水の出入り、三波石峡・霞ヶ浦・利根河口堰などの利水目的施設に関しては放流量の削減と放流量の増加、つまり、より合理的な水運用が抜本的対策である。 究極的には発電用に関しては節電、利水用に関しては節水が抜本的対策となる。</p> <p>5:節電・節水 水利権の見直し 首都圏が電力、都市用水、農業用水において利根川に対する依存する量はきわめて大きい。利根川への依存量を極力低減することが利根川水系生態系の復活を主とした利根川の河道内自然環境再生に必要である。そのためには既存・予定の水利権の見直しが必要である。 象徴的な例の一つ挙げる。東京都は自己水源の一つである多摩川調布取水堰地点からの水道用水源としての取水を水質悪化により1975年以来中止している。更には、自己水源である地下水を正規の水源としてみなしていない。その一方で利根川水系に建設中のハッ場ダムに新規水利権を求めている。このように、本来の自己水源を事実上放棄して利根川水系に新規水利権を求めることは合理性が著しく欠如したものである。東京都のみならず首都圏の都市用水の需要はすでに飽和状態に達している。一方、供給・水源量は需要を満たすのに十分な量が確保されている。利根川水系に都市用水を依存している1都5県は水源量が不足をきたすといっているが、それは多くの事実を隠蔽した上でのことであり、公共事業依存型の経済維持・発展を政策にしているからに過ぎない。 利根川水系の環境の視点から利根川水系に確保されている水利権(ハッ場ダム等への予定水利権を含む)をその実態を踏まえて徹底的に見直す必要がある。</p>
25	40代	男性	千葉県	柏市	<p>利根川水系の河川整備計画について、現計画を前倒して推進することをお願いしたい。 利根川から約3kmの地点に住む者として、洪水被害について常に懸念している。 近年の異常気象による想定外の大雨の可能性が指摘される中、治水対策が万全でないことを聞いて背筋の凍る思いがする。 過去の被害・近年の他地域の被害状況を見ると、亡くなった方々・失われたものだけでなく、被災者の方々の心理状態を考えるとやりきれなくなる。 最近、たまたま洪水被害がないからといって、これから起こらないという保証はない。 どうか一日も早く、安心して暮らせるように治水対策を最優先として事業の推進をお願いしたい。</p>
26	60代	男性	茨城県	取手市	<p>ハッ場ダムの建設に反対します。</p> <p>1. 利水上の理由 現在首都圏のどの都県も大きな水余り状態にあります。地下水など現状の保有水源を活用し、大所高所から農業用水、工業用水の振替えなどを利水行政の根幹に置くべき時代です。</p> <p>2. 治水上の理由 八斗島地点での基本高水設定22000tは現実を無視したものです。ために上流のダムで5500tをカットするという二重の現実ばなれた計画を生んでいます。現在のダムカット分にハッ場ダムを加えても3900tも未カット分が残り、なお、10基以上のハッ場級のダムをつくることは夢のまた夢であることは国交省が一番よく知るところでしょう。下久保ダムなどの高あげや利水との振り替えなどは焼け石に水です。そんなことで善良な国民を騙すことは行政として恥すべきことです。先ず基本高水を現実に合わせてハッ場ダムを白紙撤回すべきです。</p> <p>3. 環境問題からの理由 いま最も急がれるのは地球環境の保全と回復です。私は長野原町にも居を定める者ですから現地の惨状はいつも目にしています。ハッ場ダムの本体工事による環境破壊はもとより、国道・県道、JR吾妻線、水没住民の代替地のすり上げ工事など渓谷の両斜面を10数キロにわたって削り、掘削、埋める環境破壊は目を覆うばかりです。異常湯水を実態以上に喧伝してダム推進世論をつくり出し、自然環境の破壊を進めるは水行政という「枝葉」だけを見て人類の将来である「山」を見ない役所のセクショナリズム以外の何者でもありません。「人の生活」も自然の営みの一部です。いま行政の立場にいる人の責任は、地球環境の回復にあります。</p>
27	70歳以上	男性	千葉県	成田市	<p>利根川水系における河川整備計画策定に係る意見文 要望要旨</p> <p>1. 派川根木名川改修促進について 派川根木名川については、平成16年10月9日の台風22号、平成18年10月5日の低気圧による大雨のように、ここ数年の間に2度も越水寸前の事態となりました。 千葉県において、派川根木名川の整備について着々と進められておりますが、思うように進捗していないようです。 このままでは、いつ又同じ事態に見舞われることか心配でなりません。 また、成田国際空港の平行滑走路北側延伸による2,500メートル化整備工事が着工され、平成21年には完成する見通しです。この空路直下の住民からも北延伸の代償として、派川根木名川改修促進と尾羽根川排水機場増馬力が強く望まれ、地域振興策の一事業に位置付けられています。 そこで、派川根木名川の整備促進のため、空港関連河川と位置付け、更なる予算枠拡大を要望します。</p> <p>2. 尾羽根川排水機場増馬力要望について 平成16年10月9日の台風22号、平成18年10月5日の低気圧による大雨の時、尾羽根川排水機場の排水能力では対応できなかったことは明確であります。 また、成田国際空港の平行滑走路が完成すると尾羽根川流域内の開発が進むことが予想されますので、一刻も早く増馬力が必要と考えます。 利根川水系河川整備計画の策定にあたり住民からの意見を聴取するため、意見募集及び公聴会が行われているようであるが、この整備計画に位置付けする必要があるのか。</p> <p>尾羽根川排水機場について申し上げます。平成16年10月9日台風22号に引き続き、平成18年10月6日の集中的な暴風雨の際も、排水機全力運転にも拘らず時間当たり10cmの増水がありました。丁度午後3時00分頃機場操作員から危険の情報が寄せられました。このままでは、堤防の決壊は必至との事、外は暴風雨状態なので、早速利根川下流事務所へ安食出張所へ連絡を取り、関係機関との協議の申し入れを致しました。そして午後6時00分頃関係機関の参集を得、安食出張所にて協議を致しました。出席者は、利根下流事務所、成田整備事務所、成田市役所、改良区(4機関)で協議致しました。たまたま、今回は刈取前の稲もあり、転作大豆も作付けされて居りましたので、圃場への放流は出来ず唯々状況を見守るのみでした。協議の結論として、現在の10tでは対応出来ないとの事でした。そして増馬力の必要性を率直に認めて頂きました。幸い決壊には至りませんでした。この様な洪水が2年連続発生して居ります。地球温暖化が、各地の気象環境を変えて居る様ですが、このまま放置されれば、住民の不安は、募るばかりです。一方、成田国際空港の北側再延伸・増馬力も問題を抱え乍も2,500m滑走路を平成21年完成に向けて着工致しました。この滑走路直下が派川根木名川であり、尾羽根川排水機場でもあります。地域住民は、上空からは暴音、下では洪水、こんな郷土に誰がしたとの声も高まって居り、成田市が標榜する「これからも住み続けたい、住んでみたいと思える様な町づくり政策」に逆行すると考えます。私達北側住民も、空港の重要性を認識し早期に完全空港にすべく、耐え乍ら協力致して居る訳ですので、NAAを始め関係機関の皆様にも地域住民の声を真摯に受け止め対策を講じて頂きたいと思います。願わくば、平行滑走路完成に合わせ整備が出来ます事を強く要望致します。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
28	60代	男性	千葉県	成田市	<p>現状と課題</p> <p>河川の位置から申し上げますと、派川根木名川につきましては文字どおり、根木名川の支線であります。本流の根木名川は富里市根木名地区を水源とし、成田市東和田で国道51号線をくぐり、少し下流で成田空港方面から流下してくる「取香川」を受け、宝田・新妻地先では成田ニュータウン方面からの「小橋川」、更に流下して「荒海川」を受け利根川に注ぎこんでいます。</p> <p>その利根川の至る直前で枝分かれしたのが、派川根木名川であります。この川には成田市大室地区において、寄せ集まる水路が源となり、やがて水田地帯を流下しつつ奥道成田・滑川線添いの水掛地区と四谷地区の間を通り過ぎた先で、派川根木名川に合流しております。</p> <p>位置と合わせて地域を想定してみますと、ただ今申し上げてきました説明の中には何本もの河川ができました。それだけでも流域の広さが極めて広大な範囲に及んでいるかを、ご理解いただけるものと思います。</p> <p>当土地改良区におきましては、近年の異常とも思える降雨の際には、その都度不安が募るばかりであります。</p> <p>さて、この派川根木名川の現状と課題であります根木名川本流については、成田空港の排水経路ということから「成田財特法」の適用を受け、長期間にわたって改良整備が進められてきました。流下能力も基礎調査のもとに、万全なものと思われまふ。が、しかし枝分かれとなった「派川根木名川」については、次第に管理や改修が受けられなくなり、とどのつまりは尾羽根川と一体となっている「尾羽根川排水機場」の機能低下とあいまって、降雨の際には、川の氾濫や、水田の冠水に見舞われる状況であります。</p> <p>また、雨が降らない時でも「流れないで止まっている」状況であります。昔は皆さんでこの川で遊んだものです。魚を捕ったり、貝を取ったりして・・・それが今はどうでしょう、川の傍に住む人は、滞留している川の水をどう見ているのだろうか、機能を果たさない排水機場はこのままでいいのか、水質汚濁は心配でないのか、雨が降るたびに、冠水するがこのままでいいのか。</p> <p>こんな事柄が地域住民の声であります。私ども土地改良区は機会があるたびに「公の場」において、派川根木名川の改修と尾羽根川排水機場の機能回復についてお願い申し上げてきました。地域住民の安全で安心して暮らせる環境を是非とも確保できますよう、特段のご配慮と早期実現を賜りたく切にお願い申し上げます。</p>
29	70歳以上	男性	千葉県	香取郡東庄町	<p>1. 地球上で利用できる水は限られている。また地球温暖化による気象変動もあり、さらなる新規利水の開発は不可欠であるため、利水施設の確保、新規施設の計上を河川整備計画に盛り込むべきである。2. 日本国は地震多発帯に位置していることから、無堤区間の解消はもちろん、スーパー堤防、ダム、堰等既存治水施設の強化が必要と思われるので、既治水施設の再開発にさらに強化策を盛り込んだ整備計画を望む。3. 人口の密集している首都圏で利用されている水はそのほとんどが利根川に依存している。また利根川には多くの支川が流れ込んでいるので、本川だけの水質浄化のみならず、流入河川の水質浄化なくして本川の水質浄化あらず、よって各支川の水質浄化対策をさらに推し進めるような整備計画を望む。4. 利根川下流部には、日本一の堰があり、また地域は国定公園に指定されていることから、河川区域の景観の整備、また地域と一体となって、環境面からのアプローチが必要であるので、環境保全対策も含めた整備計画が望まれる。洪水敷のみならず堤外の整備も、河川整備計画に反映させるべきである。</p>
30	70歳以上	男性	埼玉県	所沢市	<p>公共事業は、経済社会的効果・環境への負荷を含めて、その与える影響は極めて大きい。一方、日本の財政破綻、環境破壊の進行、国民の価値観の多様化を考えると、公共事業の計画策定、実施に当たり、従来の延長線ではなくゼロベースでの見直しが不可欠であり、現行法制度の枠内で充分実行可能である。</p> <p>計画策定上配慮すべき点は、</p> <p>(1) 経済社会面と環境負荷に及ぶ必要性の科学的評価と見直し。</p> <p>(2) 費用対効果の評価。</p> <p>(3) ゼロを含む複数選択肢の比較及び優先順位の設定。</p> <p>方法論として配慮すべき点は、</p> <p>(1) 情報公開と住民参加：行政や限られた分野の学識経験者の知見では不十分。情報公開を徹底した上で、広く住民・市民団体の意見を求めるべきである。結果的に時間がかかるなどの非効率性は民主主義のためのコスト。</p> <p>(2) 公正な競争：説明するまでもない。但し、＜安からう・悪からう＞を排除するための厳正なチェックの仕組みが不可欠である。</p> <p>Ⅲ. 意見：</p> <p>はじめに、本意見の対象地域は、利根川・江戸川流域と最も広範囲にわたり、対象事業も無数に存在します。以下では全体に共通な問題点としての政策的な総論を概括し、具体例としては最後に1件触れることにしました。</p> <p>1. 公共事業は巨大事業であることが多く、経済社会的効果・環境への負荷を含めて、国民生活に与える影響は極めて大きい。一方、日本の危機的な財政破綻、加速度を増している環境破壊の進行や国民の価値観の多様化を考えると、公共事業の計画策定・実施に当たっては、従来の延長線での改善の積み重ねでは限界があり、ゼロベースでの見直しが不可欠である。ゼロベースでの改革を実行するためには、立法面での対応が必要なケースもあるが、現行法制度の枠内で実行可能な対策も非常に多い。</p> <p>2. 計画策定上配慮すべき点は、以下の諸点である。</p> <p>(1) 経済社会面と環境負荷に及ぶ必要性の科学的評価と見直し、</p> <p>(2) 費用対効果の評価。</p> <p>(3) ゼロを含む複数選択肢の比較及び優先順位の設定。</p> <p>3. 方法論として配慮すべき諸点を下記した。</p> <p>(1) 情報公開と住民参加：行政や限られた分野の学識経験者の知見では不十分。情報公開を徹底した上で、広く住民・市民団体の意見を求めるべきである。結果的に時間がかかるなどの非効率性はある程度不可避である。民主主義のためのコストと割り切るべきである。</p> <p>(2) 公正な競争：説明するまでもない。但し、＜安からう・悪からう＞を排除するための品確法など厳正なチェックの仕組みは不可欠である。</p> <p>4. 上記を総合した実例の一つとして、ハッ場ダムを挙げる。上記諸点に照らして評価すると、</p> <p>(1) 巨額の資金を要する事業である。複数財源や起債金利を含めると1兆円に達する。</p> <p>(2) 必要性(利水・治水)に関する科学的に説得力ある説明が欠如している。</p> <p>(3) 景観・自然破壊・生態系への影響を含めた環境への負荷が大きい。</p> <p>(4) 地滑りや崩落の危険性が高い・・・責任の所在が不明確。</p> <p>(5) 情報公開・住民参加が極めて不十分。</p> <p>(6) 公正競争の不在・・・落札率・現場責任者の逮捕・複数の内部告発などにより、多くの契約で公正競争が行われていないことは推測に難くない。</p> <p>最後に：ハッ場ダム以外の諸事業の中には有用な事業も存在するが、ゼロベースの再評価により、費用対効果を大幅に向上することは可能である。</p> <p>上記諸点はこれからでも実行可能である。過ちを改めるのは早い方がよい。</p> <p>民・官・政・業・学・情報・教など全国民各層が協力して「美しい国」を作りましょう。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
31	60代	男性		高崎市	<p><b>意見概要</b> (冷濁水問題、生態的連続性問題、河床問題)          河川整備計画における環境整備の大きな柱として「水環境」と「河川環境の整備と保全」を上げていますが、釣り人・漁業関係者はもとより県民の願いでもあり、魚にとって良い環境は、人々にとっても良い環境だと思えます。</p> <p>ところで、今でも利根川には天然遡上の美しいアユやサクラマスが少ないながら見られるのをご存知でしょうか？私達はこのかけがいのない利根川が、かつての豊かさを取り戻すよう願っています。</p> <p>(1)ダム放流方法の改善          環境とは全ての生き物が自分の力でそれぞれの暮らし方ができること、つまり食べ物を取って成長し、移動し、隠れ、休み、子孫を残せる場所であることが必要です。そこで、魚のすみやすい環境をつくるために聞ききたいのですが、利根川上流のダム群によりもたらされた利根川の水の冷水化や濁水問題です。釣り人や漁業関係者からは「水が冷たいし河原の石に泥が付いていて、これじゃアユが育たない。」という声が多く聞かれます。従来の治水・利水を目的としたダムの放流の仕方をより生き物に優しくするよう、皆で考えれば改善できる余地は十分あるのではないのでしょうか。</p> <p>(2)河川横断工作物の改善          河川横断構造物により阻害されている生態的連続性の確保も大きな問題です。遡上するアユの他、流下する仔アユやサケの稚魚は、利根大堰地点で武蔵水路に迷入する問題もあります。利根大堰においては、魚道の改善やゲート操作の改善により、アユの遡上数が昨年激増しました。しかし遡上したのは、一部分に過ぎません。まだまだ改善する必要があります。江戸川河口の江戸川水閘門には魚道がありません。「ぐんまのアユ」は、遡上時期や距離から推測すると江戸川から遡上した「江戸前のアユ」ではないかと考えられています。その他にも、まだまだ改善しなければならない施設があります。</p> <p>(3)河床砂礫環境の改善          上流のダム群、支流における治山・砂防施設、堰等の施設建設による影響により、上流から供給される土砂が減少した結果、河床の低下や大型礫による河床被覆現象(アーマコート現象)が発生し、中礫から小礫が少なくなるほか、河床が固く締まった状態になってきています。この結果、中小洪水で河床が更新されるアユ等の魚類の産卵に適する浮石により構成される礫河床(瀬)が減少する他、瀬や淵など多様な河道環境の阻害要因となり、生き物にとって問題となっています。土砂の源流から海への移動は生態的に非常に重要な意味を持っていますので、土砂の移動を取り戻していただきたい。</p> <p><b>意見概要</b> (河川利用問題)          現在の河川の高水敷利用は、運動用地などの緑地を中心とした利用となっており市民の憩いの場となっていると思います。しかし、一部の施設は特定の者によってのみ利用され、一般の立ち入りも規制されている状況にあり、今日の時代に相応しくない高水敷利用と考えられます。不要な高水敷利用により低水路は狭い範囲に押し込まれ、蛇行する余地さえ奪われている状況にあります。低水路にゆとりを持たせ蛇行を許容させることが、瀬や淵を有する豊かな河川環境を自然の営力により取戻すこととなります。このような高水敷は本来の河川として自然に帰すのが責務ではないでしょうか。このような河川利用は、「利根川水系河川整備計画」では、どのような位置付けとなっているのでしょうか。ご回答をお願いします。</p> <p><b>意見概要</b> (計画実施段階の措置)          今回の新しい利根川水系河川整備計画の策定におきまして、住民の意見を聞いていただき、環境に十分配慮された計画が策定されるものと期待しております。今後、私も流域に住む住民として、計画の実施段階においても意見の言える場を設けていただきたいと思います。また、この整備計画の環境に関する検証をしていくために継続して環境調査を実施し、それを公表していただきたいと思います。</p> <p>以上に述べました河川改善に向けた計画も、今回の「利根川水系河川整備計画」に十分に盛り込まれるようにしていただきたい。</p> <p><b>意見の概要</b> (河川整備計画具体内容)          (1)利根川・烏川合流点整備計画について          利根川・烏川合流点に洪水調節を目的とした調節池を計画されるようですが、この合流点はアユをはじめとする生態的な意味における極めて重要な箇所であり、特に利根川水系のアユの産卵場として利用されているので、調節池計画の立案においては特段の配慮をお願いしたい。</p> <p>(2)アユが利根川の環境の指標          河川整備計画における“上下流の連続性”の説明において、利根大堰におけるサケの遡上データ図表が掲載されています。次の理由より、表をサケからアユに変更していただきたいと思えます。          遡上能力を考えると魚体の小さなアユはサケに比べて運動能力が小さいので、河川横断工作物等の遡上障害を考えると、サケのデータ利用に問題がある。          利根川を代表する海と川を利用する魚はアユである。サケは「利根川の東遷の結果」であり、東遷前には生息していなかったのではないかと。          アユは温水性、サケは冷水性魚類であり、冷水問題等の影響をサケは受けにくい、アユは直接的に影響を受ける。          主なサケの稚魚放流は利根大堰下流地点で行われ、北海道や東北地方産の卵から孵化した稚魚が放流されている。このようなサケの遡上は利根川にとってどのような意味があるのでしょうか。</p>
32	50代	男	千葉県	市川市	<p>私は市川三番瀬で貝類漁業をしている者です。江戸川放水路河口堰の閉開により三番瀬海域が真水化し漁業に悪影響を及ぼしています。近年河口堰が防災上必要である危険水位以前においても閉門をする回数が多くありました。その開放により三番瀬は塩分が殆ど無くなった淡水の海となり漁業への影響がでてきています。しいては、河口堰の早期補強又は新規建造をお願いします。東京湾の漁業者は山からの栄養豊かな水が必要です。河口堰に魚道のような絶えず水が流れ込むようにしてはいかがかと思えます。</p>
33	60代	男	千葉県	市川市	<p>私は市川市で漁業を営む者です。我々漁業者は若い頃から東京湾三番瀬、又江戸川放水路で、海苔、貝類、魚類を採り生業としてきました。近年その海、川での漁業生産量の減少が顕著になっています。この事に我々は、閉鎖的水域である東京湾に流入する河川水の変化にも一因があると考えております。過去の江戸川では、関東山地から栄養豊富な河川水が絶えず下流へ流れ豊かな河口域、海を形成していました。現在防災上必要なダムの設置、都市部の舗装による雨水の表層流入、都市生活水のはけ口となる下水道水の流入等、現在の江戸川は山地からの水量に比べ前述の都市部で生み出される水のはけ口となっている部分が多くを占めていると思われ、我々漁業者の生産性を阻害している一因であると思えます。水害を防ぐのも河川の重要な役目であることは、我々も重々理解しています。しかし、現在では、環境を考えて頂くのも行政の役割と考えております。何卒我々の切実な意見をおくみと願います。</p> <p><b>要望</b>          一、出水時の江戸川放水路可動堰を新しくしてほしい又は能力を上げた改修をして三番瀬海域に負荷をかけないような方策を願う。          二、江戸川放水路に溜まった砂を取り除き川底を昔のようにしてほしい。          三、魚道等をつくり平時でも水が流れる様にして回遊魚が放水路を昇るようにしてほしい。          四、都市部生活水の処理についても一度自然に負荷のかからない方策をお願いします。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
34	30代	男性		宇都宮市	<p>河川整備計画について、以下の意見がありますので計画に、反映していただくようお願いいたします。</p> <p>渡良瀬遊水池について  渡良瀬遊水池は、本州最大の湿地であり、鳥・昆虫・植物など多数の希少種を含め生息しています。また、近年湿地の乾燥化が言われるようになり、動植物に影響が出るようになってきています。そこで、湿地を保全しつつ、再生も行なってください。</p> <p>湿地の再生については、現状の把握も重要です。現状把握のための、動植物の詳細な調査も併せて行い、結果を公表してください。</p> <p>整備計画の意見募集について  今回、河川整備計画策定に向け、このような形で意見を募集していますが、意見を聞くだけとにならないように、出された意見とどう反映したのかを公表してください。また、意見を募集するだけでなくNGOなども含めて広く議論をする場を設けてください。</p> <p>以上</p>
35	50代	女性	東京都	小平市	<p>わたしが住んでいる東京都多摩地域では、水道水の約3割を地下水でまかっています。利根川は、遠く離れたところにあり、わたしたちの生活には関係のない川だと、以前は思っていました。しかし、普段使っている水道水の大半が利根川からやって来ていることを知り、わたしたちが水を使うことによって利根川の環境にも大きな影響を与えていることがわかりました。例えば霞ヶ浦は、護岸がコンクリートで固められ、常陸川水門が閉められて水質悪化がどんどん進みました。また、利根川河口堰によって、付近の生態系が大きく変わりました。川や湖に生きるさまざまな生き物が水質悪化によって生きる場を失っているのです。そして、これは魚やシジミなどを生活の糧としている人たちにとっても大変な問題です。利根川の水質悪化は、東京への取水が増加した1980年代後半以降それまで以上にひどくなっていきます。つまり、わたしたちが水を収奪し、利根川の疲弊と生態系の破壊をもたらしているということです。</p> <p>東京で使う水の量は、ずっと減ってきています。水道の1日最大給水量はピークに比べて100万立方メートルも減り、500万立方メートルそこそこになっています。これに対して東京都が持っている水利権は623万立方メートル、しかもここにはわたしたちが使っている約40万立方メートルの地下水が含まれていません。明らかに水は余っているのです。東京都は、こうした実績に目を向けることなく、2013年に1日最大給水量が600万立方メートルになるという水需要予測を立てています。利根川流域の他県も、多かれ少なかれ同じような状況です。使う当てのない水を求めて、ハッ場ダムをはじめとする事業が進められています。巨大なコンクリートの塊を造って、利根川の環境をさらに破壊するのはやめるべきです。長良川河口堰の愚を繰り返してはならないと思います。</p> <p>わたしは、東京の自己水源である多摩地域の地下水をこれからもずっと飲み続けていきたいと思っています。過大な水需要予測はハッ場ダムを造るための数値であり、ハッ場ダムが地下水の切り捨てにつながる懸念があります。地下水の涵養を図りながら、地下水を含めて今ある水源を大切に使うことが必要です。ハッ場ダム計画は中止してください。</p>
36	50代	女性	千葉県	松戸市	<p>ハッ場ダムの建設に反対です。私の住んでいる千葉県はハッ場ダム事業に参画し、事業資金を負担していますが、近年人口は増えておらず、少子高齢化の影響や節水意識の向上により民生用の水需要は減少しています。さらに農業は衰退の一步をたどり農業用水は今でも余っている現状です。工業用水についても工場のアジアへの移転による操業停止や、水の循環利用など技術の進歩でかつてのように水需要が増加していく予測はありません。利水確保のためなら既にハッ場ダムに参画する意味はなくなっています。それでも洪水を防ぐためにハッ場ダムが必要だと言いつつ、予測される洪水については、実はハッ場ダムを建設しても防げないことは、公開されている数少ない情報を基に予測している市民サイドよりも、多くの情報をつかんでいる行政サイドこそ知っていることです。知っていながら根拠のない数字を並べてダム建設を正当化し多額の支出を続けるならば「最小の経費で最大の効果を求めなければならない。」地方自治法に違反しています。これは、千葉県だけの話ではありません。ハッ場ダムに利水権を確保し、治水も依存しようとしている他、梓7都県も同じような状況にあります。</p> <p>ダムの建設には巨額の費用がかかるので、その費用を分担する事は、多額の負債を抱え財政運営の厳しい県にとって重大な決断です。また国においても財政状況が厳しいことは同様です。負債を積み重ね、次の年度へ順送りする事で成り立つ今の財政制度や年金制度の現状が、若者の社会への不信任を募り、労働意欲を減退させる原因の一つです。団塊の世代が退職し、労働力世代が減少していく超高齢化社会では、今までのダム建設計画は全て見直す必要があります。以前に決めたことだからと、今の社会状況も考えずにダム建設を止めなければ日本の社会制度の崩壊にも繋がります。</p> <p>すでに国土交通省は今までの建設一辺倒の国土開発から「美しい国土造り」に方針を変えているではないですか。日本の美しい自然に比べて、この近代化百年ほどの間に造られた人工的な構造物がいかにも環境を悪化させ、国土の自然と景観を破壊してきたかは明確です。日本の美しい海岸線は埋め立てや人工物で台無しです。美しい山野は宅地開発・リゾート開発で壊され、山奥には多くの焼却灰や産業廃棄物が埋められ続いています。中小河川は汚水の排水路と化し川岸をコンクリートで固められて瀕死の状態ですし、大きな河川はその流れを変えられたりダムを造られたり、河口堰で海と分断されたりさんざんです。</p> <p>自然は征服すべきものと考えてきた欧米の国々でも「自然との共生」と言う考え方が広がってきました。ましてや、歴史的・伝統的に自然との調和が重視されてきた私たちの日本です。先祖から受け継いできた大切な宝、美しい日本の国土を子孫に伝えていくために皆で力を合わせるべき時代が来たと思います。産業界が政治を動かす、政治の力を背景に行政主導で公共事業を繰り返して経済を支えてきた今までのやり方では、美しい国土を未来に残す事も、地球規模にまで拡大してきた温暖化や環境破壊にも対処できなくなってしまうでしょう。</p> <p>河川整備としてダムやスーパー堤防・河口堰のような大型の公共事業を計画し正当化するために、賛成してくれる俗に言う御用学者と言われるような研究者や大学教授を集めて、名目だけの委員会作り、都合の良い数字を並べた資料を提示して、国民やメディアを騙すやり方はもう無理です。</p> <p>新しい河川法で、流域の住民の要望・意見をまとめて河川整備計画を策定していくと決めたのですから、淀川水系で行なわれたように、この利根川水系にも上流域から下流域まで幅広い住民の代表が参加しての「利根川水系流域委員会」を作って利根川水系河川整備計画を策定してください。官・民・産・学、全ての力を合わせて利根川流域の美しい国土と、そこに暮らす私たち流域住民の生活が守られるような河川整備計画の策定を望みます。</p>
37	60代	男性	千葉県	印西市	<p>(1)水質改善に配慮されたい。  (2)北千葉導水による、手賀沼への浄化水の安定供給。</p>
38				館林市	<p>川づくりに期待すること  一、江戸川改修による利根川の南流量を増大する  田中正造や吉田東伍、大熊孝等の見解を充分に活かしてください  一、渡良瀬遊水池への“逆流”をなくすよう利根川改修工事計画を再検討する  一、渡良瀬遊水池の第二調節池にさらに工事することは止めて、赤麻沼の復元工事を可能な範囲でよいから実施すること、それによって昔の風向と漁業をよみがえらせてください</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
39	60歳以上	男性		江戸川区	<p>スーパー堤防と既存市街地の区画整理事業に関する意見書</p> <p>1 スーパー堤防を作るための土地区画整理事業は実施できるか。 良好な既存市街地と一体的に実施するスーパー堤防事業については、慎重に検討するルール(現在の市街地の持つ価値、失われるものの計算等)を作る必要がある。 スーパー堤防事業の運用上の位置付け(コストアロケーションか)、法律上の格付け(単なる網懸けか)を明確にする。</p> <p>2 穏やかな平地の住宅地を柵宅と階段の街にするか。 スーパー堤防は通常の土地利用を前提とし、用地買収をしないうちに行う事業である。従って土盛り後もほぼ同じ場所に住宅が建つひな壇の宅地と階段の付帯する住宅街が造成されることとなる。高齢者、車椅子を使う人のみならず、その柵宅地区に居住する者、通行する者は皆階段つき傾斜地の生活を強いられる。バリアフリー(平地化)は市街地整備の重要なファクターである。30hにこだわらないスーパー堤防の建設を期待する。堤防強化策は他にもある。 新たな中高層ビル群の建築、防災拠点とヘリポート、流通センター建設等土地の高度利用が可能な場合は別である。</p> <p>3 スーパー堤防と既存市街地、現堤防との一体的整備をどのように図るか。 既存市街地を再開発する場合、その場所によってそれぞれのカラーがある。 スーパー堤防事業と一体となった町おこしは考えられないか。 現堤防約2kmは、空に開けた堤防である。遠く西に富士山を垣間見、北に筑波山を望める場所である。堤防に添って道路がなく、堤防下を一定の距離を隔てて低住宅層が並び、この区間はどこからでも堤防に登れる緑の斜面である。堤防上はサイクリングロードであり、ランニング、遠足の路でもある。河川敷には菖蒲園、野球場、広場等があり、江戸川流域でもこの2kmは都心に近い緑と生命のスーパーオアシスである。江戸川区民の、東京都民の又、土手で来る者みんなの憩いの場である。この現状の堤防をきれいに保全していくために、堤防強化策とこの土手との一体的整備として何かないか、更なる検討が必要である。</p> <p>4 国(スーパー堤防)、区(区画整理)と沿川住民との対話は、十分果たされているか。 沿川住民の事業に対する理解と協力は不可欠である。 漠然と予測に基づく「危機管理」を記述するだけでなく、データで住民との対話を進めることが必要である。まちづくり事業者は、ムード作りはあるがスーパー堤防と一体となったまちづくりを実施するかどうか曖昧であっては困る。 まちづくり事業者と住民とのより活発且つ十分な対話を期待する。曖昧な状態を続けることは、市民生活に不安を生じることになる。</p>
40	60代	女性	栃木県	栃木市	<p>渡良瀬遊水池の大規模掘削は、真の治水対策を遅らせる 渡良瀬遊水池はすでに1,718万㎡の治水容量が確保されている。この上に500万㎡(全体の3%)以上の治水容量を増強しようという大規模掘削計画が予定されている。しかしこの500万㎡が必要とされるのは、国交省の計算でも200年に1度の洪水が来たときだけである。それより小さい洪水では、現在の治水容量で十分余裕がある。 それに比べ河道整備の現状は、利根川で15年に1度、思川は15年に1度、渡良瀬川は10年に1度、巴波川は5年に1度の洪水に対応できるかどうかの状態にある。200年に1度の洪水に対応するための大規模掘削をしても、現段階では治水に全く役立たず、真の治水対策を遅らせる。今、優先して進めるべきは利根川本川、支川の河道整備である。 治水目的の大規模掘削と湿地再生は両立しない かつて第二貯水池を建設する計画があったが、これは周辺住民の反対等によって2002年に中止された。住民の反対理由は予定地の第二調節地の貴重な生態系が、根底から破壊されると予想されたからであった。そして同年「渡良瀬遊水池湿地保全・再生検討委員会」(国交省の諮問機関)が設置され、現在も湿地再生のための大規模な調査が行われている。同じ場所で治水容量増強のための大規模掘削事業が計画されているのは矛盾している。乾燥化する遊水池の湿地再生を兼ねた掘削事業を行う話も出されているが、湿地再生と大規模掘削は別であり両立しない。 仮に500万㎡としても、その容量は第二調節地全体を1mも掘削しなければ確保できないし、部分的に1/3を掘削した場合には3m掘り下げる必要がある。残ったところは地下水が浸出して乾燥化がさらに進み、湿地の植生が破壊されると予想される。 湿地再生のための掘削は生態系の変化を注視して、順応的に進めるべきものである。渡良瀬遊水池の生物多様性保全のために進める掘削であるならば、「渡良瀬遊水池湿地保全・再生検討委員会」等の調査にもとづき、段階的に順応的に行うべきである。 そして、世界的にも重要な渡良瀬遊水池の湿地再生をすすめて、「ラムサール条約登録湿地」にすべきである。ラムサール湿地の賢明な利用では、遊水池を挙げている。渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地とし、さらなる生物多様性を目指した湿地再生を、段階的かつ順応的に進め、治水対策と両立させる道を選択すべきである。</p>
41	50代	男性	千葉県	柏市	<p>田中調節地内の溢流堤の上流部への移設計画については、昭和40年代より一貫して反対しておりますが今回の本整備計画案に買取予定年度、工事内容が示されておられません。 下流部への負荷軽減を図るために当地区としてはさらに負荷が増大することになります。 一方的に洪水調節機能を担わせる計画はさらなる不安が増大するばかりです。 他の方法(地下放水路等)もあるように考えられます。如何なものか御配慮願いたい。</p>
42	60代	男性	東京都	練馬区	<p>治水、利水のためにダムを更に造る考え方は、地球環境を更に悪化させ、生物の多様性、ひいては人間の生存を脅かすもので、過去の失敗したやり方と同じです。子や孫の世代を苦しめない方法、即ち水源地帯の森林の涵養や流域の補修など従来と異なる発想で取り組まれるよう切に希望いたします。ハツ場ダム計画は撤回し、地域の関係者生活再建を図ることこそ大切です。「節水努力を真剣に進める活動」にも期待してください。</p>
43	50代	男性	茨城県	牛久市	<p>霞ヶ浦の水位管理について、自然環境に悪影響を与える冬季の水位管理を早急に見直し、自然再生に寄与する管理のあり方を検討する。 常陸川水門(逆水門)の管理について、逆水門の柔軟的な運用を行い、利水に影響のない形での逆流を導入し、魚類の遡上を促し、生態系の再生と漁業の振興を行うこと。捕る漁業の振興により、魚体による窒素やリンの除去を行い水質を浄化する。 消波施設について、生態系を分析しヘドロの堆積を促す石積みの消波施設の設置を見直し、消波が必要な場合には粗朶などの木材(流域産)を活用した伝統工法を採用すること。石と違い粗朶等は順応的管理を行うことができる。 逆水門の柔軟運用に関しては、アサザ基金の提案を参考にさせていただきたい。www.kasumigaura.net/asaza/を参照して下さい。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
44		男性	埼玉県	越谷市	<p>1. 河川法第1条にある、河川環境の整備と保全を整備計画に、明確に位置付けて下さい。 【内容】 河川法第1条は、洪水、高潮等による災害発生防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持、河川環境の整備と保全がされるように総合的に管理されなければならないと定められています。河川としての災害発生防止、河川としての適正利用、河川としての流水の正常な機能の維持、河川としての環境の整備と保全を目的としたものです。 このうち、河川の適正な利用とは、河川でなければ実現し得ないような利用をさすと思われませんが、現状では、他で代替えできる施設が多数存在します。 反面、河川法にある河川環境の整備と保全ができる区域は、年々減少しています。 河川整備計画には、河川環境の整備と保全が、整備計画の目的であると明確に位置づける必要があります。</p> <p>2. 河川環境の整備と保全の計画には、新生物多様性国家戦略の推進に寄与する内容を盛り込んで下さい。 【内容】 平成14年に閣議決定され、日本政府の方針となった新生物多様性国家戦略では、河川を多種多様な生物の生息・生育空間として豊かな生態系の成立に大きな役割を果たしているとし、わが国の河川整備の基本的考えを次のように示しています。 その川がもともと有していた多様な河川環境を保全・復元する 連続した環境を確保する その川らしい生物の生息・生育環境の保全・復元を図る 水の循環を確保する 市民、有識者、関係団体等の理解と協力を得る 新生物多様性国家戦略の考え方にもとづいた整備計画を策定して下さい。</p> <p>3. 自然再生公共事業を盛り込んだ整備計画にしてください。 【内容】 鉤路湿原や渡良瀬遊水地、荒川中流など、環境を主目的とする自然再生事業が展開されてきました。今後は、特定の地域を限定した対応から、一般河川への適応が求められます。関宿の江戸川分岐地点や、江戸川上流、下流の各地点で、安全を踏まえた上で、環境を主目的とする自然再生事業が展開できるような整備計画としてください。</p> <p>4. 河川水辺の国勢調査などの環境情報を活用した整備計画を策定して下さい。 【内容】 平成2年から、河川水辺の国勢調査が、全国の河川で展開されてきました。江戸川での調査結果もまとめられてきました。そこには、多くの貴重な生き物や地域を代表する生き物が確認されています。整備計画ではそうした自然環境調査結果を十分生かしてください。</p> <p>5. 江戸川の河川環境とこの生き物との関わりを十分把握した上で、整備計画を策定してください 【内容】 河川水辺の国勢調査は、調査時点における生物分布などが調べられましたが、河川整備にあたって必要なのは、施工、管理における、生き物の生息・生育との関係です。 堤防、高水敷、中水敷、岸部、低水路、ワンドなどのほか、高水敷の水路、水溜り、湿地、乾地、草刈場所、放置場所、利用地などと生き物の生息・生育との関係、さらに土質や、湧水、かく乱の影響などを把握することで、適正な施工手順や方法のもとに、河川環境の整備と保全に留意した整備計画が立てる必要があります。 安全の確保と環境の保全が両立できるよう、江戸川における生き物の生態と河川との関係を明らかにして、河川整備計画に反映してください。</p> <p>6. 江戸川河川整備計画は、「多自然型川づくり」レビュー委員会の提言に沿った手法で展開してください。 【内容】 平成2年から、全国各地でたくさん実施された多自然型川づくりについて、「多自然型川づくり」レビュー委員会が、全国の事例を精査し、平成18年5月に「多自然型川づくり」を提言しました。江戸川河川整備計画は、これに沿った内容で進めてください。</p> <p>7. 河川における生物多様性の維持管理など、環境機能の保全、管理も、河川管理に含めてください。 【内容】 河川構造物である堤防、高水敷、護岸、取水口などは、常時監視され、必要に応じて補修が行われていますが、治水、利水とともにもうひとつ重要な環境という河川機能は、日常的な河川管理に含まれていません。河川法の目的が、治水、利水、環境である以上、環境機能についても、必要な管理が行われるよう河川整備計画に盛り込んでください。 特に江戸川における生物多様性の維持管理や外来生物の監視、除去などの管理事業を整備計画に含めてください。</p> <p>8. 江戸川全体の高水敷の地盤高を、全て毎年1～2回程度以上の冠水ととなるよう整備計画で標準化して、安全度を高めてください。 【内容】 江戸川は、高規格堤防や中間型堤防など、堤防強化による河川の安全度を向上させていますが、堤防間を拡幅できない以上、河川の拡大による流下能力の向上を図ることが重要です。堤防強化のために緩傾斜堤防にすると、堤外地の河積が減少します。堤外地の河積を増やすには、現行の高水敷の地盤高を下げる必要があります。特に江戸川下流部の高水敷は、江戸川上流部に比べて、はるかに冠水頻度が低下しています。これを毎年1～2回程度になるように地盤高を下げることで、河積が増し、江戸川流域の住民の安全性が確保できるようになります。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
					<p>9. 河川のかく乱を想定した整備計画を策定してください。</p> <p>【内容】 河川においては、洪水によるかく乱や流量変動など河川そのものもつダイナミズムとその環境下で形成される自然環境に特徴があると、新生物多様性戦略は、河川のかく乱や流量変動も重要との認識を示しています。</p> <p>江戸川上流の自然環境調査により、貴重植物の多くが、洪水によるかく乱で、絶えず植生が変化していることが、生育の重要な要因になっていることがわかっています。洪水によるかく乱は、洗掘や堆積など、河川管理上、問題を起こすこともあります。もともと安全上の余裕があれば、十分対応可能です。樹木の繁茂は、川らしさの象徴です。樹木も、川の施設の一部であるとの認識の下に、樹木が繁茂しても、流下能力が損なわれないよう、安全が確保できる整備計画にしてください。計画流量ぎりぎりまでの高水敷を拡大したり、地盤高を高くして余裕をなくし、樹木の繁茂も、少しのかく乱も許容できなくなるような状況を招かないようにしてください。</p> <p>10. 中水敷を全面的に取り入れてください</p> <p>【内容】 堤防の洗掘等の防止のため、堤防付近の高水敷は、一定の幅で残し、低水路との間に広い中水敷を形成してください。中水敷により、河積を拡大して安全度を高めることができ、冠水頻度を上げることで、川らしい自然環境が形成でき、多種多様な生き物が生息・生育できるようになります。河積の拡大によって生じる安全度の高まりの中で、樹木の繁茂の許容できるようになると思います。</p> <p>11. 低水路位置の変更は、高水敷の掘削と埋設を伴いますが、埋設が必要な旧河道部は、堤防に流水が直接あたらないよう、水制を設けたり護岸を強化するなどして、そのまま残し、河川環境の向上に役立ててください。</p> <p>【内容】 高規格堤防に接する箇所や直線部では、堤防の洗掘による破堤の恐れが低く、護岸強化や水制の設置などを施せば、旧河道をワンドとして残すことができると思います。川幅を広く確保できるところは広くするという、多自然型川づくりの考え方を踏襲し、水辺の生物多様性の増進に寄与できるようにしてください。</p> <p>12. 低水路位置の変更など、高水敷を掘削する場合は、旧河岸部分を残して施工し、自然回復を確認してください。</p> <p>【内容】 江戸川の自然環境調査により、低水路の岸に沿った場所が、特に哺乳類の生息場所になっていることが確認されています。生き物の生態に配慮した施工方法がとれるような整備計画にしてください。</p> <p>13. 河川が多様な地形は、川らしさ、生物多様性、すぐれた景観などの基礎となるものです。河積の増大、高規格堤防の活用、護岸強化などの安全策の徹底により、多様な地形が確保できる整備計画にしてください。</p> <p>【内容】 河川における多様な地形は、数十センチの凹凸や湿潤な地表面、水たまり、変化する川岸形状ワンドや流水保全水路などさまざまです。河川の状態に応じて、多自然型川づくりの実現に向けた整備計画を策定してください。</p> <p>13. 流水保全水路の手法を使った環境保全水路の設置を整備計画に盛り込んで下さい。</p> <p>【内容】 ふれあい松戸川のような流水保全水路は、近接する取水施設への汚染された排水の影響を改善するとともに、生き物の生息・生育環境を改善する良い対策だと思います。この方法で環境保全を主体とした自然再生公共事業を計画してください。 14. 流水の保全には、従来、農業用水、工場用水、上水道用水がありますが、河川敷内の小水路や堤内地への環境用水の利用ができるよう整備計画に位置づけてください。</p> <p>【内容】 河川水の利用は、農業用水、工場用水、上水道ばかりではなく、環境用水としてのニーズがたまっていきますので、整備計画の中で位置づけてください。</p> <p>14. 利用形態をあらかじめ定める安易なゾーニングは、整備計画では行わないでください。</p> <p>【内容】 ゾーニングは、江戸川の将来像と不可欠です。整備計画の中で、新たな市民参加の仕組みを作り将来像を明確にするか、あるいは将来像が明確にならないうちは、利用ゾーン、保全ゾーンなど河川内をあらかじめ区切ってしまうゾーニングは行わないでください。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
					<p>15. 占有地の緑化率を3割以上確保してください。            [内容]            都市計画では、開発面積に対する緑化率が定められています。しかし河川では、環境の保全が河川法で定まっているにもかかわらず、占有者への緑化義務も環境の保全条件も、何ら定めがないため、特にオープンスペースの利用だけ占有地では自然環境が破壊されています。都市開発では、更地状態から緑を形成するので、芝生でも庭木でも、緑になれば良しとされていますが、河川環境は、新生物多様性国家戦略や、多自然川づくりの提言にあるような、河川特有の自然復元が求められています。そこで占有者には、自費で占有面積の3割の河川環境の復元を義務付けるようにしてください。整備計画は、占有者の責務の言及し、河川整備の目的を踏み外さないように求めます。</p> <p>16. 堤防が強化された川裏部分への在来樹種による河畔林を構築してください。            [内容]            堤防を強化して、川裏部分に植樹できるようにし、新たな河畔林を構築してください。道路には、街路樹があって当然と考えられている時代です。堤防には河畔林があって当然という整備計画を立ててください。</p> <p>17. 河川に親しめ、河川の情報が入手でき、地域の学校などで江戸川を活用した環境教育が行われるよう、地域の人と江戸川の接点となるよう龍Q館の機能を向上してください。            [内容]            現在の龍Q館は、首都圏外郭放水路のPRなどを主な業務としていますが、これを拡充して、江戸川全体が理解できるような、荒川の川の博物館や知水資料館のような施設にしてください。</p> <p>18. 河川敷の安全と環境保全のために防火帯を設けてください。            [内容]            乾燥した季節に野火が発生することがあります。一定の距離に設けられる防火帯は、野火の拡大を防ぐばかりでなく、オギやつる性植物の繁茂による植生の単純化を防ぎ、江戸川の生物多様性の維持に寄与します。生き物の生態を考慮して、防火帯を設けてください。</p>
45	40代	女性	群馬県	前橋市	<p>利根川の基本方針・整備計画の策定に関しては、ハッ場ダムをはじめ様々な問題があり、国土交通省のみが責任を負える状況にあるとは思えません。流域住民への情報の周知、意見のとりまとめについて、再考を求めます。            ハッ場ダム事業について、地元がダム建設の推進を望んでいる、との説明を度々国土交通省より聞かされてきましたが、地元が望んでいるのは、長年の犠牲にふさわしい見返りです。今の状況のままでは、地元の人々の希望は叶えられず、ダム完成後は、負の遺産として、下流・地元双方から施工者の責任が問われることになるでしょう。</p>
46	50代	男性	千葉県	市川市	<p>利根川水系河川整備計画についての意見を述べさせていただきます。            1点目は、河川整備計画の前段の「基本方針」に不備があるのではないかとことです。97年に河川法が改正され、「環境」が重要な柱として位置づけられました。一方、92年の地球サミットを受けて、我が国は生物多様性条約に調印し、「生物多様性国家戦略」を策定、現在は「新生物多様性国家戦略」が実行に移されています(ただし、これも現在見直し作業中)。            したがって、河川環境や生物に対する配慮については、この「新生物多様性国家戦略」を具体的に掲げて、それに沿った形で河川整備基本方針の「1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針 (2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針 ウ河川環境の整備と保全」に記述すべきではないでしょうか。            日本として生物多様性条約を批准していること、環境省と国交省という同じ国の機関でありながら、国交省自身が環境省中心で策定した「新生物多様性国家戦略」を無視するような形をとっていることは国政レベルの大きな不整合ではないでしょうか。これでは、いくら河川整備基本方針に「環境や生物に配慮する」と明記してあっても国民は納得できません。「河川整備基本方針」にしっかりと「新生物多様性国家戦略」を位置づけてください。</p> <p>2点目は、基本方針では印旛沼を調節池として利用しながら東京湾へと洪水を流す「新利根川放水路計画」が位置づけられており、利根川から長門川を通して洪水1,000m<sup>3</sup>/秒を印旛沼に導き、花見川を使ってさらに東京湾に流すようになっていますが、千葉県が流域住民とともに進めている「印旛沼水循環健全化計画(長期構想)」と大きく矛盾しており、この「放水路計画」は実現不可能だということです。            「印旛沼水循環健全化計画 緊急行動計画」は、現在の印旛沼が抱える水質悪化、外来種の侵入、流入河川での水害発生などの問題を解決し、水清く、自然の恵みにあふれ、穏やかで豊かな印旛沼を再生するために2030年(平成42年)を「恵みの沼」再生の目標年次として設定したもので、当面できることを2010年を目安に効率的かつ集中的に実行していくこととした「緊急行動計画(中期構想)」に現在取り組んでいるところです。その構想の中では治水安全度として「30年に1度の大雨でも安全」が目標として掲げられています。ところが、利根川水系河川整備基本方針は200年に一度の大雨に対応できるように利根川から印旛沼、印旛沼から花見川を通して東京湾までを大改造しようというものです。現在でも印旛沼に流入する河川では水害が発生しやすい状況ですし、行動計画では、目標のひとつとして「ふるさとの生き物はくむ印旛沼・流域」の実現があり、そのためには現状の印旛沼と流入河川に見られる良好な自然環境は保全しながら、自然復元をはかるべき区域については慎重に取り組まねばなりません。ところが基本方針を実現・u梓ようとするれば、印旛沼、長門川、印旛捷水路等の掘削と拡幅という大型公共工事が必要となり、「ふるさとの生き物をはくむ印旛沼・流域」の実現が難しくなるのは必死です。たとえば、基本方針に沿った計画が進めば河道も1,000m<sup>3</sup>/秒(河川整備計画では500m<sup>3</sup>/秒)を流せるようにしなければなりません。現在の長門川が100m<sup>3</sup>/秒以下、印旛捷水路でも120m<sup>3</sup>/秒の河道容量しかないことを考えれば、基本方針がいかに千葉県と流域住民が決めた印旛沼水循環健全化計画を無視した「机上の空論」であるかがわかるのではないのでしょうか。            以上の2点は、河川整備計画の上位に位置づけられている「基本方針」そのものの不備を指摘したものです。したがって、河川整備計画の策定の前に「基本方針」の再検討を要望します。</p>



受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
47	60代	男性	埼玉県	三郷市	<p>1 河川整備計画の目標流量が科学的に見て妥当であるかどうかを明らかにすること 利根川の河川整備計画は目標治水安全度を本川1/50、支川1/30として策定することになっているが、その安全度に対応する目標流量が科学的に見て妥当な値であるかどうか非常に重要である。それは、この目標流量が過大に設定されているために本来は不要な河川施設が河川整備計画に盛り込まれる可能性が高いからである。 整備計画案では、八斗島地点の洪水調節後の目標流量は13,000m<sup>3</sup>/秒となっているが、洪水調節前の目標流量は明らかにされていない。その数字と、それが1/50の値として科学的に妥当かあるかどうかを示す詳細な算出根拠を明らかにすることを求める。 なお、利根川河川整備基本方針では基本高水流量(八斗島地点)が22,000m<sup>3</sup>/秒となっているが、これは基本方針の目標安全度1/200の流量としてはきわめて過大な値であって、実際には16,000m<sup>3</sup>/秒程度であることを申し添えておく。</p> <p>2 河川整備計画に盛り込む河川施設は優先順位の高いものに絞り込むこと 河川整備計画は、河川整備基本方針で(表示はされていないが)想定されている河川施設のうち、今後30年間に実施すべき優先順位の高いものを選ぶことになっている。それは河川整備の段階的な進め方を考えれば、当然のことである。ところが、実際には長期目標としては仮に必要な施設であっても、河川整備計画の段階では必要性・緊急性のないものまでが、事業の実施が自己目的化されて、整備計画に盛り込まれるようになっている。その端的な例が3で取り上げる渡良瀬遊水池や稲戸井調節池の大規模掘削事業である。国土省の計算でもそれらが意味を持つのは1/200のような大きな洪水のときだけであって、1/50の洪水ではまったく必要性のないものであるにもかかわらず、整備計画に盛り込まれようとしている。 整備計画案で示される新たな河川施設のそれぞれが今後30年間に実施すべき優先順位の高いものであるかどうかを十分に検証するとともに、その検証結果の具体的なデータを明らかにすることを求める。</p> <p>3 大規模河川事業については必要性の有無等を十分に検討して、必要性が希薄な事業、環境等に多大な影響を与える事業を河川整備計画から排除すること 利根川水系では下記の - の大規模河川事業が強権的に推進され、または推進されようとしている。これらの多くは真の必要性がなく、環境等に多大な影響を与えるものであり、災害を誘発する危険性を持つものもある。これらのうち、 - の問題点は下記(1)～(7)に述べるとおりである。 - は事業計画の詳細が示されてから、あらためて問題点を指摘することにするが、少なくとも、 - は必要性が希薄で、且つ、環境等に多大な影響を与えることが明白であるので、河川整備計画から排除することを求める。 ハッ場ダム、 思川開発(南摩ダム)、 湯西川ダム、 渡良瀬遊水池の大規模掘削事業、 稲戸井調節池の大規模掘削事業、 烏川の河道内遊水池、 利根川中流部右岸および江戸川右岸の堤防拡幅事業(利根川だけでも移転家屋が870戸以上の事業)、 印旛沼を使う利根川放水路計画、 霞ヶ浦導水事業</p> <p>(1)ハッ場ダム事業の問題点 必要性が失われたハッ場ダム計画 ハッ場ダム計画は首都圏の水道用水等の開発と利根川の洪水調節を目的としたものであるが、いずれも必要性が失われている。首都圏の水道用水は1990年代に入ってから、増加がストップし、減少の一途を辿っている。利根川流域6都県の水道の一日最大給水量は最近12年間で約130万m<sup>3</sup>/日(1割)も減少しており、節水機器の普及等により、今後も減少傾向が続くものと予想され、新たな水源開発は不要となっている。また、治水上ハッ場ダムが必要とされているのは、利根川の治水計画できわめて過大な洪水流量(1/200の基本高水流量)が設定されているからであり、実際の1/200の洪水流量ははるかに小さく、河道整備だけで十分に対応することができる。さらに、吾妻川上流域の気象は長野県型とされているように、雨の降り方が利根川本流域とは異なっており、国土省の計算でもハッ場ダムは利根川の洪水対策に寄与しないことがほとんどである。実際にカスリーン台風の再来計算では利根川に対するハッ場ダムの治水効果はゼロになっている。</p> <p>吾妻渓谷を台無しにし、災害誘発の危険性をつくりだすハッ場ダム 関東の耶馬溪とされる、美しい吾妻渓谷が台無しになる。破壊から免れる吾妻渓谷の中下流部も洪水が流れなくなることによって美しい岩肌のコケが生え、草木が生い茂って、下久保ダム直下の三波石峡のように無残な姿になることが予想される。 ハッ場ダムのダムサイト岩盤は無数の水平方向の節理が走り、大きな垂直断層が3本も入っており、岩盤崩壊の危険性がある。また、ハッ場ダム貯水域の周辺の地層は水を含むと脆弱化する岩崩なだれ堆積物などで構成されており、湛水後は大規模な地すべりが起きる可能性が高い。</p> <p>(2)思川開発事業(南摩ダム)の問題点 わずかな集水面積しか持たない南摩ダムに治水効果があるはずがない ダムの目的は栃木県等の水道用水の開発と思川等の洪水調節である。南摩川のダム予定地点の流域面積は12km<sup>2</sup>しかなく、ダムに水がたまらないので、黒川と大芦川から導水することになっている。治水ダムとして機能するのは南摩川の洪水だけであって、そのわずかな集水面積では思川への治水効果があるはずがない。 水がたまらない南摩ダム、ダムの開発水を供給する計画もない栃木県 当初の思川開発計画は大谷川からも導水することになっていたが、今市市の強い反対でその導水が取りやめになってダム計画が半分に縮小された。黒川と大芦川からは導水することになっているが、それぞれの地元から反対の声が強く出ているので、この計画の先行きは不透明である。さらに、それらの導水量には地元との関係で上限があるので、南摩ダムは計画通りには水がたまらず、カラになる期間が続出するという計算結果が示されており、この計画は実体を伴わないものになっている。 ハッ場ダムの項で述べたように、首都圏の水需要は減少方向に向かっており、新たな水源開発は不要になっている。思川開発も同様である。栃木県の場合は県南部にその開発水を供給することになっているが、そのための広域水道施設計画は存在せず、単に栃木県が開発水源を抱えるだけとなっている。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
					<p>(3)湯西川ダム事業の問題点  もともと治水上の必要性がなかった湯西川ダム計画  湯西川ダムは鬼怒川等の洪水調節と宇都宮市・千葉県等の水道・工業用水の開発を目的としている。治水に関しては鬼怒川の上流にはすでに五十里ダム、川俣ダム、川治ダムがある。関東地方建設局の「利根川百年史」によれば、1973年改定の利根川水系工事実施基本計画では鬼怒川の治水計画はこの3ダムで完結することになっていた。その後、1985年度に湯西川ダム基本計画が策定されるが、驚くことにそのときの鬼怒川治水計画の洪水流量の数字(基本高水流量と計画高水流量)は73年改定の計画とまったく同じであり、湯西川ダムを加えたことによるプラスの効果はゼロであった。これは、3ダムだけで完結していた鬼怒川の治水計画に無理矢理、湯西川ダムを割り込ませることになったことを示している。</p> <p>地下水源の放棄で水需給計画の辻褄を合わせる宇都宮市  ハッ場ダムの項で述べたように、首都圏の水需要は減少方向に向かっており、新たな水源開発は不要になっている。湯西川ダムも例外ではない。宇都宮市の場合は湯西川ダムへの参加の必要性を作り出すため、長年使用し続けてきた地下水源を放棄して水道の水需給計画の辻褄合わせをするようなことまで行っている。</p> <p>希少野生動植物種の生息・生育を危うくする湯西川ダム  このダム建設予定地とその周辺地域には希少野生動植物種が数多く生息・生育しており、ダム工事がそれらに致命的な影響を与えることは必至である。イヌワシ、クマタカ、オオタカ、ハヤブサの生息地を減少させ、オジロワシ、オオワシの採餌行為を制限し、これらの生存を断ち切るようになる。</p> <p>自然が豊かな場所を喪失させる南摩ダム  南摩川の流域は栃木県下の高等植物の種のうち、約1/4が見られるほど、植物相が豊かなところであり、また、鳥類も多様な種類が観察される場所である。南摩ダムの建設はそうように自然が豊かな場所を永遠に失わせてしまう。</p> <p>(4)渡良瀬遊水池の大規模掘削計画の問題点  遊水池の大規模掘削計画と遊水池の自然への影響  渡良瀬遊水池では第二調節池を大規模に掘削して、治水容量を500万m3以上増強する計画が浮上している。仮に500万m3としても、その容量は第二調節池(5km2)全体を1mも掘削しなければ確保できないほどの大きさであるから、その掘削が行われれば、現在の植生が失われ、野鳥や昆虫などの生息にも少なからず影響を与える。部分的な掘削、たとえば第二調節池の1/3を掘削する方法で対応した場合は3mの深さの掘削が必要だから、残ったところでは3mの落差により地下水が浸出して乾燥化がひどく進み、湿地性の植物が壊滅してしまうことは必至である。</p> <p>最近50年間で最大の洪水の時でも6割以上の余裕がある遊水池  渡良瀬遊水池には17,180万m3の洪水調節容量がすでに確保されている。これをあと500万m3増やした場合の治水効果を国交省が計算している。それによれば、利根川・栗橋地点の洪水ピーク流量をわずかに1%低減させるだけであった。</p> <p>しかも、国の計算でもあと500万m3の容量が必要となるのは、200年に1回という、きわめて大きい洪水が来た時だけである。それより小さい洪水の時は遊水池の調節容量には十分な余裕がある。最近50年間で最大の洪水であった1998年9月洪水の時でも渡良瀬遊水池の洪水調節容量は6割以上の余裕が残っていた。このように、200年に1回の洪水より小さい洪水に対応できる治水容量がすでに十分に確保されている。</p> <p>利根川水系河川整備計画の目標治水安全度は本川1/50、支川1/30としているように、現在の利根川やその支川は河川の整備状況が未だに20～30年に1回の洪水に対応できるかどうかという段階である。200年に1回という大洪水が来たら、当然のことながら、遊水池の周辺河川は氾濫する危険が生じ、遊水池にあと500万&amp;#13221;以上の調節容量を増強してもそれが役立つ前に、周辺河川は氾濫の危険にさらされてしまう。</p> <p>以上のように、治水対策として力を入れるべきことは利根川とその支川の堤防整備や河床掘削を進めることであって、渡良瀬遊水池の治水容量を増やすためにその掘削に巨額の公費を投じることは治水対策として誤った選択である。</p> <p>(5)稲戸井調節池の大規模掘削計画の問題点  大規模掘削計画の浮上  稲戸井調節池はもともと洪水調節を目的につくられたものであり、調節池の周りを囲む周囲堤と囲ぎよう堤、越流堤ができれば、1,890万m3の洪水調節容量が確保され、その容量で1/50の洪水に対応できるものとされていた。全体計画としては池内を掘削し、洪水調節容量を3,080万m3まで増やすことになっていたが、それは1/200の洪水に対応するものであり、現時点で必要とされるものではなかった。このことは、数年前の国交省のパンフレットに明記されていた。</p> <p>自然の楽園を脅かす大規模掘削計画  ところが、不可解なことに河川整備計画の策定が近づくと、1/200の洪水に対して必要なはずの池内の掘削計画が再浮上してきた。利根川水系河川整備計画の目標治水安全度は本川1/50であるから、掘削せずに確保される1,890万m3の洪水調節容量で足りるはずである。それにもかかわらず、掘削計画が再浮上してきたのは、大規模掘削という土木事業を実施したいがために他ならない。</p> <p>稲戸井調節池はハンノキ、ヤナギなどが育ち、ガマ、スゲなどの湿地性の植物も数多く生育しているところで、野鳥の種類や数も多く、バードウォッチングに最適の場所である。以上のように、本来は緊急性のない事業によって、稲戸井調節池の豊かな自然が破壊されようとしている。</p> <p>(6)印旛沼を使った利根川放水路計画の問題点  印旛沼には利根川の洪水を受け入れる余裕はない  印旛沼の周辺地域は洪水の氾濫に長年悩まされてきた。1969年に印旛沼の開発工事が完了し、洪水時は流域から流入する水を印旛沼に貯留して印旛排水機場で利根川へ、大和田排水機場で東京湾の方へと、両方向に排水するようにしてようやく洪水の氾濫を防げるようになった。印旛沼はそのように自流域の洪水の処理だけで手一杯であるのに、利根川の洪水を受け入れる余裕などあるはずがない。</p> <p>国交省は上流で降った雨が印旛沼まで届くには2～3日かかり、その時には印旛沼周辺は雨が降り止んでいるから、利根川の洪水を受け入れることが可能だという。しかし、実際には印旛沼の洪水貯留水の排出は数日を要するから、利根川の洪水受け入れ時には印旛沼の水位がまだ高く、受け入れはほとんど無理である。利根川の洪水を受け入れるためには印旛沼の治水容量を大幅に増やさなければならず、そのためには、沼の自然を根底から破壊する大規模掘削が必要となる。</p> <p>印旛沼の大規模掘削のほかに水路の大幅拡幅も必要  利根川と北印旛沼を結ぶ長門川は4.3km、北印旛沼と西印旛沼を結ぶ印旛捷水路は4.3kmもある。仮に印旛沼を大規模掘削して利根川からの洪水を受け入れて調節し、東京湾へ徐々に排出するとしても、調節前の洪水が流れる長門川と、調節半ばの洪水が流れる印旛捷水路は拡幅が必要である。現在の流下能力は長門川が92m3/秒、印旛捷水路が120m3/秒であるから、整備計画の500m3/秒、基本方針の1,000m3/秒の洪水を流すためには水路を大幅に拡幅しなければならない。これらの水路の周辺も人家が立ち並んでいるから、その拡幅は多数の家屋の移転を伴うものとなり、到底実現できるものではない。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
					<p>(7) 霞ヶ浦導水事業の問題点 利根川や那珂川の湯水補給にまったく使えない導水路 霞ヶ浦導水事業の第一の目的は、利根川や那珂川の湯水時に霞ヶ浦を経由して相互に補給することにあるが、霞ヶ浦の水質が劣悪であるため、この補給は現実に行うことができない。二つの導水路のうち、利根導水路は完成してから17年も経過しているが、試験通水時にシジミの大量死が起きたため、漁協の反対で再度の試験通水もできない状況に追いやられ、利根導水路は「開かずの門」となっている。 霞ヶ浦の浄化に役立たず、利水の面でも必要性のなくなった導水事業 霞ヶ浦導水事業の第二の目的は、利根川や那珂川の水を霞ヶ浦に導水してその水質浄化を図ることにあるが、これも実体のないプランである。霞ヶ浦の水質悪化の主たる原因は、窒素、リンといった栄養塩類によって植物プランクトンが異常増殖することにあるから、水質を改善するためには、これらの栄養塩類の濃度を大幅に低下させることが必要である。ところが、利根川と那珂川から導水される水の栄養塩類濃度は平均すれば、霞ヶ浦のそれとほとんど変わらないから、霞ヶ浦の水質がよくなるはずがない。 霞ヶ浦導水事業の第三の目的は、茨城県や東京都等の都市用水を開発することにあるが、ハツ場ダムの項で述べたように、首都圏の水需要は減少方向に向かっており、新たな水源開発は不要になっている。また、導水事業の水源開発は、霞ヶ浦を経由して利根川と那珂川が相互に補給をするという前提で成り立っているが、上記のとおり、その相互補給が現実に行えないのであるから、これも実体のない話である。</p> <p>4 利根川水系の自然を取り戻す河川整備計画を策定すること 利根川水系では過去の大規模河川事業によってかつての豊かな自然が大きく損なわれている。利根川の自然に多大な影響を与えた例は利根川河口堰と霞ヶ浦開発である。これらは当初計画の目的よりも必要性が大きく後退している。自然の回復に向けてその運用を抜本的に改善することが求められている。これらの事業の問題点と運用改善の方向は次の(1)、(2)のとおりである。それを踏まえて利根川水系の自然を取り戻す河川整備計画を策定することを求める。</p> <p>(1) 利根川河口堰の運用改善を求める 利根川河口堰が利根川下流部の生態系を与えた影響 1974年に建設された利根川河口堰では、建設直後からシジミの大量死が続き、現在ではまったく漁獲できない状況となっている。またウナギなどの回遊魚が減少し、ブラックバスなどの外来魚が増加した。現在では、アメリカナマズの増加によって、網漁ができない状態となっている。また汽水環境に適応したシオグクなどの植物も減少し、貝類を捕食するキンクロハジロなどの潜水カモ類も減少した。1980年にシジミ漁業権消滅補償がされてからは、河口堰の稼働日数が急激に増えて、湛水域の水が滞留し、大量の植物プランクトンが発生するようになった。 これらの事実は1997年に環境庁が日本自然保護協会に委託して行った、「利根川河口堰が流域水環境に与えた影響」でも明らかとなっており、さらに2004年にはこれを上まわる大量の植物プランクトンの発生が、日本自然保護協会によって観測されている。 これを改善するためには、魚道の改良のみでは対応できず、河口堰の運用を少なくとも1980年以前のレベルまで戻す必要がある。</p> <p>需要が大幅に落ち込んでいる利根川河口堰の開発水源 利根川河口堰では堰を操作することにより、利根川下流部の河川維持用水50m<sup>3</sup>/秒のうち、20m<sup>3</sup>/秒が都市用水に転用されている。そのうちの約16m<sup>3</sup>/秒は東京・埼玉の水道用水、千葉の工業用水として北千葉導水路を経由して、江戸川で取水することになっている。その北千葉導水路の送水実績をみると、送水されていない日数が過半数を占めており、送水日でも数m<sup>3</sup>/秒以下にとどまっていることが多く、利根川河口堰の開発水源の需要は計画値より大幅に落ち込んでいる。これは1990年代に入ってからその都市用水の減少傾向を反映したものである。 利根川河口堰の運用改善を！ このように利根川河口堰の水利用は計画値よりも大幅に落ち込んでいるのであるから、それを踏まえて利根川河口堰の運用改善を図るべきである。さらには都市用水、農業用水の取水口を上流に移すなどの手段も視野に入れて大潮の上げ潮時に河口堰を開けて、下げ潮時に閉めるなどして、河口堰の湛水時間を少しでも短縮し、また汽水環境を少しでも回復するような自然再生プロジェクトを実施すべきである。</p> <p>(2) 霞ヶ浦の常陸川逆水門の運用改善を求める 湖の環境問題の改善には常陸川逆水門の柔軟運用が不可欠 霞ヶ浦・北浦の環境問題は日々深刻さを増している。湖の水は汚れ、多くの生物が姿を消していった。瀕死の湖に命を吹き込むためには、常陸川逆水門の柔軟運用によって海からの上げ潮を再び湖に導入することが不可欠である。 霞ヶ浦開発によって水道・工業用水23.36m<sup>3</sup>/秒、農業用水19.56m<sup>3</sup>/秒の水源が開発されたが、実際の需要は大幅に落ち込んでいる。霞ヶ浦から利根川に送水する利根導水路が閉鎖されたままになっているので、霞ヶ浦開発の水利権所有者のうち、東京都と千葉県は霞ヶ浦開発の水源をまったく使っていない。霞ヶ浦開発の水源を使っているのは茨城県のみであるが、茨城県の水需要は計画値の半分にも満たない。 逆水門の柔軟運用を可能にさせる方法(工業用水を農業用水へ転用) 水需要の落ち込みで当初の計画とは離れて逆水門の運用が可能となっている。問題は逆水門のすぐ上流(約800m)に国営鹿島南部農業用水の取水口があって、逆水門を開けて逆流させるとすぐにこの取水口付近の塩分濃度が上がってしまい、農業地帯で塩害が生じてしまうことである。この問題を簡単に解決する方法がある。それは工業用水を農業用水に転用する方法である。 逆水門から上流約20kmの北浦に鹿島工業地帯に工業用水を送る取水口があり、ここは塩害の心配がない。この鹿島第三期工水の送水管と鹿島南部農業用水の送水管は同じ県道の下を並行して敷設されており、数mしか離れていない。このふたつの送水管をつなげば、工業用水からの転用で農業用水を上流から簡単に取水することができるようになる。鹿島工業地帯の各企業では大量の余剰水を抱えており、使い道のない水の一部(最大6万m<sup>3</sup>/日)を鹿島南部農業用水に転用すれば、逆水門の柔軟運用が実現できる。そのことは制度的にも問題ない。 逆水門の柔軟運用により、常陸川に汽水域を生み出すことが可能となる。汽水域ではヤマトシジミが生息してウナギやセイゴ、マハゼなどの魚類の遡上も可能となり、湖全域での水産資源が大幅に増加する。さらに生物多様性の保全、水質浄化など、湖の自然環境を再生することも可能となる。</p> <p>利根川水系河川整備計画の策定に関する公開質問書 1 住民の意見を反映させる方法の改善について (1) 有識者会議に住民が委員として参加することについて 2001年2月に発足した淀川水系流域委員会では、委員の人選は有識者からなる準備会議で審議して決定され、一般公募も行った上で「地域の特性に詳しい委員」として住民も委員として流域委員会に参加してきました。また、委員会の運営は委員会が自主的に決定し、民間シンクタンクが庶務を担って、会議、議事録などすべてを公開してきました。さらに、委員会においては傍聴席からも意見を述べる機会が設けられました。 昨年10月、国交省は住民参加のモデルというべき淀川水系流域委員会を休止する方針を示しましたが、これは河川行政を10年前に後戻りにさせるものであり、あってはならないことです。 国交省・関東地方整備局は、利根川水系においても淀川水系流域委員会に倣って、有識者会議の構成メンバーを増やし、住民を新たに委員に加える考えがないかどうかを明らかにしてください(もしその考えがないならば、その理由を示してください)。</p> <p>(2) 有識者会議において住民やNGOと意見交換を行う場を設けることについて 他省庁の会議、たとえば、環境省の「生物多様性国家戦略の見直しに関する懇談会」では、毎回、傍聴者の発言の機会が設けられ、また何回かの会議のうち1回はNGOと委員が意見交換を行う機会としています。このように他省庁の会議では、傍聴者やNGOとの意見交換を行う場を設けることは当然のことになっています。 利根川水系河川整備計画の策定に係る有識者会議においても、住民やNGOと意見交換を行う場を設ける考えがないかどうかを明らかにしてください(もしその考えがなければ、その理由を示してください)。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
					<p>(3) 公聴会を一方通行の意見表明の場ではなく、双方向に意見交換のできる公聴会に改善することについて 日本では公聴会といえば、住民が一方的に意見を述べる場であって、行政側とディスカッションを行うことはまったくできません。しかし、欧米では公聴会といえば、通常は双方向性の公聴会であって、住民は意見を述べるとともに行政側と十分にディスカッションをすることができます。 国交省は2月22日に予定している全体公聴会、および2月下旬以降に予定している都県別公聴会を、双方向性の公聴会に改善し、住民と国交省が議論できる方式に変える考えがないかどうかを明らかにしてください(もしその考えがなければ、その理由を示してください)。</p> <p>(4) 住民と国交省が議論をする場について 上記(1)、(2)、(3)のいずれについてももしその考えがない場合は、それらとは別に、住民と国交省が議論する場を設ける考えがないかどうかを明らかにしてください。 もしその考えがないならば、国交省が住民の意見を聴くだけの公聴会に固執し、住民と国交省との議論の場を設けることを避ける理由、すなわち、議論の場を設けることによってどのような問題が生じると考えているのかを明らかにしてください。</p> <p>2 有識者会議の傍聴者の処遇の改善について 有識者会議を傍聴してみても感じたことは、傍聴者の立場が軽んじられていることです。今回の有識者会議では傍聴者は次のように扱われています。 定刻までに行かないと、傍聴を認めず、入室させない。 委員のテーブルと傍聴者の間には、国交省等の関係者の席が何重にもあって、傍聴者は委員の声を聞くだけで、表情を見ることもできない。名前を名乗らずに意見を述べる委員の場合は誰が発言しているかもわからない。 国交省等の関係者の席はテーブルがあるのに、その後ろに設けられた傍聴席は椅子だけであって、筆記に必要なテーブルがない。 傍聴席から発言する時間がまったく設けられていないし、発言することは一切許されない(さらに録音も撮影も許されない)。 市民の意見を聴く日程はない。 これは他省庁の会議における傍聴者の処遇とは雲泥の差があります。参考までに、環境省の「生物多様性国家戦略の見直しに関する懇談会」において傍聴者がどのように処遇されているかを示します。 会議の傍聴は、事前にメールで申し込みができる。定刻までに行かないと傍聴を認めないということはない。 委員と傍聴者の席の間に障害となる席などはなく、委員の表情を見ながら討議内容を聞くことができる。 傍聴者にもテーブルが用意され、資料を広げながら傍聴することができる。 毎回、座長が傍聴者の発言の時間を設定している。 NGOと意見交換を行う日程が設定されている。 有識者会議において国交省等の関係者にはテーブル付きの席を設け、傍聴者はその後ろのテーブルのない席に追いやられ、委員の姿も見えないようにしているのは、異様な光景であり、早急に改善すべきです。 国交省は、有識者会議において、傍聴者の処遇を改善する考えがないかどうか、上記の - のそれぞれについてお答えください。</p> <p>3 パブリックコメントで意見を述べるにあたって必要な基本的な事柄について 利根川水系河川整備計画の内容はこれから検討すべきことですが、第1回有識者会議の資料1の10ページにすでにその整備計画案の概要が示されています。そのポイントは次のとおりです。 目標治水安全度を本川1 / 50、支川1 / 30とする。 河道の配分目標流量を八斗島13,000m<sup>3</sup> / 秒、栗橋14,000m<sup>3</sup> / 秒、取手8,500m<sup>3</sup> / 秒などとする。 ハツ場ダム、南摩ダム、湯西川ダム、渡良瀬遊水池の掘削、稲戸井調節池の掘削、印旛沼経由の新利根川放水路などの事業を行う。 パブリックコメントで意見を述べるにあたってはこれらのことを裏付けるデータが必要ですので、下記の質問にお答えください。</p> <p>(1) 30年間の利根川水系の想定予算 利根川水系河川整備基本方針の目標治水安全度は本川1 / 200、支川1 / 100ですが、河川整備計画では本川1 / 50、支川1 / 30となっています。30年間で実施する予定の整備計画で目標治水安全度を1 / 50などに下げるのは予算の制約があるからですが、国交省は利根川水系に30年間で投じられる予算を何兆円と考えているのか、およびその30年間の想定予算を明らかにしてください。</p> <p>(2) 本川1 / 200、支川1 / 100を達成するまでの年数と予算規模 利根川水系河川整備基本方針の目標治水安全度、本川1 / 200、支川1 / 100を達成するまでにおよそ何年かかり、どれくらいの予算が必要だと考えているのか、この目標治水安全度を達成するまでのおよその年数とそれに要するおよその予算規模を明らかにしてください。</p> <p>(3) 河道目標流量と目標治水安全度との関係 河川の治水計画を立てる場合はまず、目標治水安全度に対応する洪水ピーク流量を設定し、次にその設定流量をダム等の洪水調節施設で対応する分と河道で対応する分に振り分けます。ところが、利根川整備計画の上記の案では不可解なことに、先に河道で対応する目標流量がきまっています。河道の配分目標流量、八斗島13,000m<sup>3</sup> / 秒、栗橋14,000m<sup>3</sup> / 秒、取手8,500m<sup>3</sup> / 秒は本川の目標治水安全度1 / 50からどのように導き出されたのか、これらの目標流量と目標治水安全度との関係を明らかにしてください。そして、八斗島、栗橋、取手の河道配分目標流量の計算根拠を明らかにしてください。</p> <p>(4) 洪水調節前の目標流量 河川の治水計画を策定する上で最も重要なことは目標治水安全度に見合う洪水目標流量、すなわち、ダム等による洪水調節前の目標流量を何m<sup>3</sup> / 秒に設定するかです。過大ではない必要十分な治水計画を策定するためには、この洪水調節前の目標流量が科学的に求められなければなりません。整備計画の案では本川1 / 50に見合う八斗島地点の洪水調節前の目標流量を何m<sup>3</sup> / 秒としているのかを明らかにしてください。そして、その計算根拠を明らかにしてください。</p> <p>(5) 現況河道能力との関係 2005年11月9日に開催された国交省社会資本整備審議会河川分科会河川整備基本方針検討小委員会の参考資料8の3ページ右上に利根川の「現況流下能力」が記されていますが、それによれば、八斗島から栗橋までの区間は14,000m<sup>3</sup> / 秒程度以上の流下能力となっています。上記の整備計画案の概要では河道の配分目標流量は八斗島13,000m<sup>3</sup> / 秒、栗橋14,000m<sup>3</sup> / 秒ですので、八斗島から栗橋までは整備計画案の目標流量を上回る流下能力がすでに確保されていることとなりますが、そのように考えてよいかどうかを明らかにしてください。</p> <p>(6) 目標治水安全度本川1 / 50と個別事業との関係 上記の整備計画案の概要ではハツ場ダム、南摩ダム、湯西川ダム、渡良瀬遊水池の掘削、稲戸井調節池の掘削、印旛沼経由の新利根川放水路といった事業が記されています。しかし、これらのうち、前の五つの事業は目標治水安全度1 / 200の工事実施基本計画の時代に計画されたものであり、新利根川放水路はやはり目標治水安全度1 / 200の河川整備基本方針の中で浮上したものであって、本川1 / 50の目標治水安全度の計画で本当に必要なものかどうかはまったく明らかにされていません。本川1 / 50の目標治水安全度の治水計画でこれらの六つの事業がなぜ必要となるのか、その計算根拠を明らかにしてください。 以上</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
48	40代	男性	東京都	日野市	<p>利根川水系の河川整備計画に盛り込んで欲しい内容 以下の2点を河川整備計画に盛り込んでください。</p> <p>1) 利根川水系には国際的に重要な野鳥の生息地IBA(重要野鳥生息地)が6ヵ所あり、これを保護・保全するという視点 2) チュウビ(昨年12月に絶滅危惧 類から絶滅危惧 B類にランクアップ)が生息する渡良瀬遊水地を保護・保全するという視点</p> <p>1)に関する理由: IBA(Important Bird Areas)重要野鳥生息地は、国際的な鳥類保護組織であるBirdLife Internationalが、世界100ヶ国以上の加盟団体(日本のパートナーは財団法人日本野鳥の会)と共同実施しているプロジェクトです。IBAリスト(目録)は、鳥類を指標にした重要な自然環境を、世界共通の基準(IBA基準)によって選定したものです。利根川水系に関係するIBAサイトは以下の6ヵ所です。これらの選定基準と環境構成を損なわず、またそれぞれの保全への脅威に留意した整備を進められるような計画にすべきである。</p> <p>奥只見・奥日光・奥利根(その中の奥日光・奥利根) 選定基準: A3基準(北東アジア温帯林) 環境構成:森林 保全への脅威:不十分な森林管理,水門ダムの建設など</p> <p>霞ヶ浦・浮島(全域) 選定基準: A1基準(オオセッカ) A3基準(オオセッカ,コジュリン) A4i基準(コチドリ,ムナグロ,カモ類) 環境構成:湖沼,淡水性湿地 保全への脅威:狩猟,観光,湿地の干拓,水門の建設,外来植物の導入など</p> <p>利根川河川敷(全域) 選定基準: A1基準(オオセッカ) A3基準(オオセッカ,コジュリン) A4i基準(チュウシャクシギ) 環境構成:河川敷 保全への脅威:農地の放棄,水門建設,湿地干拓,外来植物の導入など</p> <p>利根川河口域(全域) 選定基準: A4i基準(ミユビシギ) 環境構成:干潟,砂浜 保全への脅威:堤防工事,海岸への車の乗り入れなど</p> <p>浅間・白根・谷川(その中の分水嶺から利根川側) 選定基準: A3基準(北東アジア温帯林) 環境構成:森林 保全への脅威:不十分な森林管理,水門ダムの建設など</p> <p>東京湾奥部(その中の三番瀬) 選定基準: A4i基準(カワウ,スズガモ,ダイゼン,キョウジョシギ,ハマシギ,ミユビシギ,キアシシギ,チュウシャクシギ) A4iii基準(スズガモ) 環境構成:干潟,浅海域 保全への脅威:河川等からの土砂供給,洪水時の江戸川放水路からの放流,生活雑排水による富栄養化など</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
					<p>(参考)選定基準            IBA基準生息地の選定は、BirdLife Internationalの定めた全世界共通の基準により進められています。この基準はBirdLife Internationalの発行しているアジアのレッドデータブックや世界の固有種生息地リスト、およびWetland Internationalの発行している水鳥個体数推定値、ラムサール登録湿地に指定される為の基準5および基準6などを元にして定められたもので、おおまかには以下の4つのIBA基準としています。</p> <p>A1基準 世界的に絶滅に危機にある種が生息している。            A2基準 限定された地域に生息する種、または固有種が生息している            A3基準 あるバイオームに特徴的な種の相当数が生息している            A4基準 多くの渡り鳥が利用/生息している</p> <p>参考文献:            日本野鳥の会、2006. IBA白書2005            Birdlife International. 2004. IMPORTANT BIRD AREAS IN ASIA, Key sites for conservation</p> <p>2)に関する理由:            チュウヒ(環境省レッドリストの改訂で、昨年12月に絶滅危惧 類から絶滅危惧 B類にランクアップ)は、国内では繁殖地が少なく局地的であり、イヌワシやクマタカ(絶滅危惧B類)よりも繁殖つがい数が少ないにもかかわらず、これまであまり注目されておらず保護活動も進んでいません。これまでに、国内では数十つがいくか繁殖していないこと、ラムサール条約湿地となった仏沼以外では生息環境であるヨシ原の環境が悪化していること、大規模なヨシ原を保全する法的枠組みが少ないこと、ヨシ原でも水路や開水面が必要なこと等が確認されてきており、渡良瀬遊水地に注目しております。</p> <p>現在、渡良瀬遊水地では、冬期30羽前後のチュウヒが生息するにもかかわらず、チュウヒの繁殖は確認されていません。青森県仏沼では、ヨシ焼きによる環境管理をしているにもかかわらずチュウヒの貴重な繁殖地となっていることから、ヨシ焼きの時期や方法の関係から、繁殖に至らないことが推定されています。チュウヒ以外にも、サンカノゴイ(絶滅危惧 B類)、ヒクイナ(絶滅危惧 類)、ヨシゴイ(準絶滅危惧)などが生息しており、植生管理、水位管理等に配慮が必要である。</p> <p>参考文献:            平野敏明、2006. 渡良瀬遊水地におけるチュウヒの生息状況と利用環境。チュウヒサミット2006            日本野鳥の会、2006. 平成17年度渡良瀬遊水地猛禽類調査報告書</p>
49	40代	女性	東京都	小平市	<p>利根川はすでに多くのダムや堰で自然の流れを阻害され、生態系がずたずたになり、漁業被害も深刻です。にもかかわらず、今度の整備計画では、ハツ場ダム、利根川放水路を始め、さらに多くの無謀な巨大事業が盛り込まれようとしています。</p> <p>その原因は、22000t/秒という途方もない基本高水が設定されたことにあります。これは200年に1回の洪水とされる昭和22年のカスリーン台風(17000t/秒)が再来した場合の流量を洪水流出モデルで計算したものとことです。その後上流部に堤防が整備されたので、かつて上流で氾濫した分が今度は河道に流れると想定しているようですが、当時の氾濫面積から見て、そのような大きな洪水にふくれあがるとは到底考えられません。洪水流出モデル自体を再点検すべきです。</p> <p>また、カスリーン台風当時は、戦後間もない頃に森林伐伐により山の保水力が著しく低下していたと考えられます。その後、植林面積は拡大し、10000t/秒を超える洪水も起きなくなっています。洪水流量のグラフを見ても、22000t/秒という基本高水がいかに過大であるか、一目瞭然です。</p> <p>そうした点を十分検証することもなく、河川整備基本方針では、この過大な基本高水を認めてしまいました。しかし、整備計画の段階で見直すこともあり得ると言う説明もありました。この基本高水を金科玉条として、必要もない巨大事業に税金を注ぎ込むことは断じて許せません。ぜひ、整備計画の前提となる、この基本高水から検証し直すべきです。</p> <p>アメリカでもヨーロッパでも、地球温暖化で豪雨などが起きやすくなっているからこそ、ダムというハードな洪水調節装置では限界があると気づき、ダムを撤去し、氾濫原による治水対策を行う方向へと、大きく舵が切られています。それは、日本古来の治水の知恵に学び、川本来の自然、生態系を回復し、流域住民が、川を享受もし、洪水にも備える、つまり主体的に川に関わることにもつながります。</p> <p>特にハツ場ダムは、利水、治水上の必要がない上に、地盤が脆く危険であり、吾妻渓谷の景観を壊し、由緒ある川原湯温泉を沈め、イヌワシ、クマタカなどの絶滅危惧種の生存を脅かし、強酸性の水を中和するため、その中和生成物で堆砂が急速に進み、上流の汚濁物質の流入で水質が悪化します。まさに百害あって、一利なしです。半世紀以上も引きずり、地域住民を苦しめて来た、そして未来の世代に負の遺産を残す、このダムの建設中止をすぐに決断するべきです。</p>
50	70歳以上	女性		鎌ヶ谷市	<p>高校時代人文地理という科目がありました。地下鉄丸の内線は東京崖線を通らせて、トンネルでなく外を走らせたとか、川の成り立ちや湿地の利用など、雑学に等しいものでしたが、楽しく学ぶことができました。すばらしい整備計画です。川を管理するだけでなく、どこかで、数回に分けた上で、連続してこれらを講義として拝聴できないでしょうか。なまじの教養講座より数倍聞く価値があると思います。それで河川や水に対する知識を養えたら、災害に対処する力も自ずから備わっていくことでしょう。</p>
51	60歳以上	男性	群馬県	藤岡市	<p>ダム建設により河川の濁りが1年中でこれ以上計画を進めると死の河に成る恐れが充分ありますので再考をお願い致します。</p>
52	60歳以上	男性	群馬県	藤岡市	<p>本計画は地域住民を無視しており良く考へていただきたく反対</p>
53	40代	男性		藤岡市	<p>絶対反対いたします。            ・神流湖の湖面を利用する事をこれから考えていかないといけないと思っている所へこんな計画をされると非常にこまる。            ・地元住民のやる気を無視した考えはやめてもらいたい。            ・もし最悪計画をすすめるというのなら、ダムをこわし、昔の神流川にもどしてもらいたい。            (植樹をしたり、整備をしたりして、きれいなすがたにもどる訳がなく、不可能だから...)</p>
54	60歳以上	女性	群馬県	藤岡市	<p>反対致します</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問(そのまま転記する)
			都・県	市区町村	
55	60歳以上	男性	群馬県	藤岡市	ぜったい 反対 山の人間に死と思う言ですか 皆様はなにを考えているのですか 私たちわ精一パイに生きています 郷土おわれ新しい郷土に思っている所をまたおい出すつもりですが

渡良瀬川ブロック



## 利根川水系河川整備計画 関係住民からの意見聴取(インターネット・はがき等)

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
1	60代	男性	栃木県足利市	突然ですが、地域愛郷同志ボランティアの一員です、観光立国通り、北関東道開通にあたり日光帰りに歴史と文化ある江戸時代の猿田河岸を再生(観る観光と教育的体験、健康の光を享ける観光)したいものです。まず小船を出したいのですが、度の様にしたら良いのでしょうか教えてください。忒点として4級船舶操縦士の乗船出来る長さ28フィート(5、8M)位の舟が渡良瀬から東京湾まで往来できるよう整備計画されたら有り難いです。
2	50代	女性	栃木県佐野市	渡良瀬川愛護に従事する方が、こんなにも渡良瀬川の河川整備や環境のことを、こんなにも考えて下さって行動していることを知り、大変感動しました。有識者等のより高い意見に添い、よりよい環境作りに励んで頂きたいと思います。
3	50代	男性	群馬県桐生市	高津戸ダムに関連することを一言述べさせていただきます。 ここに限らないと思いますが、各地にあるダム湖は、紅葉や新緑のほか、野鳥観察にも絶好のポイントとなっています。 こうした自然探訪や野鳥観察に出かけたとき、ダム湖の周りは(事件事故防止のほか危険防止のためでしょうか)高く厳重なフェンスに囲まれていて興奮に感じている方は多いようです。 ダム施設がもっと親しまれるためにも、ダム自体の合理性だけでなく、できるだけ自然と調和したダム周辺の環境づくりを長期的に考えてはいかがでしょうか。 最初にあげた高津戸ダムを例にとると、特に冬季のカモ類の観察のためには、フェンスや堰堤の高い柵がスムーズな観察の障害となっています。何とか、観察用の穴や隙間(危険のない程度)を開けるなどの工夫をされることを期待します。特に堰堤に増設された高い柵が、たいへん視界をさえぎっています。 大人や子供もいますので、穴の位置などは野鳥の会群馬県支部などの意見も聞かれてはいかがでしょうか。
4	30代	女性	群馬県邑楽郡邑楽町	何も利用のない河川敷きなどは雑草が伸びてしまい、その影にゴミの放置等をされやすい現状があるため、何かの用地として利用していただくと整備され人の目にも届くのでよいと思います。
5	60代以上	男性	栃木県佐野市	(秋山川は)洪水時には渡良瀬川の水位が戻ってしまい、秋山川の本流水とぶつかり、非常に危険な状態である。伊保内橋上流まで上昇する。大古屋橋まで堤防整備をしてほしい。 (菊沢川は)上流の開発が近年進んでおり、上流の水が下流へ流出し、負担が大きくなっている。流水が安全に渡良瀬川へ排水できるよう整備してほしい。 (邑楽頭首工について)非かんがい期でのゲート閉は上流への湛水が影響し、上流堤内の地下水が上昇し、畑が湿潤状態になる。
6	60代	女性	栃木県足利市	(田中橋下流左岸の)車止めは、なぜ閉めているのか? 休日は開けている。以前は普段の日も開けていた。普段から開けておいてほしい。 犬の糞が多い。利用者のマナーが悪い。
7	60代	女性	栃木県足利市	河川敷が広くて散歩がしやすいが、もっとベンチがあればよい。 (田中橋下流左岸水際の)雑草がきたない。刈り取ってほしい。雑草が生えているとゴミが捨てられやすくなるのではないか。 日陰が少ない。高齢者にやさしい整備をしてほしい。 河川敷まで車が入れた方がよい。 小さい子供が遊ぶ遊具が、もう少しほしい。
8	50代	女性	栃木県足利市	(田中橋下流左岸水際の)雑草を刈ってほしい。 高い木があった方が休めてよい。
9	50代	男性	栃木県足利市	犬の糞が多くて困る。
10	60代	女性	栃木県足利市	足利は子供を遊ばせるところが少ない。水際で遊べるところがあればよい。 木陰がない。 自然な感じのする花を植えてほしい。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
11	60代以上	男性	栃木県足利市	小学校6年のころ、カスリーン台風で家の裏が切れた。 今はよく整備されて、心配はなくなった。 特に要望はない。 岩井分水路のなかの草を刈ってほしい。火事が心配だ。
12		女性	栃木県足利市	渡良瀬川はお金をかけてよく整備されているが、もっと街のなかにお金をかけて、よその人が来るようにした方がよいのではないか？ 街の活性化に繋がるようにしてほしい。
13	60代以上	男性	栃木県足利市	魚を釣る場所がない。昔は護岸も蛇籠だったが、今はコンクリートになってしまった。ワンドを整備してほしい。川に変化をつけてほしい。 カワウが多く、ハヤがいなくなってしまった。 渡良瀬川にも口の大きな歯の生えた外来魚がいる(名前は不明)。 緩傾斜堤防はムダ。せっきく堤防を広くしたのであれば、ハナミズキやサクラを植えてはどうか？ 岩井のワンドにゴミがたまって、散歩する気もなくなる。片づけてほしい。
14	50代	男性	栃木県足利市	河川敷はよく整備されている。 ローラースケートをするので、そのための施設がほしい。 渡良瀬川にもサケがのぼってくる。水深が深くなってサケが見えない。橋の上からサケが見えるように整備してほしい。サケがのぼってきていることを「あしかがみ」で宣伝してはどうか？ 景色のよい場所、例えば渡良瀬橋には案内の看板を設置してはどうか？
15	60代以上	女性	栃木県足利市	(田中橋下流左岸水際の)雑草がすごく、水面が見えない。除草してほしい。
16	60代以上	男性	栃木県足利市	(堤防などは)昔に比べてだいぶよくなっている。 ホームレス対策をキチンとやってほしい。
17	60代	男性	栃木県足利市	洪水の時は怖い思いをすることがある。 渡良瀬川は近隣の自然空間として有用である。 遊歩道の水はけが悪いところがある。 利用者のモラル向上が必要である。
18	60代	女性	栃木県足利市	洪水については、昔に比べ安心している。あまり不安はない。 堤防を散歩していると気持ちがいい。階段に手すりがあったほうがよい。
19	60代	男性	栃木県足利市	今の洪水対策でよい。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
20	40代		栃木県足利市	洪水に強い治水対策をしっかりとやってほしい。中橋が洪水時に心配だ。 自然環境の保全をきちんとやってほしい。 住民が自然を楽しみながら遊べる空間にしてほしい。 花火大会の利用者の利便性を確保してほしい。雑踏対策など。 サイクリングロードや遊歩道もだいぶ整備されてきている。
21	50代	女性	群馬県みどり市	(みどり市花輪地先では)川幅が狭く、洪水に時に心配。 今の環境を保全してもらいたい。
22	50代	女性	栃木県足利市	堤防が低い感じがして洪水の時に不安。 河川敷のゴミが多い。 散歩をしているのでトイレがほしい。
23	60代以上	女性	栃木県足利市	中州を撤去してほしい。 中橋の歩道を広げてほしい。水はけをよくしてほしい。
24	60代	男性	栃木県足利市	川のなかのゴミが多くて、見た目が悪い。 ゴミを捨てる人が多い。 犬の糞をそのままにする人が多い。取り締まってほしい。
25	60代以上	男性	栃木県足利市	昔に比べて川の環境がだいぶ変わってきた。砂利がふえた。 中州の木がない方がよい。
26	60代以上	男性	栃木県足利市	サイクリングロードをよく利用している。 特に意見はない。
27	60代	男性	群馬県太田市	サイクリングロードをもっと整備してほしい。
28	50代			北海道から来た。北海道の川に比べて水質的に悪いと思う。 北海道の河川に比べて整備されている。
29	50代	女性	栃木県足利市	特に意見はない。
30		女性	栃木県足利市	キジがいるので、あまり整備しないでほしい。自然のままがよい。
31	60代	男性	栃木県足利市	田中橋の下にスケボーの道具が置きっぱなしになっている。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
32	30代	男性	栃木県足利市	ゴミはマナーの問題なので、しかたがない。 公園を外国のように工夫してほしい。夜は暗くて怖い。 自然がたくさんあった方がよい。 ベンチを増やしてほしい。
33	60代	男性	栃木県足利市	(治水については)比較的整備されていると思う。 昔に比べると水量が少ない。もう少し増やしてほしい。 水質はきれいになっている。ハヤが多くなってきている。 緑橋下のバーベキューのあと、ゴミが多いのでなんとかならないか。 あまりひどい場所は利用できなくなるような対策してほしい。 渡良瀬橋の左岸に洪水の後にゴミが溜まるので処理してほしい。 子供たちが安心して遊べるような施設、河川整備を。 水辺に入れるようにしてほしい。 (渡良瀬橋付近)河川の風景がよいので残してほしい。 階段護岸に降りられる施設がない。
34	30代	男性	栃木県足利市	(治水については)ある程度整備されていると思うが、コンクリートで固めすぎている。もっと自然を残してほしい。 水量が少なくてゴミが溜まる。 (水質は)最近ではきれいになっている。 ドッグランができる施設を整備できないか？ 舟で遊べるような川ができないか？ 子供が遊べる水際まで行けるようにしてほしい。 河川敷の樹木に害虫が多く発生したので伐採してほしい。 バーベキューのゴミが多いので注意してほしい。 観光客が川によってくれる整備を。 バーベキュー利用者の施設整備と管理してほしい。
35	40代	女性	栃木県足利市	(治水については)安心できる整備がされている。 (水量については)適量に流れていると感じている。 (水質は)比較的きれいではないか。 自然の状況を残してほしい。今は芝生が多く野草が少ない。 公園などが整備されすぎている。 よく管理されている。 渡良瀬川独特の野鳥を活かした整備してほしい。
36	50代	女性	栃木県足利市	自宅が川の目の前にある。(堤内地が低いところは)安全な堤防・護岸の整備してほしい。 公園が整備されているが、夜は暗いので照明があればよい。 夏場は(低水路内の)草が多いので、水際に近づけない。 (市街地付近の高水敷は)駐車場を整備することにより商店街も活性化する。
37	60代	男性	栃木県足利市	(治水については)昔の状況から見れば非常に整備されている。 河川敷はいぜんよりもきれいになって、ゴミも減ってきている。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
38	50代	女性	栃木県足利市	河川の水量が少ないようだ。 犬の放し飼いが多く、子供が遊ぶのに危険がある。犬の遊ぶところは別に確保できないか。 子供が安心して遊べるように、水辺に近づける環境にしてほしい。草が多い。 トイレと日陰がほしい。 犬の糞が多い。 堤防除草は地域のボランティアでできないか？
39	60代	女性	栃木県足利市	川らしさを感じられるような水量にしてほしい。 川の水質をきれいにしてほしい。これ以上よごさないようにしてほしい。 (渡良瀬橋付近は)公園が整備されていて、駐車場、水道もありよい。花も植えてある。 犬の糞に迷惑している。何とかしてほしい。 ゴミ対策をしてほしい。ゴミがなくなれば川もきれいになる。 イベントのあとはゴミが多いので、対応してほしい。
40	40代	女性	群馬県館林市	ゴミが多い。 夏場は堤防の両側から草が伸びて、歩きにくくなる。
41	60代以上	女性	栃木県足利市	難しいことはわからない。 若い人に聞いてください。
42	40代	女性	栃木県足利市	おばあさんから昔の洪水について聞かされた。 ゴルフを練習している人がいて、危険な思いをした。マナーが悪い。 ジャブジャブ池を作ってほしい。
43	60代以上	男性	栃木県足利市	川のなかのアシなどが気になるので、刈ってほしい。 犬の散歩をする人のマナーが悪い。
44	50代	女性	栃木県足利市	姥川があふれて近くまで浸水した。排水機場はできたが、洪水がないので効果がわからない。 カワセミを見た。水鳥多い。鉄砲撃ちは危険。 ラジコンヘリで遊んでいる人がいるが、うるさくて不安。 ゴミが多い。テレビなどの家電、ミシン、タイヤなど。 この辺は散歩にはよい所。
45	50代	女性	栃木県足利市	矢場川や渡良瀬川には堤防ができているが、姥川はすぐにあふれた。 いつも散歩しているので、野鳥が多い。 ゴミが多い。家電製品まで捨ててある。 堤防の上を舗装してもらったので、散歩しやすくなった。
46	20代	男性	群馬県館林市	公園等の利用をやすくしてほしい。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
47	60代	女性	栃木県足利市	上流の田んぼの水がこの辺に集まって、すぐに水浸しになる。田んぼの水がはげない。 姥川上流の堤防を整備してほしい。
48	60代以上	男性	栃木県足利市	(治水については)堤防があるので安心している。 PTAと一緒にゴミ拾いをしている。若い人がゴミを捨てている。
49	60代	男性	群馬県館林市	利根川や渡良瀬川は立派な堤防ができていますが、矢場川はやばいのではないかと？ 矢場川の水は汚い。
50	50代	男性	群馬県館林市	(治水については)よくなったと思う。 水が臭い。釣りをしている人は「釣るけど食べない」といっている。 犬の散歩をしているが、ゴミが多い。 中州のヨシが気になる。
51	20代	女性		父がゴミ拾いをしている。ゴミが多いと思う。
52	60代以上	男性	栃木県足利市	(治水については)昔に比べよくなった。昔は危なかった。
53	60代	女性	栃木県足利市	除草をもっとしてほしい。 ペットの糞が多い。 (防災ステーションの付近に)公園、手洗い場を整備してほしい。
54	60代	男性	栃木県佐野市	渡良瀬川だけでなく、旗川の堤防整備をしてほしい。 コスモス畑の整備はやらないのか？
55	60代	女性	栃木県佐野市	渡良瀬川だけでなく、旗川の堤防整備をしてほしい。 渡良瀬川の河川敷だけきれいになっている。 家の付近の草刈りをしてほしい(佐野市並木町中妻地先)。
56	50代	男性	栃木県足利市	河川敷でバーベキューがしたい。申請すればできるのか？ (管理用の道路であるが)道路に標識がない。トラブルになる箇所がある。
57	40代	男性	栃木県足利市	川の水量が少なくなった。 草刈りの回数をもっと増やしてほしい。 ゴミが多い。 車と歩行者、サイクリング等の利用者を分ける工夫がほしい。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
58	20代	女性	群馬県館林市	(治水については)特に心配していない。 (環境については)沿川に住んでいないのでよくわからない。 河川敷は有効に利用されている。 維持管理もよくされている。
59				昭和26年以降洪水が少ない。護岸はよくできている。 河畔林を整備できないか。 水質事故の看板はよくできている。 (足利市小俣町付近の)河川敷をもっと利用できるようにしてほしい。群馬はよくできているが足利は少ない。利用するのに手続きが面倒だ。
60	60代以上	女性	栃木県足利市	(堤防などは)よくできている。大雨の時も不安はない。 生活排水は少なく水がきれい。ゴミも少ない。 河川敷の利用は恵まれている。 草刈りの回数はちょうどいい。 ジャブジャブ池はムダ。
61	60代	女性	栃木県足利市	(治水については)特に不安に思わない。自然の状態を活かした工法で整備してほしい。 カワセミ、ジョウビタキなど多くの鳥がいる。ハクチョウもきた。 河畔林を切ってしまうので、自然が少なくなってきているのではないか。 車が入らないようにしてもらって助かっている。車が入るとゴミを歩いていくので困る。
62	40代	男性	栃木県足利市	過去の洪水を知っている。治水的にはよくわかっている。桐生川は川幅が狭くて治水上心配だ。 足尾の緑が保水になるので、緑化を進めてほしい。 サケが遡上している。利用はこの程度でよいので、自然を残してほしい。川の面をこわすな。防風林の役目もある。 岩井河道の利用は問題である。競馬場跡地利用がよくわからない。
63	60代	男性	栃木県足利市	護岸の整備で魚がいなくなる。 夏場は水が少ない。 自然環境は問題ない。 パークゴルフを栃木県側にもほしい。栃木県側は(施設整備が)少ない。 川を真っ直ぐにするのはどうかと思う。自然のままできないか。 魚類の保護を考えてほしい。
64	30代	女性	栃木県足利市	(治水については)特に不安はない。 河川敷の利用はもっとあったほうがよい 意識して川を見ていない。
65	40代	女性	群馬県太田市	(治水については)特に不安はない。 河川敷の利用はもっとあったほうがよい 普段、川を気にしていない。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
66	20代	女性		(治水については)特に不安はない。 水量は少ない。
67	60代以上	男性	栃木県足利市	洪水の流れを整形した方がよい。 桐生川ダムにより、桐生川の水が少ない。 昔はもっときれいで泳げた。 もっと利用を図るべき。
68	60代	女性	栃木県足利市	高水敷に水がのることがあり、不安を感じる。水深が上がるので、砂利をとったらよいのではないか。 水は少ないと感じる。昔の水量が必要である。水面が癒しとなる。 水質の改善をしてほしい。たまり水ではなく、水量がほしい。 雑木林を整理してほしい。 犬の糞で困っている。罰金をとれないか。
69	30代	女性	埼玉県羽生市	(洪水については)テレビ報道があっても、渡良瀬川に対して実感が湧かない。 洪水に対する不安は感じないが、工事に伴う人身事故が不安。 水量が少ない感じはするが、問題とは思わない。 昔は泳いでいたが、水量が少ないので、たまり水が見えてよくない。 高水敷が整備されすぎている。環境的にはよいが、ゴミ掃除などきれいに管理すべき。作りっぱなしになっている。キチンと管理しなければダメ。フォローアップが必要。 除草を定期的に行ってもらっているので助かる。 学生が汚すので、夜の利用を考えるべき。
70	20代	女性	栃木県足利市	水質がもっとよければよい。 日陰になるものがほしい。サクラの木がよいのではないか。
71	60代	男性	栃木県足利市	(治水については)とてもよい。 水量が少ない。 ゴルフ練習者が芝を荒らすので何とかしてほしい。 (緑橋付近は)花がない。中橋付近は花が植えてある。
72		男性	群馬県太田市	(治水については)十分行き届いていると思う。 雑草がぼさぼさすぎている。 もっと施設を作ってほしい。パークゴルフ場の倉庫を造りたいので許可してほしい。許認可をとるときに厳しすぎる。 河川の施設に入る進入路の整備してほしい。
73		男性		草が多すぎて火事になると危ない。もっと除草してほしい。 パークゴルフの休憩場を作ってほしい。
74		男性		雑木、雑草をもっと切してほしい。 木を植えたいのに許可が下りないから、許可してほしい。



受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
75		男性		雑木を切ってほしい。 トイレが多くあるとよい。
76		男性		雑木を切ってほしい。 道路を整備してほしい。
77		女性	埼玉県熊谷市	犬の糞がすごい。 バーベキューのゴミがひどい。 子供が遊べる施設がほしい。公園と野鳥の森などアミューズメント施設があるとよい。
78	40代	男性		足尾の鉱毒で汚染されているから水の利用は考えられない。 犬の糞があるのが残念。 (河川敷利用は)現状のままでよい。むしろ公園を少なくした方がよい。
79	50代	女性		犬の糞がすごい。糞を持ち帰るように看板をたくさん作ってほしい。
80	60代以上	男性		低水護岸が未整備な箇所がある。 管理用道路は散歩しやすくしてほしい。 北関東道の下に渡良瀬川を渡る歩道ができるとよい。 ゴミが多い。
81	60代	男性	群馬県太田市	堤防を高くしてほしい。 自然と利用のバランスがよい。家族で遊べるのでよい。 休憩所、トイレ、日陰がほしい。
82	60代	男性	群馬県太田市	堤防の草刈りはよくやってくれている。桐生川は草刈りを5、6年もしてくれていない(指定区間)。 水質はよくなってきている。 冬場に風をしのげる建て屋がほしい。
83	60代以上	男性	栃木県足利市	洪水の安全が図られてありがたい。 水質は昔はきれいだった。 サケがのぼってきている。 河川敷を利用できることを感謝している。 中州や大きな木を切ることは理解している。 今の状態を維持してほしい。自然もたくさんある。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
84	50代	女性	栃木県足利市	中橋の所は、堤防より橋が低いので気になっている。 小魚や虫、小鳥が多くて自然がたくさんある。 都内から足利にテニスをしに来る人もいる。交通費や宿泊費を出しても安くなるようだ。 よく管理されている。 水際を歩けるようにしてほしい。せせらぎや水の音が聞こえる川にしてほしい。 駐車場があると利用しやすい。
85	50代	男性	栃木県足利市	ここ(足利市八幡町)に住んで数十年になるが、台風の際に水が上がってもこの辺(高水敷)までなので堤防の高さは十分ではないか。 ここ数年は川の水が少ないと思う。昔に比べて少なくなってきた。昔は泳いだものだが……。 水はきれいな方ではないか。 向こう(下流側)にはサッカー場やゴルフ場があり、ここも同じように開発してもいいかもしれないが、そうすると鳥たちがいなくなってしまう。 ゴミが多いと思うが、利用者のモラルの問題もあると思う。 芝生があって助かっている。足に負担がかからなくて済む。 堤防も草を刈ってよく管理されていると思う。 極力自然を残してほしい。あと、散歩する人もいるので、屋根付きの休憩所があるとよいのではないか。
86	60代以上	女性	栃木県足利市	(田中橋と中橋の間の)真ん中の部分(中州)はきれいにした方がよいのではないか。向こう(上流)のほうはきれいにしはじめているようだが。 駐車場はあってもよいと思う。散歩には今くらい(の環境)がよいのではないか。昔と比べるとよくなったと思う。
87	50代	男性	栃木県足利市	芝生があってきれいだと思う。 これくらいの水量でじゅうぶんではないかと思う。 自然はそんなにいじらない方がよいと思う。 自分は競馬場跡地の方に住んでいるので、あちらが今後どうなるか気になる。 草刈りをやってもらって、きれいな状態を維持してほしい。 自分は自転車を利用している。工事をやるのはかまわないが、アスファルトを盛るときは平らにしてほしい。山の部分があると自転車に負担がかかる。
88	40代	女性	栃木県足利市	40年近く住んでいるが、その頃と比べて(治水については)かなりよくなってきていると思う。 水量は今のままでよい。 サケが上がってくるのをよく見かける。 川の中でよく工事をやっているが、何をやっているのかよくわからない。ただ、最近は回覧で回ってくるようになったと思う。しかし、いきなり工事が始まる気がする。(工事現場の)近くを通っても何の工事をしているのかよくわからない。それと、同じ所を何度も工事している印象がある。以前は状況が変われば同じ場所を工事することもあるのだろうが、正直、お金ももったいない気がする。
89	10代	女性	栃木県宇都宮市他	鳥がいるのはいいと思う。 (河川敷に)駐車場があるのは助かる。もっと整備してほしい。夕方以降に駐車場を照らす街路灯があると助かる。
90	60代以上	男性	栃木県足利市	(治水については)問題ないと思う。 (水量については)水の流れが順調であればよいのではないか。ただ、もう少し多くてもいいと思う。 水質はだいぶよくなったと思う。 河川敷は多目的に利用することはよいことだと思う。 川の維持管理はまあいいではないか。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
91	60代以上	男性	栃木県足利市	(治水については)今の状況で大丈夫ではないか。 水質は前よりだいぶよくなったと思う。魚もよく見るようになった。 あちら(下流側)は運動公園なんかがたくさんあるが、こちら辺は少ないと思う。子供を連れて歩くのにはよい状態だと思う。
92	40代	女性	栃木県足利市	(治水については)十分だと思う。 (水量は)今くらいでいいのではないか。 これ以上整備しなくてもいいのではないか。 犬の散歩をしている人で、犬の糞をそのままにして行く人がいる。マナーが悪いと思う。 (維持管理は)きれいだと思う。
93	60代以上	男性	栃木県足利市	中州のあたりがあまりきれいではない。整備した方がよいと思う。 水の量は少ないと思う。昔よりだいぶ少なくなったと思う。20、30年前は橋(中橋)のコンクリートの部分は水で見えなかった。 水は以前よりきれいになったと思う。 (河川敷は)有効利用で大いに利用してよいと思う。 (維持管理は)現状のままでよいのではないか。
94	60代	男性	栃木県足利市	堤防が切れる心配はしていない。 (水量は)普段はこのくらいで十分だと思う。 サイクリングロードについて、向こう(左岸)は整備されているが、こちら(右岸)は途中で途切れている。こちらを整備してほしい。 (維持管理は)現状のままでよいのではないか。ただし、少し向こう(上流側)に行くと道の所に草が生えていたりして物騒だ。あちらはもっときれいにしてほしい。
95	60代以上	男性	栃木県足利市	最近洪水がなくて安心している。(治水については)特に意見はない。 (水質については)いまはわりときれい。矢場川はひどく汚い。石張りで魚がいなくなってしまう。 (河川敷は)きれいに整備されている方がよい(どっちでもよいが)。 草木が生えているより、グラウンドなどに、きれいに整備されているほうがよい。
96	60代	男性	栃木県足利市	大水は出なくなったので安心している。渡良瀬川の川底が矢場川の川底より高いので低く削ってほしい。 昔、子供の頃は、水遊びができたが、今は川幅が狭くなり河原が広がった。 (河川敷は)草ぼうぼうで入っていけない。火災予防上草は刈ってほしい。 姥川水門できたため、この辺が水浸しになる不安が広がった。
97	60代以上	女性	栃木県足利市	矢場川の堰を閉めるとこの辺に水がくる。渡良瀬川は安心している。 この地域は渡良瀬川の堤防と矢場川の堤防に挟まれているため、河川堤防を高くしてしまうと、住むところではなくなってしまふ。
98	60代以上	男性	栃木県足利市	(治水については)今のところ安全で問題ないと考えている。 40年間に比べ水質はよくなった。家庭排水が悪い。袋川の浄化施設のような浄化ができればよい。 河川敷が荒れすぎていて利用できない。ほとんど川に行っていない。ある程度自然を残し、きれいに整備すれば、子供、大人の利用に有益である。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
99	50代	男性	栃木県足利市	渡良瀬川は(治水は)安心している。奥戸の河川がカーブしている所は心配だ。矢場川は危険。水が減ってきている。渡良瀬川の水がなくなってしまうのではないかと。ラジコン飛行機をやっている人がいるが、許可を得ているのだろうか。ほったて小屋があり、人がうろうろして、たばこの火の始末が気になる。大水の時以外に河川に興味はない。
100	40代	女性	栃木県足利市	(治水については)整備しているので安心しているが、大雨の時は心配。川の危険度の程度や状況がわからないので、川に行かない。子供も行かせない。不審者がいるのでジョギングや散歩が怖い。できればグラウンドや遊具などの施設があった方がよい。
101	60代以上	男性	栃木県足利市	川の中の樹木がなければ水位が増えない。樹木を伐採してほしい。サイクリングをしているが不満はない。地元の人に(川のなかを)畑などで利用させるのもよいと思う。
102	60代以上	男性	栃木県足利市	(治水については)今は心配していない。グラウンドや施設を整備した方が楽しめてよい。渡良瀬川は散歩するのによいところだ。
103	60代	男性	群馬県桐生市	ここに限らず、最近、水が少ない。昔はこの辺まで川だった。昔は橋脚の下あたりで泳いでいた。桐生商業の裏で泳いでいた。(治水については)問題ない。(自然環境については)ここは、問題ない。春はすばらしい。散歩する道が雨降ると浸かる。部分的に直してほしい。ゴミが多い。桐生商業のグラウンドはカラスが多い。陸上競技場はスズメバチが飛んでいたが、木を切った影響でなくなった。
104	60代以上	男性	群馬県桐生市	(治水については)ここは不安はない。川の中に島があって両方に流れていた。今は左岸の方に流れている。昔、鉄橋の20~30m下が壊れた。草があっても、市で年2回刈ってくれるのであまり気にならない。毛虫が多い。月2回グランドゴルフをみんなでやっている。道が悪い。水が溜まる。
105	60代以上	女性	群馬県桐生市	(治水については)不安はない。昔に比べて、ここは、めったに水が上がらない。川幅が狭かった。昔に比べて鳥が少なくなった。カラスは多い。道が悪い。ゴミを捨てる人が多い。整備すれば捨てる人もいなくなる。日陰がほしい。あずまやがほしい。ここは自然の木があって助かる。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
106	60代以上	女性	群馬県桐生市	足利の方が整備されている。昔に比べずいぶんよくなった。 堤防に階段が少ない。降りる場所が少ない。堤防なのでしょうがないと思っているが…。 シノダケが多く、外から見えないのでゴミを捨てる人がいる。きれいにすればそんなこともなくなるので、見えるようにしてほしい。 えさをやる人がいるので、猫を捨てる人がいる。 川に近いところをきれいにしてほしい。昭和地区でトイレ掃除をしている。 ホームレスの人に気を付けている。火事をおこさないでほしい。一昨年火事があった。 川に遠ければ散歩道もほしい。いい日にはそう感じる。
107	60代以上	男性	群馬県桐生市	(治水については)だいぶよくなった。洪水はあまり考えられない。自分の家が高台にあるというのもあるが、不安はない。草木ダムもできた。 水量の変化は感じない。 桐生川と渡良瀬川の水のおいしさが違うと聞いている。私の家の水は渡良瀬川の水です。 真夏には日陰がほしいと感じる。 台風の時、入り口がふさがるのはしょうがない。 雑草、高い草を刈って、利用しやすくしてほしい。河川敷を平らにして、市に貸してしてほしい。グランドゴルフをやる場所がもっとほしい。足利の河川敷はうらやましい。
108	60代以上	男性	群馬県桐生市	川幅が倍になり、あれ(カスリーン台風)以来洪水はなくなった。桐生川も。 古河鉱業は鉱毒は流さないのか。昔、夕立や台風があると沈瀬槽からよく流れていた。流れるようになっていた。 ゴミが多い。マナーが悪い。 (維持管理は)きれいになっている。下草も刈られている。足利の方がきれいになっていると感じたが、今はそうでもない。 足利の方がきれいになったのが早かった。橋の数が違う。(桐生は)人口が少なくなって、高齢化になってから橋ができるようになってきた。もう少しほしいときに作ってほしかった。 川の中州がだんだん高くなってきている。とらないのか。 蛇籠だと生き物が棲みやすい。コンクリートで固めない方がよい。 「ぬる」がなくなって、昔よりきれいになってきている。
109	60代	女性	群馬県桐生市	(治水については)不安は感じない。気にしていない。 (渡良瀬川について)親戚は「いいところだね」といっている。 年寄りが増えてきた。河川敷を利用させてほしい。階段に手すりがほしい。 水がたまっているときれいではないので、子供を遊ばせられない。夏は蚊が湧く。水がない方がよい。水がなければいけないで遊べる。
110	60代	女性	群馬県桐生市	緩傾斜堤防はよい。
111	60代以上	男性	群馬県桐生市	(治水については)不安はない。 (水量は)昔からみると少ない。昔は泳いだ。錦桜橋から飛び込めた。 昔はハヤやヤマメがよく釣れた。今は魚釣りをする子供もいない。魚もいないのでは。 木がほしい。昔は松があった。昔は川の中に林があってよかった。 毎日散歩している。いいところである。歩くのにいいところ。毎日1～1時間半ぐらい歩いている。歩くのに楽。幸せを感じている。空気がよい。不服はない。申し分ない。 桐生川は歩きづらい。犬の散歩する人はマナーを守ってほしい。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
112	60代	女性	群馬県桐生市	(治水については)きれいになった。水が出る心配はない。安心して生活できている。 (渡良瀬川は)自然が残っている。木が日陰になる。 土手の近くに住んでいるので、渡良瀬川はよく使う。 青いテント(ホームレス)が増えた気がする。
113	60代		群馬県みどり市	子供も川に來れている。花があればよいと思う。 ホームレスは、昔も1人、2人小屋を建てる人がいたが、今はたくさんいる。 犬を連れてくる人のマナーが悪い。小さい子供を連れてくると不安になる。 ここは一部の人に占領されている気はしない。
114	60代	女性	群馬県桐生市	最近水が出ないから、(治水の)効果がわからない。 水はきれい、散歩コースにちょうどいい。 孫を連れて安全に水辺に行けるように、通路がほしい。右岸はいいが、左岸は川辺に行きづらい。雑木林が怖くて水辺に行けない。 堤防を歩くが、日陰がないのでほしい。 琴平公園のようなきれいなトイレがほしい。
115	60代	男性	群馬県桐生市	(水質は)この辺はきれい。太田市の方は少し汚い。水量はまあまあ。 自然のままがよい。 橋の下にゴミが多い。 基本的に川をいじらないでほしい。でも洪水は安全に流せるように。
116	60代以上	女性	群馬県桐生市	5年前に、堤防に光ケーブルが入れられて、堤防が50cm高くなった。日が当たりづらくなった。 堤防の法面が急で長く、登りづらい。 枯れ木がいっぱいがあると火災が怖い。ススキが火事になりやすい。切ってほしい。 野球場が堤防を挟んで向かいにあり、ファールボールが飛んできて家に当たる。ネットを高くしてもらったが、まだ飛んでくる。 川そのものをきれいにしてほしい。マナー向上のPRももっと必要。
117	50代	男性	群馬県桐生市	桐生川の治水は十分だ。 (桐生川の)広見橋のグランドゴルフ場の所でイノシシがでて堤防が崩れている。パトロールの人が写真を撮っていた。河川敷のグラウンドも掘られている。 イノシシの話は、市や国交省に話をしても答えが出ない。
118	60代	女性	群馬県桐生市	洪水の時でも安心して居る。 水はきれい。 松原橋の下流に木がない。日陰がない。 木はあった方がよい。 (河川敷に)車が入ってこないのが安心である。 自然の方がいい。 孫と一緒に安心して川に降りられる通路がほしい。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
119	30代	女性	群馬県桐生市	桐生川は狭いのでちょっと不安。 イノシシを見た。子供が遊んでいるそばにいた。 川の木はあったほうがよい。 犬の散歩でウンチを拾わない。マナーの向上が必要。看板がもっとあればよい。 なるべくコンクリートで固めない。今のままで十分。
120	50代	男性	群馬県桐生市	治水は今のままでいい。 昔に比べたら、水は少ない。 水はきれいになった。 車が入ってこないで、子供が安心して遊べてよい。 不法投棄はあまりない。 堤防(天端)の道幅はもっとあればよい。 (水量を増やして)釣りができる川にしてほしい。
121	10代	女性	群馬県桐生市	橋の下にゴミが多くて汚い。 川岸でよくバーベキューをする。
122	60代以上	女性	群馬県桐生市	今のままで満足している。
123	50代	女性	群馬県桐生市	ウォーキングをするのに、砂利道を残してほしい。 自然のままがいい。 ホームレスは何とかならないか。
124	60代	男性	群馬県桐生市	堤防に木陰がほしい。ベンチもほしい。
125	60代以上	女性	群馬県桐生市	現状のままでよい
126	50代		群馬県桐生市	(治水は)現状のままで十分。堤防の管理をしっかりやってほしい。 水量が少ないので、昔より魚が少ない。 人が少なくなっている。グラウンドを少なくしてもよいのではないか。 杭の管理が悪い。 これ以上手を加えない。
127	60代以上		群馬県桐生市	現状でよいのでは・・・。 堤防に木を植えて、緑化できないか。 昔から見ればきれいになった。
128	60代以上		群馬県桐生市	現状でよい。高水敷まで水がくることはない。 ゴミが多い。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
129	60代以上	男性	群馬県桐生市	(治水については)昔に比べよくなったが、大洪水がきたら堤防が不安だ。 木が邪魔ではないか。中には便利なきもあるが、水害については心配だが、利用するにはよい。 イノシシが出るので心配。
130	60代	男性	群馬県桐生市	ダムができてからは、洪水の心配はない。足利に比べて堤防(の幅)が薄い。 ダムができたので、昔に比べて水量が減った。 ほかに貸しているところは、草が繁茂しているので刈るなどして、有効に利用できるようにした方がよいのではないか。 河川敷は、場所を貸してくれるが整備はしてくれない。グランドゴルフ場を、他の市のようにもっと整備してほしい。
131	60代以上	女性	群馬県桐生市	(治水について)危機感を感じない。安全に感じる。 雑草がなくなったほうがよい。砂利の方がよい。 階段に手すりを整備してほしい。車で入りやすいようにしてほしい。
132	60代	女性	群馬県桐生市	階段に手すりを整備してほしい。琴平公園のように。 堤防から階段への降り口が、段が高く降りづらい。
133	60代以上	女性	群馬県桐生市	夏場、木に虫が付くので、消毒してほしい。 道がでこぼこでよくない。伊勢崎はきれいになっている。きれいにしてほしい。
134	60代	女性	群馬県桐生市	道がでこぼこなので整備してほしい。 半日遊べて、健康でいられるので助かる。
135	60代以上	男性	群馬県桐生市	ダムができたので、洪水の心配はない。
136	60代以上	男性	群馬県桐生市	赤岩橋付近は川幅が狭い。大丈夫か、中州の木があって、大丈夫なのか。 河川敷のヨシ原は焼いたらどうか。雑草が茂っていると不法投棄がある。 利用状況に応じて、車が入れないようにするほうがよい。
137	60代	男性	群馬県桐生市	渡良瀬団地のところは堤防が低いので心配である。
138	60代	男性	群馬県桐生市	魚が少なくなった。鳥が多くなった。頭首工の魚道が悪い。
139	60代	女性	群馬県桐生市	(治水について)危機感はない。 自転車置き場を作ってほしい。



受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
140	30代	女性	群馬県桐生市	(治水について)渡良瀬川と桐生川間の地域は心配である。最近の異常気象のために、強化してほしい。対策を立ててくれるのはありがたい。もう少し木があった方がよい。ドングリやけやきの日陰がほしい。遊具が少ない。
141	50代	男性	群馬県桐生市	(治水について)今すぐ被害があるという不安はないが、最近の異常気象では心配だ。野焼きはしないのか。土手に車が入れないので、何とかならないか。禁止事項が多すぎて、そのうち人が入れなくなるのではないか。人が入らなくなって、雑草が増えた場所もある。みんなに、自分のものという意識で利用してほしい。
142	60代以上	男性	群馬県桐生市	草木ダムができてから洪水の心配はない。雪が少ないので、今年の夏の水不足が心配。
143	20代	女性	群馬県桐生市	(治水について)危険は感じない。木が少なく、日陰が少ない。街灯がない。
144	60代	男性	群馬県桐生市	堤防が整備されてからは危機感はない。安全になった。土手よりも橋が心配だ。公園は広がってよくなっているが、子供のために遊ばせてあげたい。
145	50代	男性	群馬県館林市	洪水時にかなり水位が上がったので不安を感じた。水は汚いとききれいでないと思う。この辺(大島団地付近)をもう少しきれいに整備してほしい。公園のように整備してほしい。芝などを整備してもらえれば、気持ちよく散歩できる。
146	60代以上	男性	茨城県古河市	水質は昔よりきれいになっていると感じている。自然環境はよいと感じている。春は花が咲いてきれいである(カラシナ)。ゴミが多いと感じる。
147	50代	男性	東京都渋谷区	(グライダー場を)40年ぐらい前から利用しているが、当初に比べてきれいに整備されていると感じている。グライダー場利用者としては、高水敷に水が上がらなければよい。治水上はやむを得ないと考えているが…。ゴミは少ないと感じている。ゴルフをする人がいるが、グライダー場を利用するときは、自然にやめてくれるので、現在はうまくいっている。ホームページなどで情報公開が進んでいて、よいことだと感じている。グライダー関係の部品等、高水敷においておければありがたい。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
148	40代	男性	埼玉県川越市	<p>グライダー場利用者としては、坂路がもっと広ければよいと思う。            普段もう少し水量が多い方がよいと思う。魚にとってもよいのではないかと思う。            高水敷利用者としては、高水敷に水がのらないのが望ましい。            (自然環境については)当初は悪いイメージを持っていたが、今はよいイメージである。野鳥、渡り鳥が少ないのではと感じている。            ゴルフ場でないところでゴルフをしている人がいるので、他の利用者にとって危険な状況と思う。            夏季は、天端道路、坂路の脇の草が伸びている。除草の頻度を増やしてほしい。生活道路から天端道路への取付部、待避所にカーブミラーをつけてほしい。            緩傾斜堤防工事の場所と時期について、今後の見通しがわかるようにしてほしい。            不法投棄がみられるので、防止対策をしてほしい。</p>
149	50代	男性	群馬県館林市	<p>護岸については、コンクリートむき出しの護岸ではなく、なるべく自然な護岸としてほしい。            水は桐生市あたりから悪くなっているように感じている。            レクリエーション施設、特にお年寄り向けの施設が多くなれば、高齢者対策にもなるのではないかと思う。            (維持管理は)国まかせでなく、地域住民にまかせるようにしたらよいと思う。            できるだけ自然を残してほしい。</p>
150	50代	女性	群馬県館林市	<p>昔よりゴミの量が減ってきていると感じている。            ここ(館林市上早川田)のゴルフ場は他の場所より低いので、水が上がりやすい。水道がないので、水道を設置してほしい。            不法投棄が多い。            河川敷内の道路がでこぼこになりやすいので、直してほしい。            草が伸びて道路に倒れてくるので、刈ってほしい。            高水敷のゴルフ場に水が上がらないようにしてほしい。</p>
151	50代	男性	群馬県館林市	<p>冬季に水が少ないと感じる。            水質は悪くないと思う。            最近鳥が減ってきているように感じる。            冬季に枯れ草のゴヤがあるので、心配である。            砂利ででこぼこしているので、高水敷の道路を舗装してほしい。            利用しやすいように、高水敷の道路をもっと整備してほしい。</p>
152	60代以上	女性	栃木県宇都宮市	<p>昔より水量が少なくなったと感じる。            他の川より利用しやすい。            自然はできるだけ残してほしい。菜の花がたくさん咲いていてきれい。</p>
153	50代	女性	群馬県板倉町	<p>最近では堤防がすばらしくきれいに整備されてきている。            (水量は)適量だと思う。            水質は良好で、自然環境も優れている。            非常に細かいところまで管理できていると思う。            渡良瀬川に関しては特に問題ない。</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
154	40代	女性	群馬県館林市	左右岸で堤防法面の整備の差を感じる。 洪水時は少し安心している。 水質はよくなったが、アクセスをよくしたらゴミが捨てられるようになった。10年前よりヨシが少なくなってよい。 足利方面はベンチが多くつくってあるのでよい。 草刈りの頻度をあげてほしい。 川はこのままでよい、きれいにしてほしい。
155	50代	女性	栃木県佐野市	水が増えるのが早い。都市化で内水が1箇所集中し、低地に負担がかかるようになった。 草刈り、ゴミの問題は、しっかり取り締まる。 川はきれいに、ゴミを海まで流さない工夫が必要。 現状どおりでよい。
156	50代	男性	栃木県宇都宮市	(治水については)十分。 (川の水量は)少ない。 自然のヨシ等のブッシュを残すべきである。 水質はあまりよくないのではないが。 アクセスできない柵など(車止め?)は撤去したほうがよい。 自然を保全し、コンクリートを使わないように。 現状を維持してほしい。
157	60代以上	男性	群馬県館林市	(治水については)特にない。ダムで放流で増水する。 魚がいなくなった。カワウが多い。 水質はきれいになった。 適度な大きさを樹木を管理してほしい。 草刈りを多くしてほしい。草を焼かないからゴミの掃除ができない。 現状を維持してほしい。
158	50代	男性	群馬県館林市	治水は大丈夫ではないか。 低水流量はこれくらいでよい。 ブッシュは残すべき。ヨシも残すべき。 水質はよい。 利用の活発化を図ってほしい。パークゴルフ人口は増えている。 不法投棄の取り締まりを徹底してほしい。 お金をかけないで、子供の遊べる場所を整備してほしい。
159	50代	女性	群馬県館林市	川の掘削が必要である。川が浅くなってしまった。 ヨシを燃やせばきれいになる。きれいに樹木も刈るほうがよい。 水道、トイレを多く設置してほしい。太田の方は多い。 ゴミの投棄が多い。片づけてほしい。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
160	30代	男性	栃木県足利市	(治水は)十分ではないか。利用面の整備をしてほしい。 (水量は)現況でよい。 水質はやや悪い。環境保全を積極的に進めてほしい。 飲食店を堤防上に集めてほしい。 カラシナは景観配慮でなくさないでほしい。
161	50代	男性	群馬県高崎市	浚渫や(河道の)拡幅により安全度は上がると思う。 (水量は)少ない方が好ましい。 水質はよい。樹木により断面を阻害している。 ゴミを捨てる人が多い。 ゴルフは禁止してほしい。地先からだといいにくい。
162	60代	男性	千葉県船橋市	ブッシュはなくしてほしい。 洪水後のゴミを、本川に流れ出る前に取り出せないか。後の処理が大変なので。 ゴルファー対策をしてほしい。効果があるかは不明だが、看板を設置してほしい。
163	60代	男性	栃木県藤岡町	高水敷の冠水頻度を少なくしてほしい。 (水量は)少ない方がよい。 利用のためには水質をきれいにしてほしい。 河川敷を遊水地のように有効活用してほしい。緊急時に危険なのでゴルフを禁止してほしい。 ゴミが見受けられる。 グライダーに危険なのでモグラ対策をしてほしい。 草刈機使用時に(ゴルフの)ボールをはさみ危険だ。 グライダー搬入時や消防のため、堤防坂路を直線化してほしい。
164	60代以上	男性	栃木県佐野市	昔に比べ水量が少ない。もっと多い方がよい。 繊維工場などからの排水がよくなったので、水質はきれいになった。 (河川敷は)スペースがとれてよく利用されている。ゴルフ練習場は土日だと150人位利用している。 階段があるとよい。
165	60代以上	女性	栃木県足利市	20年前に水がのった。 公園ができて人が集まるようになった。広いところで運動ができてよい。
166	50代	男性	栃木県足利市	水はだいぶきれいになっている。昔はマスも泳いでいた。染色工場や家庭排水が多少あるが、まあまあきれいだ。 犬の散歩でウンチが多い。モラルが悪い。 家電製品とか捨ててある。マナーが悪い人が多い。 みんなで共同で利用できるものがあればいい。公園も一部の人しか使っていないのが残念。 河川敷をきれいにするにも予算がかかるので、ほどほどに。草刈りも年2回でよい。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
167	40代	男性	栃木県足利市	堤防はけっこう完成されているなあという感じがしている。 冬場の水は少ない。昔より少なくなった。 水質は水の下まで見えるからきれいだと思う。 東武生コンの近くの野球場のところの工事で、公園はできないのか。
168	60代	男性	栃木県佐野市	中橋のところが低い。意味がないから堤防を嵩上げてほしい。カスリーン台風の経験がある。 (水量は)少ないと思うが、河川敷の利用ができていればよいのではないか。 水はよく見えていないが、魚がきているので、かなりきれいになっているのではないか。 河川敷の利用ができてよい。 犬を散歩している人は、マナーを守って糞の始末をしてほしい。 草を刈った後、その場に残ってあって、虫が湧いて歩くときじゃまだ。
169	30代	男性	埼玉県坂戸市	堤防の上が自転車道になっているので、よくサイクリングしている、時々車が通るので、自転車道ではないのかなと思った。
170	10代	男性	栃木県足利市	公園とかはあったほうがよい。 前はよく河原に行って遊んでいた。
171	60代以上	男性	栃木県足利市	堤防が高く、安心している。前の倍は川幅がある。 川の水を間近に見ていないので、水質はわからない。 ゴルフ場はあってもいいのではないか。 除草をしているので維持管理はよい。今は(草は)燃やせないのですか。
172	60代	男性	栃木県足利市	堤防の整備は行き届いていると感じている。今は川の中をいじくり過ぎているのではないか。 川の水は少ない。倍の量はほしい。草木ダムはどれくらい水をとっているのか、なんで川の水が少ないのかだれも答えてくれない。 川の小さなゴミは、気づいたら捨てるが、大きな袋2つになる。 堤防の整備が一番で、公園などの枝葉は第2第3で考えた方がよい。 堤防の外側は草を刈っているが、内側は刈らないで何年かに1回燃やした方がよい。 川に降りる階段はつけない方がよい。ゴミとかを捨てていく人がいる。 基本的に川の中に公園や野球場はいらない。
173	40代	男性	群馬県桐生市	支流の合流箇所にて於ける整備に関して新技術等はないのかと疑問です。車道であれば従来通りの架橋が良いかと思いますが、幼い頃は橋げたの脇から河岸に降りるところが皆の足で自然と道が出来、よく遊んだものです。渡る為だけに架けられる橋でなく、橋げたを一工夫すれば工費の負担もあまりない、自然環境と安全に触れ合えるような「遊び場」を併設出来ない物かと思ます。橋の下も「秘密基地」としてわくわくした思い出があります。ホームレス等の問題もあるかと存じますが利用の仕方、位置づけを明確にしておけば解消できると思ます。是非ご検討ください。「日本の橋はどれもユニークなアイデアで楽しい所だ」なんて世界に発信してみたいものです。
174	50代	男性	群馬県桐生市	鮎や鮭がのぼれる川づくり、保水力のある山や、安全で、安心して遊べる川にしたい。橋がいっぱいあるといいので作りたい。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
175			群馬県館林市	<p>取り組んでほしいこと、期待すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一、渡良瀬川最上流域の水源林涵養促成</li> <li>一、足尾銅山の堆積場からの堆積物流入を防止する</li> <li>一、頭首口の魚道改善</li> <li>一、水質をより浄化して安全安心な渡良瀬川にすること。鉱毒以前の恵みの川をよみがえらせるよう、いっそう努めること</li> </ul>
176	60代以上	男性	栃木県足利市	<p>当然、足利市通2丁目の「中橋」が問題であることは認識しております。同橋は栃木県の、足利市の大切な「近代化遺産」であり、市民の最も愛する歴史遺産、原風景の一つです。また、多くの来市する観光客の印象に残る観光資源です。</p> <p>栃木県土木当局から市民に伝えられる情報によれば、計画橋は北西岸のビルの3階と平行する高さであり、北側取り付け道路は「中橋通り商店街」に「ふた」をするものです。</p> <p>足利市中心街の活性化に努力している今、それに逆行する案は市民として賛成しかねます。</p> <p>現「中橋」両端部の目いっぱいのかさ上げで、何とかクリアーする方法を検討願いたい。</p>
177	40代	男性	東京都日野市	<p>利根川水系の河川整備計画に盛り込んで欲しい内容</p> <p>以下の2点を河川整備計画に盛り込んでください。</p> <p>1) 利根川水系には国際的に重要な野鳥の生息地IBA(重要野鳥生息地)が6ヵ所あり、これを保護・保全するという視点</p> <p>2) チュウビ(昨年12月に絶滅危惧 類から絶滅危惧 B類にランクアップ)が生息する渡良瀬遊水地を保護・保全するという視点</p> <p>1)に関する理由:</p> <p>IBA(Important Bird Areas)重要野鳥生息地は、国際的な鳥類保護組織であるBirdLife Internationalが、世界100ヶ国以上の加盟団体(日本のパートナーは財団法人日本野鳥の会)と共同実施しているプロジェクトです。IBAリスト(目録)は、鳥類を指標にした重要な自然環境を、世界共通の基準(IBA基準)によって選定したものです。</p> <p>利根川水系に係るIBAサイトは以下の6ヵ所です。これらの選定基準と環境構成を損なわず、またそれぞれの保全への脅威に留意した整備を進められるような計画にすべきである。</p> <p>奥只見・奥日光・奥利根(その中の奥日光・奥利根)</p> <p>選定基準:</p> <p>A3基準(北東アジア温帯林)</p> <p>環境構成: 森林</p> <p>保全への脅威: 不十分な森林管理, 水門ダムの建設など</p> <p>霞ヶ浦・浮島(全域)</p> <p>選定基準:</p> <p>A1基準(オオセッカ)</p> <p>A3基準(オオセッカ, コジュリン)</p> <p>A4i基準(コチドリ, ムナグロ, カモ類)</p> <p>環境構成: 湖沼, 淡水性湿地</p> <p>保全への脅威: 狩猟, 観光, 湿地の干拓, 水門の建設, 外来植物の導入など</p> <p>利根川河川敷(全域)</p> <p>選定基準:</p> <p>A1基準(オオセッカ)</p> <p>A3基準(オオセッカ, コジュリン)</p> <p>A4i基準(チュウシャクシギ)</p> <p>環境構成: 河川敷</p> <p>保全への脅威: 農地の放棄, 水門建設, 湿地干拓, 外来植物の導入など</p> <p>利根川河口域(全域)</p> <p>選定基準:</p> <p>A4i基準(ミコピシギ)</p> <p>環境構成: 干潟, 砂浜</p> <p>保全への脅威: 堤防工事, 海岸への車の乗り入れなど</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
				<p>浅間・白根・谷川(その中の分水嶺から利根川側)  選定基準:  A3基準(北東アジア温帯林)  環境構成:森林  保全への脅威:不十分な森林管理,水門ダムの建設など  東京湾奥部(その中の三番瀬)  選定基準:  A4i基準(カワウ,スズガモ,ダイゼン,キョウジョシギ,ハマシギ,ミュビシギ,キアシシギ,チュウシャクシギ)  A4iii基準(スズガモ)  環境構成:干潟,浅海域  保全への脅威:河川等からの土砂供給,洪水時の江戸川放水路からの放流,生活雑排水による富栄養化など</p> <p>(参考)選定基準  IBA基準生息地の選定は、BirdLife Internationalの定めた全世界共通の基準により進められています。この基準はBirdLife Internationalの発行しているアジアのレッドデータブックや世界の固有種生息地リスト、およびWetland Internationalの発行している水鳥個体数推定値、ラムサール登録湿地に指定される為の基準5および基準6などを元にして定められたもので、おおまかには以下の4つのIBA基準としています。  A1基準 世界的に絶滅に危機にある種が生息している。  A2基準 限定された地域に生息する種、または固有種が生息している  A3基準 あるバイオームに特徴的な種の相当数が生息している  A4基準 多くの渡り鳥が利用/生息している</p> <p>参考文献:  日本野鳥の会, 2006. IBA白書2005  Birdlife International. 2004. IMPORTANT BIRD AREAS IN ASIA, Key sites for conservation</p> <p>2)に関する理由:  チュウヒ(環境省レッドリストの改訂で、昨年12月に絶滅危惧 類から絶滅危惧 B類にランクアップ)は、国内では繁殖地が少なく局地的であり、イヌワシやクマタカ(絶滅危惧IB類)よりも繁殖つがい数が少ないにもかかわらず、これまであまり注目されておらず保護活動も進んでいません。これまでに、国内では数十つがいしか繁殖していないこと、ラムサール条約湿地となった仏沼以外では生息環境であるヨシ原の環境が悪化していること、大規模なヨシ原を保全する法的枠組みが少ないこと、ヨシ原でも水路や開水面が必要なこと等が確認されてきており、渡良瀬遊水地に注目しております。  現在、渡良瀬遊水地では、冬期30羽前後のチュウヒが生息するにもかかわらず、チュウヒの繁殖は確認されていません。青森県仏沼では、ヨシ焼きによる環境管理をしているにもかかわらずチュウヒの貴重な繁殖地となっていることから、ヨシ焼きの時期や方法の関係から、繁殖に至らないことが推定されています。チュウヒ以外にも、サンカノゴイ(絶滅危惧 B類)、ヒクイナ(絶滅危惧 類)、ヨシゴイ(準絶滅危惧)などが生息しており、植生管理、水位管理等に配慮が必要である。</p> <p>参考文献:  平野敏明. 2006. 渡良瀬遊水池におけるチュウヒの生息状況と利用環境. チュウヒサミット2006  日本野鳥の会. 2006. 平成17年度渡良瀬遊水池猛禽類調査報告書  以上</p>

鬼怒川・小貝川ブロック



## 利根川水系河川整備計画 関係住民からの意見聴取(インターネット・はがき等)

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
1	60歳以上	男性	栃木県二宮町	<p>1.河川敷 河原・水辺への入場ができない。 河原や水辺はありますが場所に行くまでに距離があると共に途中で雑草や雑木があり行きにくい。また雑草・雑木が高木化し見通しが悪く、不審者や野犬 害虫が多く不安で入場できない。対策、雑草や雑木の除去が必要。雑草等を焼却・ブルドーザー等でつぶす方法等が考えられます。除去することにより入場し易く害虫・不審者・不法投棄等も少なくなると信じています。親子で河原の散歩(植物の観察・砂地での遊び)・水辺での安全意識の高揚(水性植物・生物の観察)野鳥の観察・野鳥の住み易い場所づくり、害虫減少に役立つと思われます。</p> <p>2.堤防の美化を図る 建設省時代に構築した用水取り入れ口、水門・洪水対策等の諸施策物の後世への伝達(継承) 現況 雑草・雑木等により構造物がみられない状況であり、不法投棄しやすい場所になっている。</p> <p>3.一里塚等に野鳥 水性植物・水性生物・植物(雑木・雑草)四季の景色・雲等の看板を設置し来所者の自然への関心を高める策がほしいです。自然を守っていく関心も啓発され環境教育の拡大が図れると思います。</p> <p>4.河川環境保善には地域住民の協力なしには成し易い数多く地域の声を聴き地域に還元してほしいです。</p> <p>5.河川の継続監視をお願いします。</p>
2	60歳以上	男性	茨城県取手市	<p>国道6号の文巻橋際から藤代大橋の間の土手を車がスピードを上げて走行して、私達が土手の上をウォーキングしていて非常に危険であります。この土手の上は一般車輛は通行止めになっている筈なも違反車輛が横行している。依って一般車輛が土手の上に入りしない様にバリケード又は通行不能の柵を作って欲しい。厳しく措置しないと違反車輛はなくなりません。 私達市民が安心してウォーキング出来る様よろしくご措置の程、お願い致します。</p>
3	50代	男性	茨城県結城市	<p>僕は筑西市 に平屋たてました。鬼怒川新橋の開通を心より待っています。茨城新聞などでは160億円費用。発注がないので、工事が中断していると聞きます。どうか将来、筑西幹線道路とともに関本の鬼怒川新橋をつくって下さい。 大・ 部卒。</p>
4	60歳以上	男性	茨城県取手市	<p>個々10年位の間に岡堰周辺は大部整備もさきれいになりました。 私は不定期ながら岡堰周辺の堤を散歩に居ります。散歩で気づくのは心ない者のポイ捨て、手すり破壊又は堤防の標識など自然には壊れる物では無い物まで悪質ないたずらで心が痛みます。 今度岡堰中の島への人道橋も真近かに完成するそうなので中の島の整備も行われると思います。今から50年位以前には岡堰の堤にも桜の樹が一杯あり花見時には露店商が何百軒も出て子供の頃はとても楽しかった事を思い出されます。其の中で子供心に今も思い出される言葉があります。それは露店商の手持遊びで物を入れた器を当てる手品で(目の錯覚は私しもの)と言う言葉が思い出されます。其の頃の思い出を此れからの子供達にも思い出として残してあげられたらと思い提出させて頂きました。 現在の堤防の状況は幅員も広く植樹等で被害の出る事も無いと思いますがどうなのでしょう？</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
5	60歳以上	男性	茨城県下妻市	<p>小貝川における河川横断杭撤去の要望の件          今回小貝川の下妻ふれあい公園に「水辺で遊ぼう」のイベントを7月19日(海の日)開催、関係行政・ボランティア団体の協力を得て多数の参加者のもと、成功に無事終了いたしました。(別途報告書あり)          特に国土交通省黒子出張所(以下同様にして略して呼ぶ)様には、事前に実施した実際のボートを使った川下りの下見は黒子出張所の にも参加していただき、危険箇所の手前予測等大変有効だったと確信いたしました。          ところで川下りの工程水路にありました河川を横断している杭は国道125号線に掛かる祝橋上流約800mにあり、国土交通省のカンバン表示では46.2kmにあります。今回の川下りでは最大の危険箇所であることを確認しました。水位が下がった場合は中止も考慮して日程を進めました。          お陰で黒子観測所の時間毎の時間水位月表(添付資料あり)の検索の手順も習得できましたが、問題は横断杭の目的が明確でなく、現在では大変危険箇所として私たちは認識すると同時に、流木を含めたゴミが大量に引っ掛かっている事も、減水してくると地元民は認知しております。          この際まず杭の目的を明確にし、現行では必要でないことが確認された場合は撤去出来ないか、ここに要望いたします。          参加者からの声では来年も同様のイベントが開催できないかとの話も出ています。</p>
				<p>農業用水確保の堰の形状から環境の優先順位を上げた構築へ</p> <p>現状の堰を調べると農業用水を確保する目的でほとんどが構築されているように思える。</p> <p>環境にやさしい、人間にも魚にも対応出来る堰の再構築を望みたい。          4年前前から栃木県の五行川大前の堰で鮭の遡上が確認されてから真岡市内で鮭の稚魚放流が民間の力で開始されたが、市民が河川の問題改善に黙っていても協力することになっているようだ。          鮭が遡上した時の話として、下流側の堰が改修され鮭が遡上出来る条件になったからだと関係者からの発言があった。          それと下妻市内を流れる小貝川のふれあい公園には横断して丸太の杭が打ってある。</p> <p>増水後を見ると多量のゴミがひっかかるのと、水没時のボート事故もあるだろう。田んぼ時期だけの水引き込み構築物なら他の方法はないのか          例えば半分だけでも撤去とかならないか。</p>
				<p>河川への家庭排水の直接放流状況を調べてその改善を進める。</p> <p>河川の水質が悪化していることは流域住民も、うすうす知っていても、下水道整備が進んでいない地域の住民には台所等の小さい排水改善は出来ても、下水溝が直接河川に流れ込んでいる現状は行政の行動でしか改善出来ないだろう。</p> <p>地方行政のお財布が大変なもの分かるが直接流れ込む下水溝だけでも改善出来ないかと提案する。</p> <p>下流では上流からの水の流れを受け入れるしかなく川の流れに行政の市町村境の区切りは無く、未来につなごう鬼怒川・小貝川の考えはあっても、この水を浄化して生活する子供たちに未来がつけられるのか不安を除く水の流れ改革をのぞむ。</p>
				<p>ブルーギルの実態・生態一斉調査を。</p> <p>鬼怒川・小貝川で釣りをすると、生餌で(ミミズ・サシ)ブルーギルが釣れる。          昨年鬼怒川の下妻市北限平方で30cm程の大きなブルーギルを釣り上げた。          この時の魚の色はブルーではなく黒味の褐色であった。          下妻のふれあい公園下の小貝川でも生餌で10cm程のブルーギルが短時間に何匹も釣れた。          栃木県の下妻市上流の市貝町でも小さいブルーギルが釣れていると聞いた。(河川コーディネーターの話)          これでは鬼怒川・小貝川のブルーギルマップが出来そうだ。          小魚の減少が空からの鵜であると決め付けていると、水中のブルーギルにやられてしまう。          昨年決めたと思われる釣れたブルーギルは再放流禁止と言っているが、土浦港の岸壁には釣り時期になると釣り上げたブルーギルがコンクリーに放置されくさって異臭をはなっている。“自体”を知らないでたゞ規制を提案しただけに思える。一斉釣り大会の調査をしてブルーギルの実態を知って減少させる行動開始を。</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
6	40代	男性	栃木県上三川町	今までの河川整備は治水を考えたダム建設が主であったが今後は新たなダム建設は必要ないと思う。 近年、異常気象といわれる大雨がさまざまな場所で、これまでの想定を超える規模で発生していることから、上流から下流まで全体の堤防を強化させて、どの地域でどのような大雨があっても対応できるようにしていく必要があると思われる。 自然保護や地域住民の生活にプラスとなるような河川の活用も必要と思われる。
7	40代	男性	栃木県宇都宮市	整備が本当に必要ですか？税金のムダ使いと思います。自然に近い形にすべきです。鬼怒川支流の大谷川の堰堤の数は異常です。工事ごとに魚の数は減り放流しても魚がすくりにくなります。河川敷の公園、パターゴルフなど施設も業者とつながっているとしか思えない。必要のない物を作り、利用者の割に管理費がかかり大きな税金のムダ使いです。何もしないで欲しい。整備局はいらない部署。”川の事は釣り人に聞け”
8	60歳以上	男性	茨城県取手市	私は取手の利根川沿岸に住んでいます。利根川の流域の広さや直線化などの特性もあり洪水が年に数回は河川敷が水をかぶる。小貝川や鬼怒川の下流では台地が河川に接近や河川敷が狭かったり、曲線の部分が多かったり、堤防内の低地(水田・畑・住宅など)が広がっている。小貝川や鬼怒川の上流から下流までの河川と台地と低地などの特性や沿岸の暮している人間の生活などの相違を紹介してほしい。これによって沿岸によって(川の影響)どのような変化があるのか知りたい。
9	40代	男性	茨城県下妻市	取り組んでほしいこと 下妻市前河原地区に無堤防の所がありますが、山つき堤という話ですが中には集落があり人家の庭先に計画高水位があり大変不安な毎日を過ごしています。 ぜひ、しっかりとした堤防を作っていただきたいと思います。 被害が出る前をお願いします。 そして整備するときは、水遊びのできる水辺を作っていただきたい。
10	60歳以上	男性	東京都北区	鬼怒川・小貝川河川整備計画は利根川流域圏における将来の治山、治水、利水、環境と流域の皆様方の考を留意して、最終的に川づくりの専門家の方々に河川法に基づいた河川整備計画を願っております。 生態系に留意した更なる河川整備の推進として、川原に咲く草花(カワラノギクなど)花から花へ飛びかう蝶や昆虫、そして木々の枝先で歌う野鳥、川を旅する山から海へと生息する魚たち、これらの生物が生活できる川づくりを願うものです。
11	60歳以上	男性	茨城県筑西市	1.車輛通行止めの除去 通行が多くなれば不法投棄が少なくなる 2.河川パトロールは定時ではなく朝、日中、夜の適当な時間に行う 公務員が出来なければ民間に委託する。民間ならばやります。 3.パトロールは二人は不用である。税金の無駄である。民間ならば一人でやる。 4.河川敷を整備し公園にして駐車スペースを確保し一般に開放する。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
12	不明	女性	栃木県二宮町	寒さ厳しき折柄ですが、皆様ご清栄のことと推察いたします。 さて鬼怒川も国交省の方々のご尽力により整備され感謝申し上げます。 ただ毎年実施されておりました芝焼きが実施されず心配です。不審火や不侵者防止のうえからもぜひ雑草をきれいにしてくださいをお願い申し上げます。 大変でしょうがその点ご高配の上尽力していただきたく切にお願申し上げます。
13	50代	男性	茨城県筑西市	1.堤防の通行を自由にして欲しい。税金で整備したものです。 2.河川敷にホソヤ池を作り釣堀公園を望む 3.堤防の緑化事業の推進
14	50代	男性	茨城県龍ケ崎市	大変お世話になりましたありがとうございます。 勤務しているものですが、ご承知のように小貝川の水不足により、代かき田植期に上流の福岡堰の水が残さなくなります。支流の八間堀川に石洗堰が復活し、小貝川に流し込んで凌いでいますが、鬼怒川と小貝川を分けてから、まん性的に水不足となっていたものです。下流の工業用水・農業用水の補充に寺畑あたりから鬼怒川の水を導水する事をお願いします。 子どもの頃は小貝川で泳ぎ、ヤマベ、雑魚、シジミが沢山採れました。川辺の整備と併せて魚介類を大量に呼びもどす活動をすすめていきたいと存じます。 そして農産物も良質なものにしていくために岡堰土地改良区ではEM(有用微生物群)を活用した活動をはじめています。ご指導とご協力についてよろしく申し上げます。 岡堰が平成8年に竣工し、全門開放式の堰になりました。 旧跡より流量も大きくなり、下流部の堤防を強化することが大切な事と思いますので、よろしく申し上げます。  に関わりますが、昨年8月頃岡堰の上に藻が流入し「油が流れている」という情報がありました。堰の上に藻が発生すると、水が酸素不足になるそうです。酸素を発生しないミドリムシ類の繁殖ではないか。今年は用水期に入り堰を止めたら観察したいと思っています。工業生産、農業生産のためにも良い水にしたいものです。
15	20代	男性	茨城県下妻市	私は職業柄河川等の水位の上昇を調べる事が多く真岡の真下～嘉家佐和迄の河川敷(土手道)に行くのですが砂利敷の施工の際車が回しずらい様に土手を狭くされた所が多く、私の他地元の通行者等も車を土手に落としそうになる事が多くみられました。今後整備の際には国の土地とは存じてますが、地元等の環境に合った方式で土手敷や施設の改修をお願いします。  河川について 釣りやバーベキュー等、又は各自治体で花の移植をしている所がありますが、親水の観点から の河原はバーベキューに適しているとか の川は菜の花が毎年咲いてキレイ等を周知するパンフレットというマップ等を国交省のHPで公開してはどうでしょうか？ 又逆に中洲で取り残されるバカ共についてもこれを公開する事によって危険な所でバーベキューをしなくなるのではないかと思います。  上に書いた自治体の取り組みの花の移植の他にも自ら河川をキレイにしている人がいると思いますのでその様な方に対して、何か協力する補助をお考え下さい。
16	60歳以上	男性	茨城県竜ヶ崎市	小貝川・鬼怒川という限定したことでなく利根川水系全体について一つの提案をさせていただきます。 明治・大正時代にくらべて、水道水などの水利用が増加し平水位が低下していると思いますが、水運の再生を計ることです。 河道の整備、船着場の整備、また、現在の堤防をスーパー堤防、超スーパー堤防に整備、そこに流通拠点をも効率的に配置する。 これにアクセス道路の整備することにより小割の輸送がスムーズにいくように水運と自動車輸送の新しい流通システムの確立を計る。 現在のように、自動車による物流だけにたよることは、石油資源の有限性、排ガスによる大気汚染、地球温暖化などいろいろな問題が起きています。 このような問題を解決する上においても、海運と河川利用の運輸、有機的な運用すべきと思います。 このことはまた、治水にも寄与するものと考えます。  追伸、いつも、いろいろな資料、情報の提供いただきありがとうございます。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
17	60歳以上	男性	茨城県取手市	<p>最近の川の状況はあまり良い状態ではありません。水質の悪化河川敷にはゴミの不法投棄等環境によくありません。毎年鬼怒川小貝川クリーン作戦に地域の人々と参加しておりますが少しもゴミは減りません。</p> <p>川辺に自然環境・きれいな水を取戻したいと願っております。</p> <p>小貝川漁協組合も、会員の高令化と脱退者の増加ときびしい状態です。できれば昔の川に親しみきれいな水と元気な魚と釣を楽しむ心の洗たくをし毎日元気に充日した日々を過ごせたらと考えています。国土交通省の高官の人にお願いたいのですが岡堰の上流には夏になると水上バイクの若者が多数します。</p> <p>釣り人もあれが来て荒波を立て、全々釣れず帰ります。水上バイクもレジャー・釣り人もレジャーですなんとか良い状態を作りたいのですが土手からスロープにて水辺にポート卸し朝から夕方迄楽しんで行く様ですが川本来の治水水環境と良い方に進んでいければ良いのです。</p> <p>私は、大人の人にゴミは捨てるなど云っても思い通りなりません。小学校の子供達を川辺に呼んで水の大切さや自然環境の大切さを3～4年生を対しように指導してます。</p>
18	60歳以上	男性	栃木県河内町	<p>鬼怒川・小貝川河川整備計画への意見書</p> <p>環境と親水</p> <p>1 鬼怒川流域全体</p> <p>以前鬼怒川が河川ランキング日本一になった記事を見たことがあります。河川に親しみ・河川敷地利用などが優れていた結果だと思いますし、当時の工事事務所のご努力の賜物とも感じる幸いです。</p> <p>鬼怒川は流域の市町において、最後の残された自然の大きな空間と私は認識していますので、河川敷の利用対応を河川法で菌取り組めない、鬼怒川独自の対応マニュアルの策定を望むものです、例えば、漁協組合と連携し釣り許可券発行の際、その期間はゴミ遵守員の資格を与えることにより、本人からゴミ放棄が出来ないようにするなど</p> <p>大雨が降ると古老の口癖は、昔ならこんなに降れば大水になり、堤防決壊も心配したのにな、と言う言葉が聞かれます、上流のダムのお陰との認識はありますが、行動で感謝するまでには至らない、先祖のお墓まで湖底に沈んだ立ち退いた住民への意識が低いものから来るものと思いますので、立ち退き住民が誇りにもてて、下流住民が常に感謝しながら河川敷き等の利用がされる継続的施策を策定願います。</p> <p>鬼怒川・小貝川河川整備計画への意見書</p> <p>環境と親水</p> <p>1 鬼怒川流域全体</p> <p>河川に親しみ・河川敷地利用者が増加することにより、人の目が届きゴミの放置も少なくなるのではと感じる次第です。</p> <p>それには、水質が綺麗で魚が泳ぎ、川の中まで入れる環境が必要と思います。</p> <p>その一例として、是非農水省の計画と整合性を図り、3つの頭首工の魚道整備計画を策定下さい、上流でカジカとサケの魚影が観察できれば住民は河川に注目し、人が戻ってくると思います。</p> <p>鬼怒川・小貝川河川整備計画への意見書</p> <p>利水</p> <p>1 鬼怒川は川で無い時期がある。</p> <p>川とは、水が流れている窪みを指すものと認識したとき、鬼怒川は川と言えない時期がある、その時期は、農業用水が一番使われる時期や冬の雪不足、渇水などにより水が無くなる期間が見られます、その期間の時期はどのような変遷なのか計画に表示し、多目的、広域的観点から水量計画策定を願いたい。また、鬼怒川の水利用は94.5%が農業用水として利用され、五行川などで反復利用され、小貝川の流れにも関係しているのは、旧河道が影響しているものと思いますので、旧河川の水脈調査を実施し、水確保の原点に注目した計画策定ができないか検討願いたい。</p> <p>また、上流ダムの相互連携を強化して、維持流量の確保対策を網羅願いたい。</p> <p>鬼怒川・小貝川河川整備計画への意見書</p> <p>治水と堤防</p> <p>1 鬼怒川流域全体</p> <p>鬼怒川の河道は、上流部にあっては、川幅が広く流下能力も有り、堤防も概ね完成しているが、下流においては、川幅が狭く、堤防高・断面不足箇所が集中しており、その上築50年を経過した樋管が多くある現状を踏まえ、堤防の内部構造調査結果をいち早く分析し、浸透に対する安全性の低い区間を、流域住民に認識させ、早急な且つ集中的に工事予算を確保して対策に取り組める施策を計画的に策定願いたい。</p> <p>2 鬼怒川流域上流</p> <p>未整備区間と暫定区間が両堤防に現存する上平橋周辺の築堤を計画期間初期に完了するよう策定願いたい。H14に河岸浸食した箇所がいまだに補修されない現実を見ると計画倒れと言われない政策を望む。</p> <p>3 鬼怒川流域上流</p> <p>樋管の計画的改修と未整備区間と暫定区間が両堤防に多く現存するので、流域住民の財産を守る観点からも、実施計画の重点取組を期待したい。</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
19	60歳以上	女性	栃木県宇都宮市	私は石井鬼怒川西に住んでいます。毎日の様に土手を散歩しながら清らかな川の流れ、四季折々の野の花、小鳥のさえずるのどかなこの自然の環境に満足しております。しかし年と共に足腰が弱って歩いていてもふっと休みたくなりますがどこを見ても椅子がないのは困ります。大谷石でも、廃材の丸太でも河川のおちこちに整備して頂けたら今以上にふれ合の場となるように思います。お金も余りかからないと思いまのでよろしくお願ひ申し上げます。空地の利用も高令化向き子供向きに利用して下さい。
20	60歳以上	男性	茨城県取手市	最近では犬を散歩させる人が多くなってきております。糞の処理について一言申し上げたい。 糞を処理する際、堤防に穴を掘り埋めたり、糞の上に堤防の土を掘って掛けたりするのをよく見かけますが、堤防への影響は無いのですか？土を掘ったまま穴が開いた状態や穴の中に糞を入れ埋めた場合土が柔らかくなり、強度が落ちるような気がします。さらに、散歩(運動不足の解消のため)する際、そこそこに糞が落ちてたり美観を掻い、気持ちのいいものではありません。約1km(?)位の間に掲示板が、そこには「糞は飼い主が処理するように」のみの注意書きで全く効果は無いように感じます。そこで 1.糞は持ち帰るよう徹底した宣伝(立て札)を増やす。チラシをスーパー等人の集まる所に配る。 2.監視(巡回)の回数を増やし注意を促すと同時に糞回収を行い認識を高める。 3.適度な間隔にドッグランを作りそこに糞を集め処理する。  人家前の土手に糞がそのままの状態が多く不快感極まりません。以上よろしくお願ひします。
21	60歳以上	男性	茨城県筑西市	小貝川常総平野を「うるおす」 川も一度増水すれば多数の人達の陰の力に支いられて、氾濫等を防いで居ます。 これからの小貝川は昔の子供の頃の様に川岸で泳げる川にすること、と、タナゴ、や砂むぐりの居た美しいきれいな川に成る様我々が努力して行く必要が有る。支流の河川堰を管理していて、粗大ゴミや産業破棄物の流入が大変多く川に投棄される。30年代～40年代頃から川川の重要性を忘れてしまった現代人常日頃の教育が大切だと思う 国を愛する町や村を愛するその郷土を愛する小川や川を愛するすべて教育が必要かと思ひます。
22	60歳以上	男性	茨城県つくばみらい市	水の見える風景は心が安らぎます。折角、川の近くに住んでいても、川に近付くことが難しい状況ではもったいない。是非、鬼怒川の堤防沿いに遊歩道を整備してほしい。小貝川のように。 日々の散歩にとても良いコースになるでしょう。滝下橋から上流方向を見ると、いつも良い景色だなと思うが、ゆれる橋上からの眺めでは落着きません。遊歩道からゆっくり眺められればとてもよい沢な気分になれるでしょう。 下流から上流まで長い長い遊歩道ができればウォーキング大会もできるでしょう。 折角の自然資源を有効に活用したいものです。
23	60歳以上	男性	茨城県筑西市	パトロールについて 定時ではなく、1日1回で良いから、朝、昼、夜の実施、不法投棄をなくす。 高額車輛の必要はない。軽車輛で充分 2人の必要はない 河川パトロール委託車(名称は適当に考える)等のステッカー等を作成し釣り愛好者に依頼。ボランティアの育成 以上公務員で出来なければ民間に委託する。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
24	60歳以上	男性	栃木県宇都宮市	<p>総論 鬼怒川の自然を生かし、河原、草原、林(木立ち)変化に富んだ流れ、点在する水たまり(池)、全体を視野に入れた自然環境を満喫できるような河川づくりを望みたい。私は毎日のように柳田地区の河原を散歩し鬼怒の自然に親しんでいます。それだけに年々川の流れが貧相になって寂しい思いをしています。</p> <p>各論 豊かな川づくり。 最近、橋などの工事が原因で柳田-石井地区の流れは砂利の流入で浅瀬が多くなり、魚が滞留する深場がなくなった。四季を通じ魚がすめるような深場、いわゆるトロ場が必要と思われまます。 急流からトロ場、かくれ場所、と変化に富んだ川、これが鬼怒川の特徴だと思います。ウの被害防止にもなり、魚を増やすのに必要な改修策を望みます。 自然保護区を広範囲に設定して鳥類が数多く飛来する流域作りも必要です。保護区を増やすことで一般の感心も高まり、ゴミの不法投棄もなくなるのではないかと。</p> <p>柳田地区の改修工事について要望。 柳田地区でブロックを引き揚げて流れの改修工事を行っています。従来のように魚の住めるような改修を考えて欲しい。従来は、魚がブロックに保護されて住みつき、群を作っていました。冬場、釣り人にとって付近では唯一の釣り場としてにぎわっていました。 岡本から石井地区の間には、こうした魚影の見える場所がなく、川は死んだようなものです。 災害から守るための工事は必要ですが、工事と合わせ、魚の住める豊かな川づくりに配慮していただきたいと望みます。近年、漁業組合の活動は停滞し、魚の放流もなくなり、組合員は減少し、魚を増やす運動も影をひそめてしまいました。 こうした傾向が続くと、ますます川は荒れて、自然の豊かさがなくなります。豊かな川づくりに積極的に取り組むよう要望します。</p>
25	30代	男性	東京都足立区	<p>私は釣行でよく小貝川を訪れます。小貝川に通うようになって、6年ぐらいになりますが河川整備という名目で、護岸工事が行われ最初に見た風景とは大分変わり、殺風景となってしまいました。川の水質もかなり悪くなった気がします。支流の神通川も護岸化され、悲しいです。魚の為？人間の為？地元の方と話しても、殺風景な感じがしてきたとおっしゃっていました。私の子供と一緒に将来遊べる小貝川本来の景色も残して頂きたいと望みます。素敵な川なのでから。</p>
26	50代		栃木県芳賀郡茂木町	<p>昔から川を制するものは国を制すと言われていますが、今日はすばらしく整備されて久しいですが、私の町でも過去に水害で河川が整備され、流れが変わり、コンクリート護岸になっています。一部公園も整備されていますが…。 さて、老後にむけ、カヌーを始めたところですが、これまたいるいな川下りをしてます残念なことがトイレです。最近道の駅ならぬ川の駅でしょうか、駐車場と船着場を兼ねたトイレを有する休み場がありますが、多くの川の駅とトイレを要望します。川は国民皆が自由に使える場所。QOLのために是非ご配慮下さい。</p>
27	60歳以上	男性	茨城県結城市	<p>「河川敷をきれいに」という願いは地元で暮す私達も、国土交通省の役人さんも同じだと思います。 何年前か前に実施したように、河川敷にのびたススキや其の他の雑草を冬枯れの時期に焼く事が良いと思いますが野鳥の保護とかいろいろと事情はありましようかどうでしょうか。枯草がのびていると粗大ゴミなど捨てる人も多いし又火災なども発生し易く不安です。 又、久保田栄橋の5,600m下流の河川敷に流れついた竹が根を張りあのみ、にして置くと、何年後かには大きな竹林になり、川のためには悪い結果になるのではないかと心配して居ます。ご一考下さい。年一度の河川敷のゴミ拾いにはいつも協力していますし、今後もそのような時には必ずご協力するつもりです。</p>
28	60歳以上	男性	茨城県守谷市	<p>水上スキー、水上バイク等の禁止、又は河川敷への(稲豊橋上流・つくばみらい側)車の乗り入れを出来ないようにしてもらいたいです。</p> <p>私は小貝川漁協同組合に入って釣や投網します。 朝早く釣に出かけ釣をしていますと水上バイク等が八時前後にやって来ます。その日1日中釣に成りません。</p> <p>もう一つ、水ぎわ(川岸)くずれ落も最も多く見られます。</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
29	10代	男性	茨城県下妻市	鬼怒川の河川じきあたりにキャンプができるような場所を作ってほしい。 そこには水道をひいて、かまで屋外すい飯ができるようにかまどを用意する。 キャンプファイヤーなどをやるためのたき木など燃えるものも用意する。木で家を作り中でありみを用意して昆虫採集をやり、標本づくりをできるようにしてほしい。テント、ライト、食料などは自分で用意する。もし、テントやライトを忘れた人のために2個くらい用意しておく。自分で出したごみは袋にもちかえる。自分でつりざおをもってくればできるようにする。ほかにサッカー、野球、ゴルフなどスポーツ、遊びができるようなところもつくってほしい。 そうすれば子どもたちが遊びにきたり、親子や家族で、きてキャンプをして昆虫採集、屋外すい飯、キャンプファイヤーなど協力してやれば自然や動物とふれ合えて親子、家族など地域の人たちとも仲良くなれると思います。なので、この木の家やキャンプができるような場所をつくるのをよろしくお願いします。
30	10代	男性	茨城県下妻市	プールみたいな水辺でいろいろな水遊びや(水でっぽうなど)30mくらいの高さの水のすべり台で遊んだり、海の家みたいな物で楽しんだりしてみたい。海の家みたいな物にはうきわやボート、ビーチボールなどを売ったり、そういう物で遊べる砂浜もほしい。つりぼりもやったりできる所やつりぼりでつった魚を食べることができるようにしてほしい。 赤ちゃんでも遊べるキッズランドも作ってほしいし、おとしりょうどうしてくつろげるハウスなどもつくってもらいたい。
31	10代	男性	茨城県下妻市	小貝川のちかくにみんなで遊べる遊び場を作ってほしいと思いました。理由は魚つりなどが楽しめるからです。あとキャンプができる場所も作ってほしいです。理由はバーベキューなどをして楽しめるからです。バーベキューは自分たちでざいりょうをもってきて、肉や野菜などを食べたりできるからです。つった魚などもやいて食べたりできるからです。ぼくは、こういう場所を作ってほしいと思いました。あとみんなで遊べる運動場を作ってほしいです。運動場の理由は、みんな運動が好きで、おにごっこや、野球、サッカーなどをして遊びたいからです。川も近いのでこん虫さい集をしたいです。よろしくお願いします。
32	60歳以上	男性	栃木県日光市	1.大型ダムに洪水時の土砂や濁水を流すバイパスの設置を希望します。 普通の河川は洪水の後、あまり日時が掛からないできれいな川に戻りますが、ダムのある河川は長期に渡って、ダム湖や河川の流水がにごっています。見た目も悪いし、魚など川に住んでいるものに悪い影響を与えています。また観光のためにも良くありません。 ダムに因って土石が堰き止められ下流に供給されなくなりました。そのため河床が下り、護岸の根や、川床が下がりがり、砂、砂利が無くなり岩盤が露出してしまった所さえあります。鬼怒川は砂、砂利が豊富で生きものも豊富だったと聞きました。砂じょうや川原野菊などが少なくなったのは、こんなところに原因があるのではないのでしょうか。また産業にもおおきに影響を与えています。土木工事でもっとも大事な砂、砂利を山に求めていきます。山が削られ、その姿さえ無くなってしまった所さえあります。 ダム地点、川だけでなく、地域全体を見て、自然がなるべく残るように、ダムに土石や濁水を流すバイパスが出来ないものなのでしょうか。  2.都市風水の取水口を町を下流にし、下水道などの放流を町の上流に設置する。 川に流している下水などの処理水は余りきれいではありません。しかし、処理水を自分の町の上流に流して、下流から取水すれば、その水を自分たちが飲み水として使うことになるのですからもっときれいにするでしょう。 川の水も増え豊かになるでしょう。
33	60歳以上	女性	栃木県二宮町	意見1、鬼怒川の勝瓜頭首工下流部の水量について 豊かな鬼怒川の生態系を育む河川環境と美しい河川景観が著しく損なわれているので川らしい(水量)姿にして欲しい。 2、鬼怒川の水利状況について 減反政策が採られている現状で農業用の取水量(3頭首工の水利権)を見直して欲しい。農水省管轄の頭首工なので難しいことはわかっています。 3、大道泉橋から上流へ、せせらぎ公園が出来ると聞いていますが、日陰がまったく無くては、真夏の暑い日には誰も川に近づきません。 スーパー堤防にして植栽するか、公園内に木を植えるか、東屋を作るか日陰を作ってください。小鳥たちの為にも、ところどころ木を残して欲しいです。



受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
34	40代	男性	茨城県筑西市	<p>小貝川の堤防をウォーキングして感じること (イ)犬を連れてくる人が多い 従って次の問題が発生している</p> <p>犬のフンが多い 引き綱を付けていないので危険である</p> <p>(ロ)ペットボトル等のゴミが多い</p> <p>以上</p>
35	60歳以上	男性	茨城県守谷市	<p>河川行政は将来を展望の上、河川本来の自然形を生かした河川環境の維持に力を注ぐべきです。 特に、河川に野鳥が少なくなってきたことに危惧しております。 野鳥が多いことは虫が多いこと虫が多いことは樹木、野草の植生が豊かなことです。都市化等の地域変化が進む中、河川流域は貴重な空間です。</p>
36	50代	男性	栃木県上三川町	<p>上三川町の鬼怒川河川敷は県内の河川敷としては一番川幅が広い地域と思われます。しかしながら、年に何回か不審火等により、河川敷が燃え、地域の住民は他に燃え移らないか心配しております。 解決策として、準備を整え、計画的に渡良瀬遊水地のヨシ焼きのように実施するか、現状では火災になっても消防車は水利の近くまでいけなくて見守るのが精一杯の時もかなりあります。 打開策としては可能ならば河川敷に緊急用の仮設道路を造り、消防車が水利を確保できるようになれば延焼を防げ、また仮設道路(5～6m)が延焼をブロックする役目も果たす。 通常は車止めブロックで中に入れないようにする。 また河川敷の不法投棄等に対するクリーンキャンペーンは夏ではなく、ゴールデンウィーク時期ならヨシは伸びていなくて、ゴミ処理はかなり楽に実施できるのではないかと思います。(重機等により効率的に美しい姿を取り戻せるのではないかと思います。 Eポート大会等のイベントにより河川に親しめるようになればもっとよいと感じます。(河川愛護PRを兼ねて)</p>
37	60歳以上	男性	栃木県小山市	<p>私が住む絹地区は、小山市の北東部に位置し、東に鬼怒川、西に田川を臨む地域です。鬼怒川は私たちにとって、自然の脅威を感じるどころであり、自然の恩恵を与えてくれる大きな存在であります。私たちは、自治会をはじめ、多くの関係者が集い、鬼怒川河川敷有効活用促進協議会という団体を設立し、鬼怒川の自然をまもる清掃活動、ごみの不法投棄を防ぐための枯草焼却、水辺を生かした魚のつかみ取り等を実施しており、私はその代表者を務めています。 絹地区は平坦な形状で、かつては洪水の多かった地域でありましたが、鬼怒川に堤防が整備され、田川から鬼怒川へ放水路が整備されたことにより、昭和40年代の初めを境に洪水の危険にさらされるようなことがなくなりました。これも国土交通省をはじめ、関係者の皆様のご努力の賜物と感謝申し上げます。 河川整備計画を策定されるにあたり、まず流域の安全を図り、飲料水・農業用水の確保するということがあると思います。加えて、私たちが進めています活動の趣旨をいただき、河川敷の自然環境をまもること、一部を地域住民が利用しやすい水辺空間に整備することを要望します。 とくに中島橋付近は、釣り人はもちろんのこと、家族づれで川の自然に親しむ場所になっています。私たちの活動もこの付近が中心で、近くの平地林をまもる活動も実施しています。中島橋付近を地域住民が利用する空間と位置づけ、整備されることを要望します。その際、隣接する平地林と有効利用することがより理想的と思います。 現在、水辺と平地林の間に竹林があり隔てています。これをまず、伐採していただければと思います。そうすれば、見通しがよくなり、地域住民が水辺や平地林をより利用しやすくなると思いますので、よろしく願います。</p>
38	70歳以上	男性	常総市水海道宝町	<p>常総市地先の小貝川河川敷(伏木山及び廃川等)は首都圏都心部に比較的に近いオートキャンプ場の可能性があります。河川事務所及び常総市が協議してアクセス道路の整備等を含めて実現に向われることを希望します。</p> <p>常総市の鬼怒ふれあい公園には鬼怒川の水辺との接触がありません。戦前に比べれば川は随分おとなしくなりました。川辺の施設があればもっと利用が増えるのではないのでしょうか。</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
39	50代	男性	栃木県芳賀郡益子町	益子町で自然観察会を主催しております と言う者です。 益子町内を流れる小貝川については河川改修が進み、護岸工事が行われておりますが、工事方法に付いて意見があります。 実は小貝川の益子町内南端田野橋付近では以前から希少種のチョウが生息し、貴重な繁殖域になっております。 「ギンイチモンジセリ」と言いますが、環境省では準絶滅危惧種、栃木県では要注意種、になっております。 河川工事に付きましては、田野橋上流域について、全域工事を避け、部分工事で地域の食草「ススキ」「チガヤ」等が繁殖期に確実に地域に残存する環境を作っていく事が求められると思います。 以上簡単に述べました。必要なら詳しい地域情報、写真等提出する事が可能ですのでご連絡下さい。
40	30代	男性	東京都葛飾区	絶滅に瀕した植物がかず多く生育している鬼怒川・小貝川で、これらを守っていくことのできるような管理をしていただきたいと思ひます。
41	20代	男性	茨城県つくば市	河原の希少な植物、日本在来植物にも配慮した河川管理が行われていくとよりよいのではないかと思います。
42	60歳以上	男性	栃木県宇都宮市	真岡左岸、広大な水辺への立入りを事実上、阻害しているゴルフ場を廃止して下さい。小敷の方で専有し、水辺には全く関係の無いジャンルの現状はおかしい。 真岡の奥怒大橋下流右岸1K程の用水への引込が深く渡れない、浅くして、2列にするなど工事について指導して下さい。危険を感じます！ 現在工事中の石井右岸の「古くなった護岸を直しています」は今後の工事説明のお手本になります。他のあらゆる工事も、こうあって欲しい。 オレンジ色のパトロールカーが行動する様になって気分が良い。更に注意をスピーカーで呼びかける等実際の行動を見せて欲しい。 うくい漁で、川を全部専有する等、目にあまる工事が目立ちます。うくいがほとんどいなくなってもいいです。現状規制して欲しい。重機を常置しての違法工事があたりまえになって、皆、それを見えます。おかしいです。 とにかくパトロールを強化して下さい。 お世話になっています。期待しています。 この様な連絡手段を常置して下さい。 追伸 の付近に観察センターを初めて見かけましたが、ゴルフ場などやめて、ど真中にこの様なPRセンターを設けて、事務所兼の拠点としたらどうか？ 宇都宮等も同じく考えて欲しい。水辺にあるべきと思う。かけ込みやすい。
43	50代	男性	茨城県つくばみらい市	私は、小貝川の豊かな水の恵みで米作りをしている兼業農家です又、小貝川漁協組合員の一人として魚採りなどして川の自然とふれあいを楽しんでいますが近年魚数が減ってきている感がしてなりません。その原因として 1、水害防止・流量促進を優先して実施している河川整備工法から生じた水辺のコンクリート化 2、春～夏の期間においての水上バイク等愛好者による身勝手な水面利用 3、外来魚・川鵜の増加による食害 が考えられます。 私の意見としては、魚が河川で自然繁殖し、かくられる場所作りを河川整備計画(特に護岸工事設計)に取り入れて施工していただければ幸いです。 魚が増加すれば子供達・大人問わず川に親しみを覚え、川の恵み・河川的重要性を再認識するでしょう。 (例)、 自宅近くの水辺に先人達が施工した「松杭を逆さに打ち込んで川底に粗朶を重ね上部は割石でおさえる」方法で施工した場所があり、時々川鵜が集団で魚を食へに来ているのを見ると早く粗朶へかかれると声を出したくなる時があります。  6号国道藤代バイパス橋下流に作ったのが近年の土木工法による施工場所と思っておりますが、更に施工場所を増していただければ川と人々がふれあう機会が多くなるでしょう。

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
44			茨城県筑西市	<p>鬼怒川・小貝川は自然の多く残すばらしい河川です。私は、小貝川のすぐ脇に住んでおり、子供の頃より親しみ川と共に暮らして参りました。一時、河川の水質汚染がひどい時期もありましたが、ここ数年は改善され、水に触れることの喜びを再確認しているところであります。また、子供たちの(親を含む)の河川(自然)離れは見るに堪えません。私は、PTA等で河川での遊び、勉強を推奨して参りましたが、現教育の壁に阻まれ、子供たちを川に連れて行くことすら出来ません。そこで、小貝川中流域の筑西市西石田周辺、及び旭ヶ丘遊水池に水辺の学校を整備していただきたく御願いたします。</p> <p>とくに、西石田周辺は流れも穏やかであり、砂利の場所等が、自然のまま残っております。</p> <p>近くには小学校もあり、勉強の場所としては最高の場所です。ただ、現状のままでは、学校としても子供たちを連れて行けないとのこと、自然を極力変えないで、整備をし、安心して行ける環境を作っていただければいいのではないのでしょうか。また、整備後の管理についても、地元若者の団体(自治会等も含む)が管理を請け負うだけの環境にあります。是非とも小規模でいいので、河川内に入れる環境作りを御願したいと考えております。</p> <p>また、上流から下流までの同一のテーマを持つことにより流域住民の交流も出来、河川の環境の維持改善が図られるのではないのでしょうか。</p>
45	50代	女性	栃木県日光市	<p>利根川水系河川整備計画についての意見を述べます。</p> <p>整備計画全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構想段階でもっと早めに住民に情報提供すべきです。</li> <li>・関係住民ではなく、広く県民からの意見を聞くべきです。</li> <li>・受益者ではなく、むしろ反対派住民の意見を積極的に聞くべきです。</li> </ul> <p>思川開発事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少が現実となった現在、水余りの時代になってきています。高い建設費をかけてダム建設は不要です。勇気をもってこの事業からの撤退を求めます。</li> <li>・黒川、大芦川からの導水は荒井川の水脈を断ち切り、この周辺地域の地下水枯渇をひきおこすことが充分考えられます。先進地域の事例を見ればそれは予測がつくことです。たとえば神奈川県津久井町の青山、青根地区の沢涸れ現象は宮ヶ瀬ダムへの導水によるものであり、この地区の住民は昔から使用して来た地下水を失い、その結果まずくて高い水道水を使わざるを得なくなりました。津久井町でのこの現象に対して建設省(当時の対応はまったくお粗末な内容でした。荒井川流域の上久我地区で同様の恐れがないのか、非常に危惧しています。絶対に生じ得ないのであればその根拠になるものを証拠として示してください。もし、万が一にも沢涸れが起きてしまった場合、国交省はどのような責任をとる用意があるのか、具体的に示してください。導水管によるものかどうか原因は不明などという逃げの返答はせず、誰もが納得でき、周辺住民の経費負担が絶対ないように誠意ある対策をして欲しいと思います。しかし一番の得策は、他所からの水を当てにするという、このダム計画そのものを中止することです。</li> <li>・水特法による“箱物建設”がダム下流域に計画され、都市住民との交流をめざしているそうですが、その土地土地の文化や伝統に関心もち、本物の田舎を求める都市住民の要望をそれが満たすものであるのか疑問に思います。ダムを作らず、人工物も作らず、南磨地区はエコミュージアムとして多くの人々が心身を癒す場所として利用されていく場所だと思っています。ダム湖の淀んだ水は本当の水ではありません。以上</li> </ul>
46		男性	茨城県筑西市	<p>鬼怒川・小貝川を考えよう</p> <p>昨年三月末であった。ラジオで聞いたことです。銚子の人のむ話によると四月から五月にかけて、銚子沖ではいろんな魚が沢山集まる場所がある。その理由は利根川の雪解け水によるものである。この水には上流の木の落葉が溶けて微生物となっているので魚の良い餌となつている。この水の集まった処は菜っ葉の色と似ているので銚子の人達は菜っ葉潮と呼んでいる。</p> <p>後日、銚子の方と電話や文通が出来るようになり昨年の秋に便りがあり最近では河川改修やダム建設、堰も作られ利根川の雪解け水が少なくなり不漁になったと漁師達が嘆いていると書かれてありました。</p> <p>鬼怒川の勝瓜堰のことですが、小生は堰そのものを見ていないのでよくわかりませんが、元水利組合の事務をなされた方のお話しによると下流に行く水は見せかけにだけの魚道の水と堰に溜められた水が地下に染みこみ地下水となつて堰の下をくり抜けて下流で地表に出る水と大雨のとき溢れ出た水が流れるくらいだと話して下さった。</p> <p>「鬼怒川・小貝川流域を語る会」の編著の本を読むと利根川の水が海へ行くのが少なくなった理由がおぼろげながらわかってきた様な気がしましたしかし海の魚のためにも何とかが工夫して上流の森の水が海にゆくようにしてもらいたいものである。</p> <p>気仙沼の牡蠣養殖漁師が山に登り標の苗木を植えたあとに「森豊かなら海豊かなり」と語られたテレビ放送の言葉がいまでもはつきりと耳の奥に残っている。</p> <p>女方に住んで居るのでここ数年早春の頃鮭の稚魚の放流に参加している。鳥達が来て放流した稚魚を食べられないように手花火のようなものを空に向かって発射していた。最近川鵜が群をなして来て稚魚が食べられて魚が減ってきている話があった。この地方ではおいかわを(やまべ)と呼んでる魚もそのひとつである。</p> <p>秋には鮭をとる網が架けられ見にゆくと白く傷のある鮭の泳ぐ姿を見かける。</p> <p>堰の話にもどりますが垂直に水が落ちるものが多い見られますが水海道の豊水橋の鬼怒川の流れを見ますと段差ついたものになっているこのように水を斜めに流すようにすれば魚達も自由に行き来ができるのではないかと思いますそうすれば自然な形で魚も生活がなりたち川も豊かになり鮭なども傷つらずに遡上できるのではないかと思いますまとまらない文章ですが何か御参考になれば幸せと存じます。</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
47	40代	男性	東京都日野市	<p>利根川水系の河川整備計画に盛り込んで欲しい内容 以下の2点を河川整備計画に盛り込んでください。</p> <p>1) 利根川水系には国際的に重要な野鳥の生息地IBA(重要野鳥生息地)が6ヵ所あり、これを保護・保全するという視点 2) チュウビ(昨年12月に絶滅危惧 類から絶滅危惧 B類にランクアップ)が生息する渡良瀬遊水地を保護・保全するという視点</p> <p>1)に関する理由: IBA(Important Bird Areas)重要野鳥生息地は、国際的な鳥類保護組織であるBirdLife Internationalが、世界100ヶ国以上の加盟団体(日本のパートナーは財団法人日本野鳥の会)と共同実施しているプロジェクトです。IBAリスト(目録)は、鳥類を指標にした重要な自然環境を、世界共通の基準(IBA基準)によって選定したものです。 利根川水系に関係するIBAサイトは以下の6ヵ所です。これらの選定基準と環境構成を損なわず、またそれぞれの保全への脅威に留意した整備を進められるような計画にすべきである。</p> <p>奥只見・奥日光・奥利根(その中の奥日光・奥利根) 選定基準: A3基準(北東アジア温帯林) 環境構成:森林 保全への脅威:不十分な森林管理,水門ダム建設など 霞ヶ浦・浮島(全域) 選定基準: A1基準(オオセッカ) A3基準(オオセッカ,コジュリン) A4i基準(コチドリ,ムナグロ,カモ類) 環境構成:湖沼,淡水性湿地 利根川河川敷(全域) 選定基準: A1基準(オオセッカ) A3基準(オオセッカ,コジュリン) A4i基準(チュウシャクシギ) 環境構成:河川敷 保全への脅威:農地の放棄,水門建設,湿地干拓,外来植物の導入など 利根川河口域(全域) 選定基準: A4i基準(ミコビシギ) 環境構成:干潟,砂浜 保全への脅威:堤防工事,海岸への車の乗り入れなど 浅間・白根・谷川(その中の分水嶺から利根川側) 選定基準: A3基準(北東アジア温帯林) 環境構成:森林 保全への脅威:不十分な森林管理,水門ダム建設など 東京湾奥部(その中の三番瀬) 選定基準: A4i基準(カワウ,スズガモ,ダイゼン,キョウジョシギ,ハマシギ,ミコビシギ,キアシシギ,チュウシャクシギ) A4iii基準(スズガモ) 環境構成:干潟,浅海域 保全への脅威:河川等からの土砂供給,洪水時の江戸川放水路からの放流,生活雑排水による富栄養化など</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
				<p>(参考)選定基準            IBA基準生息地の選定は、BirdLife Internationalの定めた全世界共通の基準により進められています。この基準はBirdLife Internationalの発行しているアジアのレッドデータブックや世界の固有種生息地リスト、およびWetland Internationalの発行している水鳥個体数推定値、ラムサール登録湿地に指定される為の基準5および基準6などを元にして定められたもので、おおまかには以下の4つのIBA基準としています。</p> <p>A1基準 世界的に絶滅に危機にある種が生息している。            A2基準 限定された地域に生息する種、または固有種が生息している            A3基準 あるバイオームに特徴的な種の相当数が生息している            A4基準 多くの渡り鳥が利用/生息している</p> <p>参考文献:            日本野鳥の会、2006. IBA白書2005            Birdlife International. 2004. IMPORTANT BIRD AREAS IN ASIA, Key sites for conservation</p> <p>2)に関する理由:            チュウヒ(環境省レッドリストの改訂で、昨年12月に絶滅危惧 類から絶滅危惧 B類にランクアップ)は、国内では繁殖地が少なく局地的であり、イヌワシやマタカ(絶滅危惧IB類)よりも繁殖つがい数が少ないにもかかわらず、これまであまり注目されておらず保護活動も進んでいません。これまでに、国内では数十つがいしか繁殖していないこと、ラムサール条約湿地となった仏沼以外では生息環境であるヨシ原の環境が悪化していること、大規模なヨシ原を保全する法的枠組みが少ないこと、ヨシ原でも水路や開水面が必要なこと等が確認されてきており、渡良瀬遊水地に注目しております。            現在、渡良瀬遊水地では、冬期30羽前後のチュウヒが生息するにもかかわらず、チュウヒの繁殖は確認されていません。青森県仏沼では、ヨシ焼きによる環境管理をしているにもかかわらずチュウヒの貴重な繁殖地となっていることから、ヨシ焼きの時期や方法の関係から、繁殖に至らないことが推定されています。チュウヒ以外にも、サンカノゴイ(絶滅危惧 B類)、ヒクイナ(絶滅危惧 類)、ヨシゴイ(準絶滅危惧)などが生息しており、植生管理、水位管理等に配慮が必要である。</p> <p>参考文献:            平野敏明. 2006. 渡良瀬遊水池におけるチュウヒの生息状況と利用環境. チュウヒサミット2006            日本野鳥の会. 2006. 平成17年度渡良瀬遊水池猛禽類調査報告書</p> <p>以上</p>
48	50代	男性	栃木県宇都宮市	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 天然の鮎や鮭が中・上流域まで遡上できるよう、魚道の整備と、遡上期の流量や水の連続性を充分確保されたい。</li> <li>2. 堰や床止下流で瀬切れを生じているところが多ことから、年間を通して流量を確保すべき。</li> <li>3. 流域住民と国等行政との協働による川づくりを推進するため、地域住民や関係事業者等が行う環境美化保全活動や、川への愛着心を育む体験学習、魚釣り大会など水環境再生意識醸成活動に対して、活動支援予算を確保されたい。</li> </ol>
49	40代	男性	栃木県宇都宮市	<p>私は、日本野鳥の会栃木県支部で を担当しています。以下に、鬼怒川の整備計画に関する意見を述べます。</p> <p>日本野鳥の会栃木県支部では、鬼怒川において、長期にわたって鳥類の保全および観察を続けてきました。特に、宇都宮市から真岡市にかけての地域では、年数回のペースで30年近く野鳥観察会を開催しています。また、この地域には国のレッドデータブックで絶滅危惧 類に指定されているコアジサシが繁殖しています。50巣を超えるコロニー(集団繁殖地)が観察されたこともあり、栃木県内では最大の生息地となっています。コアジサシ以外にも、200種類近い鳥類が記録されており、鬼怒川は水辺性重要な鳥類の生息地となっています。</p> <p>さらに、コアジサシが繁殖するような玉石や砂礫からなる磯河原は、カワラノギキやカワラニガナなど、河川特有の植物の生育地にもなっています。しかし近年、洪水の減少、低水路の固定化、河床の低下などにより、かく乱を受ける頻度が低下し、ヨシなどが繁茂し好適な環境が減少しています。治水上の安全に配慮しつつも、河川特有の環境が維持できるよう、一定の洪水やかく乱を許容する河川計画・管理が必要であると考えます。</p>
50	60歳以上	男性	栃木県真岡市	<p>鬼怒川、小貝川を考える件            なんととしても、川、又山林は人々がその恩恵を時には忘れがちであるが、どうして。            雨が降り水害 いる木々はそれを守り、鬼怒川・小貝川河川整備計画は絶対に必要と考えておりますので是非日本の安全性をたもつためにも宜しく願います。            (投かんががくれましたが、もしや有効で取扱い下されば幸いです。</p>

霞ヶ浦ブロック

利根川水系河川整備計画 関係住民からの意見聴取(インターネット・はがき等)

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
1	60歳以上	男性	茨城県行方市	改良区で樋管等を管理しています。平成18年12月下旬に大雨・強風(雨風)等で西浦左岸14.5km付近の樋管の扉が破損、階段も一部破損して補修しました。この部分について農家が3軒位しかないので、波浪対策はしてありません。強い雨風が吹くと機場内に支障を来したり波浪等が大きいので今後、波浪対策を考えてもらいたい。 水位が今YP+1.1mです。数年前にYP+1.3mにした時があります。いずれYP+1.3mにする予定だと思いましたが、現在、霞ヶ浦の水を工業用水及び水道用水で、+0.2m上昇させる必要があるのか、現在のYP+1.1m以下で強くお願いしたい。 ・霞ヶ浦周辺に大雨が降ると、霞ヶ浦の水位が上昇し、利根川の水位もそれ以上の場合、常陸川水門を開けることができない。霞ヶ浦の水位が上がったままなので周辺の排水機場運転時間が長くなるので、短くするには、常陸川水門の所に大きな排水機場を建てたらと思う。そうすれば利根川の水位が高くても霞ヶ浦の水位は低くなるし、運転時間が多少短くなる。
2	40代	男性	茨城県行方市	・水質、環境をよくしてもらいたい。むかしみたいに、柳、よし等の植物等を霞ヶ浦にもどすと、水質等ももどって来ると思うし、そうすれば湖水浴場も復活できると思う。あと、子供達が霞ヶ浦で遊べる所を考えてもらいたい。 ・清掃活動をもっと霞ヶ浦周辺の自治体及び集落に協力してもらえるように考えてもらえれば。 ・霞ヶ浦での養殖(沖での網いけす)を今後なくすように考えてもらいたい。舟での漁を中心にしてもらう(国交省ではないが)だけで、アオコの発生もいらいちがう。 ・湖岸堤防の一般車の速度制限はできないのか。
3	60歳以上	女性	茨城県潮来市	私は、北浦湖岸に先祖より引き継いで現在農業をしている。潮来に生まれて70年になります。嫁いだ先も北浦に面した住居です。40年前は自然とヨシ・アシ・マコモ等が生えていた。又、藻も川一面に生い繁っておりまして。その藻を取っては、畑の肥料にして、甘藷や大麦、小麦等を作付けて生活をしておりました。水もきれいで、川の水を利用しておりました。まず「フロの水」又はお茶にも使用していた。 しかし現在では鹿島開発により堤防が出来て、ヨシ・アシ・マコモ・藻等が全くなりました。少しあった場所も波の返してさらわれてなくなり、そして深くなって危険な状態になりました。4～5年になりますが潮来市の徳島部落の5才になる子供さんが堤防の外より川に落ちて死亡した事もあります。川の流れも変わって遠い場所より見つかった経緯があります。この様な事故のない様に今後整備して頂き、逆水門も塩水が入ると云って開けない様ですが、農業に必要でない以外は開けてもらえれば、霞ヶ浦の水もきれいになり、昔の元の水質に変わると思っていますので、是非考えて頂きたいと思います。要望いたします。
4	60歳以上	男性	茨城県稲敷郡美浦村	1.霞ヶ浦汚泥浚渫工事について 現在は、湖心だけの浚渫工事のための湖心の環境はよくなったようです、したがって魚が環境の良い湖心から離れず湖全体に回遊しなくなった。そのため回遊魚待ちの定置網漁は、不漁になってしまった。[約6年間皆無] 今後汚泥浚渫工事は、全面浚渫工事をしてもらいたい。[魚の回遊促進] 2.消波堤について 霞ヶ浦全面に消波堤を作る、沖出しは堤防より約50メートルぐらいがよいと思う、水生植物の繁茂に、これ以上沖出しは良くない。 3.水位上昇について 上昇したため、当組合大須賀津支部の水神宮が、波浪により間もなく水没します、早急に対処してください。水位上昇は、害多く、利なしです。 4.漁港について[お願い] 漁港完成当時より水位が上昇しているため、台風時には漁港防波堤と霞ヶ浦の水位が同じになり、漁港の中が危険になるので、漁港北側防波堤を50センチ高くする。
5	50代	男性	茨城県行方市	私も霞ヶ浦湖岸に生れ育った住民として一言、ご意見を述べさせていただきますと思います。 私は地元地域で霞ヶ浦を古き良き時代の葦と砂浜が混在する美しい環境を再現する目的のボランティアの一会員として3年間、額に汗をまいりました。いくら清掃活動しても、心ない人々の投棄するゴミは増える事あっても減る事は無い昨今、心憂いております。心を物質、経済成長の片隅に置き忘れて来たのではないかと思います。私は一地域の区長として2年間で4つの目標を掲げ邁進してまいりました。芸術家と桜まつりの芸術、文化のコラボレーション、1500年前の古墳再現の歴史価値観構築、最後の霞ヶ浦再生事業の自然環境再構築、一番難しい又、一番規模の大きい霞ヶ浦、私一人の力は無力です。しかし、地元ボランティア全員の力と目標を定め、一丸となったの努力。また、国土交通省、水資源機構、地元行政、茨城県各位のご協力の元、地元ボランティアの地道な努力が一步一步確実に目標に向かっております。 霞ヶ浦湖岸の砂浜再生事業の中、15年～20年前に湖岸周辺に群生していたミズアオイが一時は絶滅していましたが、霞ヶ浦しゅん積土の中から実が出現し、時あたかも再生したかの様に命を吹きかえしました。この再生事業を霞ヶ浦全域にも拡大していただきたく思います。一夜にして霞ヶ浦の水が清く美しくなるとは思えませんが、その時までには、湖岸の葦原、浜の自然環境再生事業とゴミの無い美しい環境で、水のきれいになるのを待ちたいと思います。霞ヶ浦周辺は茨城県民の1/3、百万人が生活しております。心のよどころ、霞ヶ浦になる為に湖心に20～30haの浮島を是非造っていただきたい。お台場やデズニールにも負けない自然公園の浮島を切に要望致します。戦後、霞ヶ浦には、調査、研究、干拓、災害対策堤防等延べ2兆円程出資しております。美しい霞ヶ浦を再現すれば、人も企業も集ります。環境再生は一番の先行投資です。1兆、2兆円の経済効果は上がります。今までとは逆の発想です。経済重視で環境破壊ではなく、環境自然再生の経済活性化です。
6	-	-	茨城県稲敷市	1.霞ヶ浦浮島地先霞北第8号第2種共同漁業権内の岩礁に危険標識を設置することについて 本組合が管理行使する上記共同漁業権内の水域に、常態の水位では視認できない岩礁が2箇所あり、しかも漁船の航行に最も適した、湖岸から沖出し150乃至200メートルの位置に頂上部が隠れた形状で存在しています。地元の漁業者の漁船は、経験的にその岩礁を避けながら航行していますが、目測を誤る可能性もあり必ずしも安全とは言えない状況であります。特に、他県等からの遊漁船やレジャー船は、おそらく操船者の殆どがこの岩礁の存在を知らず航行しているのではないかと、その危険性は図り知れません。他方、霞ヶ浦湖岸の浮島地先和田地区に、稲敷市自治体も参画する形で、レジャー施設の建設が具体化しようとしています。若し、この工事が着工さらには開業の段階に至れば、地元の漁船以外の船舶の往来が増加することが予測され、危険標識設置は喫緊の課題となりつつあります。なお、地元漁船を含めて日没後も船舶は往来しているため、危険標識は夜間でも視認できるような機能を備えた施設を設置するよう要望いたします。(以上)

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
7	-	-	茨城県土浦市	前浜造成等の促進 霧ヶ浦の自然浄化機能の回復保全のためには、前浜造成及び水生植物帯の造成が必要不可欠であり、更なる事業の拡大推進を要望するとともに、造成地の保護と流失防止のため消波施設等の設置も同時に行う事を重ねて要望する。なお、施工の際は漁運及び地元漁協の意見を参考にして実施するようお願いしたい。 負荷軽減対策 長年のヘドロ浚渫工事の負荷軽減効果により水産資源の回復が認められるが、反面工区以外の水域に於いては漁獲の減少が甚だしいため、今後は全面的なヘドロ浚渫を行ってほしい。また、数年前より産卵行動の異常によると見られるハクレンの大量死が度々発生し、数千尾の腐敗した死魚の回収が行われているが、見た目も環境にも良い状況では無いため、対策として成熟したハクレンを大量に回収し処分すれば斃死予防と窒素・リンの回収が同時に出来るのでは是非お願いしたい。 水位上昇について 現在行っている水位調整による水位の上昇により、造成した前浜や自然のヨシ帯が流失の危険に晒されているため、出来る限る平水位を維持してほしい。
8	50代	男性	茨城県行方市	現在、霧ヶ浦(西浦)について、YP1.1mとなっていますが、今後国土交通省は、この水位が上昇するようなことには、ならないのか。この点が一番心配である。 当時の増加維持管理費は、施設の補修整備に使ってしまい、現在は、改良区の費用で負担しております。 当改良区内の農地は、現在でも排水機場を運転しなければ作物を作れない状態です。今後、水位を上昇させるのであれば、当改良区でも農地の整備等を実施しなくてはなりません。でなければ、現在より水位を下げてもらうか、自動排水機場の設置を、お願いします。樋管を管理しておりますが、18年12月の大雨と強風等で、樋管の扉が破損し、補修を実施しました。このような補修についても、検討願います。
9	60歳以上	男性	茨城県行方市	『霧ヶ浦の現状と課題、これからの整備内容』を聞いて。 過日『利根川水系河川整備計画』策定中との説明を受ける機会を得て遠大なビジョンに感動を覚えると共に霧ヶ浦湖畔に生を受け、そこが終の住処となる筈の一人として、次代の子孫に継承する『霧ヶ浦』について汚してしまった時代を生きた反省を含め、狭量な視野だが願望を込めた意見を述べたい。 1.周辺住民は飲料水としての自覚をもっているのだろうか? 極めて単純な疑問であるが、行政の啓蒙、啓蒙不足は住民の無知、無関心を招き『今飲んでいる水道水は霧ヶ浦の水』と言う現実と『原水の汚濁程度』を上水施設で一部に認識させる程度の施策では未端までの周知は不可能。そこで『装置で作られた安全な水』のPRと共に『きれいな霧ヶ浦の水を取り戻す為に出来る事は何か』を考えさせる機会を設け、末端市民にまでの認識と意識向上を進めたい。『寝た子を起こし、目覚めさせる』難儀なことからは始めなければもはや再生は不可能である、自治体の熱意を期待する。 平行して地方自治体は行方市の家庭排水協や区長等に委任中の水質監視員制度を他市にも拡大、組織化し強力に維持・推進するよう県や国が財政的支援体制等をバックアップして地域キャンペーン活動のリ・ダ・として育成して行く。 2.環境回復の体制整備 策定計画中に『植生の推進』がある、ヨシや葦の植生、砂浜の造成や再生はS40年代への帰還策であり是非国策としての強い推進を希望するが、計画段階から民間人の参画を求めているかどうか、学識経験者の知恵も不可欠だが、永い年月霧ヶ浦湖畔で生きて来た特に高齢者の経験は貴重な生き字引であり、ヒントを期待出来ると思う。 又、既存の葦地の汚れは特に冬季の状態はまさに目を覆う程、汚れ放題で放置されている。波打ちぎわの浄化を放置して水質改善だの環境整備などを説いても説得力は弱い。 無数の投棄物は時代の象徴であろうが拾ったり片付けたりする人は見たことがない。地方自治体が行事として取り組むのは年に数回だけ、モラルの低下と嘆く前に汚れの排除策として周辺住民の参加組織等への委託で人的動員による事業として予算的配慮の上実施するのも意識改革を含めて一策と思う。これは暫定的対策であり恒久的管理対策を植生保全計画に織り込んで置く必要は当然である。 3.治水対策と環境整備 堤防未整備箇所ありと聞き驚いた、一方波浪緩衝堤は今後の急速な整備に期待する。 治水に不可欠な堤防やその保全策の波浪緩衝設備に周辺住民の保護意識が希薄である、『住民参加の意識向上策』の一環として『花の堤防づくり』キャンペーン等を展開したらどうか サイクリングロード周辺に季節の花を周辺住民に栽培させて『堤防を大切に保護する気持ち』を利用者にアピールする。 堤防故に治水管理上の制約は当然だが遊休地的部分も有る筈、有効活用も兼ねて是非一考を。以上
10	60歳以上	男性	東京都品川区	同地域は桑原虎雄海軍中将が創始された旧予科連統発祥地であり、波静かな霧ヶ浦に面してコンクリート製スリップ(傾斜誘導路)が建設され、以後海軍水上機練習基地として隆盛を極めたが、終戦後はその一部が水上スキーやモーターボートの基地として利用されてきた。また、上図のように建設当初の目的のままである水上機の基地としての利用も行われ、スカイスポーツの根拠地として活用されている。弊社は、水上飛行機開発事業共同組合の一員として、将来海洋国家日本の輸送手段としての高耐波性の水上機の開発を行っているが、水槽試験に続く実証試験として同基地を活用、小型飛行機に我々発案の高耐波性フロートを装着してその効果を確認、製造設計に進む過程にある。 この基地は、東京近郊にあって唯一の水上飛行機開発プロジェクトを実行できるものであり、このプロジェクトが成功すれば、中小企業の再興、地域の活性化も期待できる。したがって、この斜面施設はそのまま保存保護して頂きたい。 上図は試作高耐波性フロートシステムを装着、浮上試験を行った際のスナップである。この様なことも、堤防を作られてしまえば不可能になる。そもそも当施設が水害等の水災害にあった例は海軍基地創設当初からほとんど無く、それ故に日本海軍最大の水上機基地として隆盛を極めたわけで、それにあえて堤防を建設しようとするのは産業振興、地域活性化に等さず有害無益の税金無駄使いで、納税者としても断固反対するものである。また、左に示すように、手前に見える現在の堤防は、その前方のスリップより低く、この堤防に高さをそろえて作るとすれば、その効果はかえって溢水を容易にすることが推測される。この点からも、新堤防建設は全く意味のない事が証明される。
11	50代	女性	茨城県土浦市	ピオパークは市民にとって環境教育の場でありクレスン他を摘んで食材としていただく楽しみのある場でもある。今後も四季を通じて訪れたい場所なので整備を続けていただきたい。
12	60歳以上	女性	茨城県土浦市	基本理念について 基本理念の一本化。新たな21cにむけて、行動をしっかりと促す様な、インパクトのある理念を検討してほしい。



受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
13	60歳以上	女性	茨城県土浦市	今年は雨が多くて川の水かさが増え、上流から流れてくる漂流物や汚れも多い。これが霞ヶ浦に流入することを考えると、流入する前に防ぐ方法がほしい。また、滞留して氾濫の原因ともなっている。この上流のゴミの処分と、河口に汚れをとり除くウエットランドの設置がほしい。現在もウエットランド(内湖)はいくつかあるがもっと多くの設置が望まれる。
14	50代	女性	茨城県土浦市	洪水対策、波浪対策の強化 整備計画と同時に支援を要する高齢者増加の社会にむけて、福祉行政との連携を視野に、安全・安心な日常生活を提供してほしい。
15	50代	女性	茨城県土浦市	湖を見ながら食事ができる、レストラン等を増やして欲しい。
16	60歳以上	男性	茨城県稲敷郡美浦村	大山東部舟溜の廻りに、防波ブロックをお願いする。(強風の時は、ドック停泊が不可能である為) 霞ヶ浦の水位を下げる事をお願いする。(折角岸に生息しているヨシ等が流されてしまい、魚達の産卵場所が失われてしまう為) ごみ処理問題について一番に考慮してほしい。(舟溜の中にたくさんのごみが入ってきて困っている状態である。特に強風の時はごみの山になって地元住民がごみあげ作業をしている状態である) 大山東部～江戸崎(鳩崎)までの余郷入干拓土手の下の道路整備、舗装をお願いする。(常に道路に穴があいて雨が降る度、水がたまっている状態である。生活道路であるため整備してほしい)
17	-	-	茨城県神栖市	常陸川水門魚道整備 ・常陸川水門の新たな魚道整備については、利水の観点から細心の検討をお願いしたい。魚道設置により塩分濃度の上昇等の水質変化に伴う農作物や農業水利施設への被害など悪影響がないよう十分対策を計らいたい。 水文・水質等の基礎的な調査 ・常陸川水門の新たな魚道整備に伴い、利水の観点から悪影響が危惧されるため、塩分濃度や水質等の観測体制を強化し、結果を公表されたい。 河川情報提供・広報の推進 ・河川改修について、一部に利水者等に十分な説明のないまま工事が行われている。よって、個々の工事についても、関係者に十分に周知、調整し理解をえたうえで進められたい。 河川工事による生物の生息環境への影響回避・低減、および外来種対策 ・近年、貝による用水施設に対する被害が報告されている。これまで見られなかったものでカワヒバリ貝と思われるが、用水施設の給水部やパイプライン等への付着、チューブかん水の見詰まり等の被害があり、利水が困難になるものもでてきていることから、早急な調査と駆除対策をとられたい。
18	-	-	茨城県土浦市	1)流域全体で、小さなことや身近なことから霞ヶ浦に負荷をもたさない生活・生産様式を積み上げることが重要です。流域全体で、この視点を共有できることが肝要と考えます。行政・住民、事業者一体となった霞ヶ浦からの啓発が求められます。湖浜など水辺に親しめる場が、その役割を担いそうです。 2)霞ヶ浦を含め、流域の河川・水路に自然を取り戻したいものです。国と県・市町村の連携が求められます。 3)人間の社会活動を含めて霞ヶ浦を巡る統合的なシナリオ作りが求められます。霞ヶ浦の歴史・民俗・文化への眼差しを保ち、文化の継承と創造の気概を持つことを考えてください。沿岸住民との連携して、整備・管理を進めることも大切です。
19	-	-	茨城県稲敷市	1.平成13年当組合漁場内に設置された消波施設2カ所について、使用された粗朶が現在腐食または流失し、消波の役を果たさない現況にあります。出来得れば採石を入れる。若しくは金網で石を包んだブロックを投入等の処置をお願いしたい。 2.水位について、通年的に水位を現在より30センチの下降が望ましい。これにより浅場面積が増大し植物帯の面積も倍増する結果水質浄化に大いに資する。以上
20	-	-	茨城県土浦市	私の父親は霞ヶ浦湖畔の町で生まれ育ちました。父親は、霞ヶ浦で多くの友人と共に泳ぎまわった事や釣りをしたり、シジミなどを補った事など、思い出話をまるで自慢話のように、よく私に話してくれます。まさに人々の生活になくてはならない湖だった霞ヶ浦ですが、水質汚染により一度は窮地に立たされました。しかし、湖を愛する人々の懸命な活動により、水質改善の兆しがわずかながらみられるようになったと私は聞いています。そこで、よりいっそうの水質改善のため、霞ヶ浦と利根川周辺の河川整備を行い霞ヶ浦の循環機能の更なるレベルアップを計画して頂きたいと思います。おりしも昨今では、地球温暖化などの影響から日本各地での異常気象、ひいては水不足などの問題が多発しています。そんな中で、日本で二番目の大きさを誇る霞ヶ浦が関東近辺の住民たちに必要とされる時がいつか必ず訪れると思います。 未来の日本のためにも、霞ヶ浦周辺の河川整備をぜひ現実のものとし、霞ヶ浦がまた昔のように人々の生活の中心となることを願っております。
21	-	-	茨城県稲敷市	1.霞ヶ浦北浦水域内の不当な係留(廃棄を含む)船舶等の排除対策を強化することについて 本組合が管理行使する霞ヶ浦浮島地先の共同漁業権内の水域に、数年前から係留を続けている船舶(ヨット)が1隻あります。もともとこの船舶は、本組合管理のドック内に空き間があったところに、係留使用料を支払うことで一時係留を認めたものでありました。しかし、使用料の長期滞納を生じたので督促したところ、その船舶所有者は、ドック外に移動したものの勝手に漁場内の別の場所に係留を始め、現在も不当な係留を続けています。さらに、これに類似した係留使用料滞納の事案が発生していて、不当係留に転ずる恐れがでています。組合員の漁船係留を目的のドックに、目的外の船舶を係留させることが当を得ていないとすれば速やかに改めなければなりません。一方、本組合としては、現に発生している不当係留の船舶を排除するための適当な手段をとれず、その対応に苦慮しているところでもあります。このような不当な係留船舶等の状況は、霞ヶ浦北浦水域内の各所に存在することが想定されます。つきましては、霞ヶ浦河川行政の立場で、不当な係留船舶等に対してどのような権限を備えているのかを管内漁協に開示いただきたいことと併せて、霞ヶ浦北浦水域内の不当な係留船舶等の実態を把握したうえで、その排除対策を強化するよう要望いたします。(以上)

中川・綾瀬川ブロック

利根川水系河川整備計画 関係住民からの意見聴取(インターネット・はがき等)

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
1	60歳以上	男性	埼玉県さいたま市	<p>1. いつもご指導下さいまして有り難う御座居ます。私共(大宮河川愛護会)は綾瀬川本流7km対岸の(埼玉県土整備事務所)依頼で清掃と支川の深作川対岸及び深作遊水池等の清掃活動を毎月行っています。尚、ゴミの量と質はさいたま市(経済環境局)に於いて集計)環境総務課(新井様)にて毎月報告発表をしています。</p> <p>2. 「綾瀬川ワースト1とことん脱却大作戦」に参加して、さいたま市見沼区小学校11校中、現在片柳小学校で平成18年11月30日に環境学習会AM10:00～12:30迄アシスタントとして、(大宮河川愛護会、リスク研究会、片桐自治会、見沼の自然と環境を守る会、荒川左岸水循環センター)協力致しました。</p> <p>3. 当綾瀬川開橋・妙見迄の水質浄化協力者として、当会は、水質調査管理として協働事業市・行政・市民・事業者で市民に喜ばれる・愛する綾瀬川づくりとしてゴミ・浄化作業として清掃・下水道より流入防止活動をしています。</p> <p>4. 尚河川敷にゴミ捨て看板・生き物がどんな種類がいるかのPRが必要と思われる。大至急実行してください。</p>
2	60歳以上	男性	埼玉県さいたま市	<p>私達「大宮河川愛護会」いつも御指導下さいまして有難うございます。さいたま市は人口1,200,000人で10区で一級河川も多いが、市堺には大河川もありますが、綾瀬は見沼区・岩槻区・緑区にまたがり中央より東部側にあり当市の住民がまだまだ河川綾瀬川を知らざる者が少なくワースト1(汚れた川を他人事と感へているため汚名返上としてPR)必要あり、又</p> <p>1. 当市の見沼区では土地の地主とまちづくりとして、宮下に遊水池(希望は一部ビオトープ)を大宮河川愛護会は市の関係者に申し入れをしていますので「綾瀬川整備計画」にも取り入れて下さる様に御願い致します。図面等は土地改良組合・市会議員等に保管されています。</p> <p>2. 綾瀬川の自然形に市民参加の出来るイベントの出来る広場的親しみ安い河川として整備する必要あり。見沼区・岩槻区・緑区も河川敷の近辺には住宅も少ないので「今年中で整備計画」立案して検討したらどうかと思う</p> <p>3. 綾瀬川の一級河川表示板が是非必要。大河川に生きる魚・鳥・野草・水辺の里親制度等も希望する。</p> <p>4. 日ごろ、河川の美化活動して環境改善をしている団体として、次世代に恥じない様河川と環境を造りたいと思います。</p>
	60歳以上	女性	埼玉県さいたま市	<p>中川・綾瀬川流域総合治水対策協議会が組織されて「中川・綾瀬川流域整備計画」が策定されました。そのことによって、河道が整備されました。調節池が整備されました。排水機場が整備されました。又、流域での取り組みとして、流域貯留浸透事業が行われ、多自然型川づくりがなされ、水辺に親しむ川づくりがなされています。</p> <p>この様に国土交通省、埼玉県、東京都、茨城県の流域の関係34市区町によって、治水対策が講じられているにもかかわらず、綾瀬川の日本河川ワースト1であるのは何故なのか、考えさせられる。一つは、中川・綾瀬川流域は台地や大河川に囲まれていて、平地で低平な地形であることや、勾配が緩やかで、洪水時の水が流れにくいという現状が考えられる。このような地形の特徴を例えれば、諸外国の低地域を持つ国を参考にしたり、また、予算を国が計上して、浄化施設を作っていく必要があると考える。</p> <p>流域の住民が環境への配慮をした生活(家庭での油やゴミを流さないなど)が必要なことではある。そのための意識改革、環境学習(児童生徒への意識改革)も必要である。しかし、先に述べた如く、浄化施設をさらに増やすことや、下水処理のための合併浄化槽が作られる必要があると考える。この様に、ハード面とソフト面の両方から対策を講じていく必要があると考える。</p> <p>又、綾瀬川の自然を取り戻すために護岸を生き物にやさしいものにし、野鳥や魚類の生息の場所とするなど、自然の景観も保全していくことが大切であると思う。</p> <p>ワンドや、ラグーンなどの昆虫やその幼虫の暮らせる場所があると、自然が取り戻せるのではないだろうか。また、魚が池に入ったり出たりできるようなビオトープの整備も必要と考える。生態系が保全され、また湿地帯も保全される。</p> <p>周辺住民の出来ることとして、先に挙げた家庭から出るゴミ、油などの生活排水を減らすことがあげられる。(風呂ではシャンプーやリンス、入浴剤をいすぎないようにする)、(洗濯するときは洗剤や柔軟剤をいすぎないようにする)など、個人はもとより、工場経営者による、河川敷への不法投棄をなくすことが必要である。むやみに自転車や、テレビ、バイク、冷蔵庫などの不法投棄をしないよう国民全体で実行しなくてはならないと思う。やっている人がいたら、禁止させるなど。以上。</p>
4	60歳以上	男性	埼玉県さいたま市	<p>何時も大宮河川愛護会(見沼の自然と環境を守る会)を御指導下さいまして有難うございます。私共は(見沼の自然と環境を守る会)は大宮河川愛護会に協力して綾瀬川の清掃及び水質調査を行っています。</p> <p>毎月さいたま市河川課に報告しています。</p> <p>綾瀬川の上流は自然の堤防となって河畔林があり、風景のおもむきのある所です。この所に親水公園を作って川に親しむことの出来る場所にしてもらいたい。</p> <p>堤防には遊歩道を作って地域の人が散策できるように希望します。</p> <p>綾瀬川ワースト1とことん脱却大作戦に参加致しました。</p> <p>河川敷にゴミ捨て禁止、生物の種数等の看板の説示など堤防の杭柱の取り替をお願い致します。</p>
5	40代	男性	八潮市緑町	<p>八条橋をかけ直して欲しい、ここに言うべきなのか不明ですが、草加 - 流山線の一番のネックです、古くて狭い為、朝晩の車の流れが良くないので改善を希望。</p>
6	50代	男性	埼玉県熊谷市	<p>1. 多自然型川づくりを強力に推進</p> <p>2. 流出抑制対策の推進</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
7	60代	男性	東京都葛飾区	<p>河川の護岸工事の工法を改善してほしい。中川は金網フェンスで張り巡らされています。危険防止のためかとも思われるが、もっと智恵をだしてほしい。これでは、河川がますます住民から遠い存在になってしまふ。中には、フェンスを乗り越えて釣りをしたり、遊んでいる者もいるが、もっと住民が水辺に近づける工事を望む。せめて土手の一番水辺よりの所に手すりをつくるなど工夫が出来るはずである。例えば、荒川の中流に堰をつくる計画(荒川上流事務所案)など、無駄な予算を削ればすぐにでも出来るはずである。</p> <p>1. 中川・綾瀬川流域は、河川と流域で湛水量を分担する総合治水対策が進められています。整備計画にも総合治水対策を明確に位置づけて下さい。                      【内容】                      河川整備計画は河川法に基づいて各種手続きが進められ、河川管理者の責務も明確になっていますが、総合治水対策は、法的根拠が明確でなく、河川整備基本方針にある河川ごとの計画流量の根拠に該当する情報開示もありません。流域住民が、中川・綾瀬川河川整備計画を検討するとき、関係の深い総合治水対策に関する情報が入手しにくいのは不都合です。河川と流域の湛水量の分担割合の妥当性も、治水上の安全確保の責任の所在もはっきりしません。                      総合治水対策は、河川整備のほかに、市街化調整区域の保持、保水地域の保持、水田等地域の遊水機能の保持、流出抑制対策の強化、雨水貯留施設の設置など、文字通り総合的な対策の積み重ねです。今後、中川・綾瀬川流域が、特定都市河川浸水被害対策法の指定を受けたとしても、対象となる対策は、河川と下水道などの一部にとどまり、総合治水対策が必要とされる全体の枠組みをカバーできません。                      地域を、洪水等による災害から守り、河川を含めた環境の整備と保全を推進するために、中川・綾瀬川河川整備計画は、河川整備計画のほかに、市街化調整区域の保持、保水地域の保持、水田等の遊水機能の保持、流出抑制対策の強化、雨水貯留施設の設置等にかかる湛水分担量を、年超過確率1/10、1/40、1/100、1/200にわけて明示し、そのときの中川と綾瀬川の整備計画がわかるようにしてください。</p> <p>2. 中川の治水安全度を高め、環境保全を進めるため、現行の堤防位置を低水路側に変更せず、河積の拡大に努めて下さい。                      【内容】                      中川中流部には、堤外地の幅が広い場所があります。洪水を一定の流速で流下させるためには、堤防間の距離は一定以上広くなくてもよいかもしれませんが、東京湾の水位の高まり、流域からの排水量の増加、上平井水門などの締め切り操作などで、流速が遅くなる傾向にあります。中川の堤外地の河積は、極力広く確保し、堤外地に調節地ができるような余地を残しておく必要があります。治水安全度を高め、環境保全を進めるために、堤防間距離を短縮することはしないようにして下さい。</p> <p>3. 総合治水対策にある盛土、埋め立て行為を法的に制限することが難しい地域にあっては、堤内地側に河川区域を拡大し、河川整備計画で治水安全度の向上を確保できるようにして下さい。                      【内容】                      河川法が適用できる河川区域を、現行のままにとどめず、堤内地側に大幅に拡大し、土地利用を制限するとともに、農作物への補償制度を創設するなど、積極的な治水安全度の向上を図るようにして下さい。</p> <p>4. 中川・綾瀬川河川整備計画の策定にあたり、総合治水対策とともに、流域の市民に理解を求める対策を講じて下さい。                      【内容】                      中川・綾瀬川河川整備計画は、総合治水対策と不可分の関係にあります。河川管理者単独で事業を推進すればよいというものではありません。流域の市民、行政、関係団体等のうち、特に中川・綾瀬川流域総合治水対策協議会などの情報に接することのない流域の市民に対して、対策の必要性や市民の役割、まちづくりとの関係などを理解してもらえるような対策を講じてほしいと思います。</p>
8	50代	男性	埼玉県越谷市	

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
9	40代	男性	東京都日野市	<p>利根川水系の河川整備計画に盛り込んで欲しい内容</p> <p>以下の2点を河川整備計画に盛り込んでください。</p> <p>1) 利根川水系には国際的に重要な野鳥の生息地IBA(重要野鳥生息地)が6ヵ所あり、これを保護・保全するという視点                  2) チュウヒ(昨年12月に絶滅危惧 類から絶滅危惧 B類にランクアップ)が生息する渡良瀬遊水地を保護・保全するという視点</p> <p>1)に関する理由:</p> <p>IBA(Important Bird Areas)重要野鳥生息地は、国際的な鳥類保護組織であるBirdLife Internationalが、世界100ヶ国以上の加盟団体(日本のパートナーは財団法人日本野鳥の会)と共同実施しているプロジェクトです。IBAリスト(目録)は、鳥類を指標にした重要な自然環境を、世界共通の基準(IBA基準)によって選定したものです。</p> <p>利根川水系に係るIBAサイトは以下の6ヵ所です。これらの選定基準と環境構成を損なわず、またそれぞれの保全への脅威に留意した整備を進められるような計画にすべきである。</p> <p>奥只見・奥日光・奥利根(その中の奥日光・奥利根)                  選定基準:                  A3基準(北東アジア温帯林)                  環境構成:森林                  保全への脅威:不十分な森林管理,水門ダムの建設など</p> <p>霞ヶ浦・浮島(全域)                  選定基準:                  A1基準(オオセッカ)                  A3基準(オオセッカ,コジュリン)                  A4i基準(コチドリ,ムナグロ,カモ類)                  環境構成:湖沼,淡水性湿地                  保全への脅威:狩猟,観光,湿地の干拓,水門の建設,外来植物の導入など</p> <p>利根川河川敷(全域)                  選定基準:                  A1基準(オオセッカ)                  A3基準(オオセッカ,コジュリン)                  A4i基準(チュウシャクシギ)                  環境構成:河川敷                  保全への脅威:農地の放棄,水門建設,湿地干拓,外来植物の導入など</p> <p>利根川河口域(全域)                  選定基準:                  A4i基準(ミユビシギ)                  環境構成:干潟,砂浜                  保全への脅威:堤防工事,海岸への車の乗り入れなど</p> <p>浅間・白根・谷川(その中の分水嶺から利根川側)                  選定基準:                  A3基準(北東アジア温帯林)                  環境構成:森林                  保全への脅威:不十分な森林管理,水門ダムの建設など</p> <p>東京湾奥部(その中の三番瀬)                  選定基準:                  A4i基準(カワウ,スズガモ,ダイゼン,キョウジョシギ,ハマシギ,ミユビシギ,キアシシギ,チュウシャクシギ)                  A4iii基準(スズガモ)                  環境構成:干潟,浅海域                  保全への脅威:河川等からの土砂供給,洪水時の江戸川放水路からの放流,生活雑排水による富栄養化など</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見及び質問(そのまま転記する)
				<p>(参考)選定基準            IBA基準生息地の選定は、BirdLife Internationalの定めた全世界共通の基準により進められています。この基準はBirdLife Internationalの発行しているアジアのレッドデータブックや世界の固有種生息地リスト、およびWetland Internationalの発行している水鳥個体数推定値、ラムサール登録湿地に指定される為の基準5および基準6などを元にして定められたもので、おおまかには以下の4つのIBA基準としています。</p> <p>A1基準 世界的に絶滅に危機にある種が生息している。            A2基準 限定された地域に生息する種、または固有種が生息している            A3基準 あるバイオームに特徴的な種の相当数が生息している            A4基準 多くの渡り鳥が利用 / 生息している</p> <p>参考文献：            日本野鳥の会、2006. IBA白書2005            Birdlife International. 2004. IMPORTANT BIRD AREAS IN ASIA, Key sites for conservation</p> <p>2)に関する理由：            チュウヒ(環境省レッドリストの改訂で、昨年12月に絶滅危惧 類から絶滅危惧 B類にランクアップ)は、国内では繁殖地が少なく局地的であり、イヌワシやクマタカ(絶滅危惧IB類)よりも繁殖つがい数が少ないにもかかわらず、これまであまり注目されおらず保護活動も進んでいません。これまでに、国内では数十つがいしか繁殖していないこと、ラムサール条約湿地となった仏沼以外では生息環境であるヨシ原の環境が悪化していること、大規模なヨシ原を保全する法的枠組みが少ないこと、ヨシ原でも水路や開水面が必要なことが確認されてきており、渡良瀬遊水地に注目しております。</p> <p>現在、渡良瀬遊水地では、冬期30羽前後のチュウヒが生息するにもかかわらず、チュウヒの繁殖は確認されていません。青森県仏沼では、ヨシ焼きによる環境管理をしているにもかかわらずチュウヒの貴重な繁殖地となっていることから、ヨシ焼きの時期や方法の関係から、繁殖に至らないことが推定されています。チュウヒ以外にも、サンカノゴイ(絶滅危惧 B類)、ヒクイナ(絶滅危惧類)、ヨシゴイ(準絶滅危惧)などが生息しており、植生管理、水位管理等に配慮が必要である。</p> <p>参考文献：            平野敏明、2006. 渡良瀬遊水地におけるチュウヒの生息状況と利用環境。チュウヒサミット2006            日本野鳥の会、2006. 平成17年度渡良瀬遊水地猛禽類調査報告書</p> <p>以上</p>